

運輸防災マネジメントセミナー

令和5年度運輸安全マネジメント強化キャンペーン(下期)



国土交通省 大臣官房 運輸安全監理官室

1 自然災害（雪害）の状況と被害

2 自然災害（雪害）から得られる課題と対応ポイント

3 運輸防災マネジメントのポイント（取組事例を含む）

（1）経営トップの責務

（2）防災の基本方針

（3）リスク評価

（4）事前の「備え」

4 まとめ



1 自然災害（雪害）の現状と被害

■ 平成30年2月の大雪に伴う滞留（福井等）

- ・福井市では、「昭和56年豪雪」以来の記録的な大雪となり、福井・石川県境付近では**大規模な車両滞留**も発生

＜被害状況＞（福井・石川県境）

最大滞留車両：約1,500台

車両滞留期間：2日と17時間

当該地域の生活や経済活動に多大な影響が発生！



【国道8号（福井県）車両滞留の状況】

■ 令和2年12月の大雪に伴う滞留

関越自動車道（月夜野IC～小出IC間）

- ・**大型車のスタック**を契機に、**長時間滞留が発生**
- ・自衛隊や警察等の協力による物資配布、車両救出を実施。

＜被害状況＞（新潟県、群馬県等）

最大滞留車両：約2,100台

車両滞留期間：【新潟市方面】 約1日と9時間

【東京方面】 約2日と4時間



【関越自動車道（新潟県、群馬県等）車両滞留の状況】

■ 令和3年1月の大雪に伴う滞留 北陸自動車道（福井IC～金津IC間）滞留約1,600台

国道8号（福井）渋滞長最大15km

■ 令和4年1月の大雪に伴う滞留 首都高速（東京都）車両滞留14時間 等

■ 令和5年1月の大雪に伴う滞留 鉄道車両の駅間停車 等

1. 自然災害（雪害）から得られる課題

近年、大規模な車両滞留が多数発生し、安全・安定輸送に関わる課題が顕在化。

- ① 的確な気象情報・道路情報の把握
- ② 上記①を踏まえた、運行（航）計画（中止又は広域迂回）の策定
- ③ 雪に対する事前の備えの必要性



2. 雪害への対応ポイント

- ① 降雪・積雪の予測はある程度可能。最新の気象予報・警報、道路交通情報をもとに、積雪や視界不良による運行中の立ち往生等を防止するための迅速な判断と対応が極めて重要。
- ② 雪崩、融雪による河川の増水に伴う二次災害にも十分な注意が必要。
- ③ 旅客・貨物輸送の一時運休・停止について、旅客・荷主等に前広に周知、県・関係機関との連絡を密にして対応体制を構築、除雪後の輸送再開に備えることが重要。
- ④ トラック等の場合、突発的な大雪に備え、適切な冬用タイヤやチェーン、車内への食料・飲料などの備えも大切。

(1) 経営トップの責務

(2) 防災の基本方針

(3) リスク評価

(4) 事前の「備え」

(5) 代替性の確保

(6) 平時と非常時の体制

(7) 自然災害の態様に応じた対応

(8) 楽観主義の排除（思い込み（バイアス）の排除）

(9) 関係者との連携

(10) 利用者への情報発信

(11) 教育と訓練

(12) 見直し・改善（他事例の学び）



4点に絞って説明

3 運輸防災マネジメントのポイント



(1) 経営トップの責務

1. トップダウン

- ① 経営トップの責務は、事故対応と同様に重要。特に自然災害による被災の直前から直後の対応は、危機管理そのもの。トップダウンで対応する体制が必要。
- ② 災害発生時、経営トップはいち早く災害対策本部に参集し、自ら対策を指示。

2. 経営判断

- ① 事前の備えや事業継続のため経営資源（予算と要員等）の配分、優先的に再開する事業の事前策定等も求められるため、経営上重要な判断が必要。
- ② 例えば、鉄道の計画運休などのように一旦中止する経営判断が必要となるケースもあることから、経営トップの対応が必要。



3. 事業者全体での対応

「防災」も「安全」と同様、平時からマネジメント部門が経営課題として認識して、事業者全体が対応策を考え、実践することが重要。

(2) 安全方針と防災の基本方針

- ① 防災の基本方針は、経営トップが決裁。
内容は、① 人命最優先（避難・救助・救護の原則） → ② 事業継続
- ② すべての社員・職員にとって重要。



リスクを正しく評価することが防災の第一歩

遭遇する懸念のある **自然災害の種別と程度を把握、リスク評価** を行った上で、**事前の備えから事後の対応までの対策** を実施。

雪害に関しては、**積雪・降雪予報、過去の積雪状況等によりハザードを把握する必要有**

【雪害ハザードの具体的な把握方法】

- 気象庁 今後の雪（降雪短時間予想）1時間毎に推定した現在の **積雪の深さ** と **降雪量の分布**、及び **6時間先までの予測**
- 気象庁 過去の気象データ検索
- 重ねるハザードマップ（雪崩危険箇所、予防的通行規制区間）
- 道路・線路等サイト設置カメラからの情報 等



リスク評価の流れ

①自然災害の種別・程度を把握

②被害の規模・程度を見積もる

③事前の備えから事後の対応まで対策を検討

④対策を実行

事故防止と同じく、平素からの取組がポイント。平時からの「備え」が不可欠。



留意すべき点



① 計画的装備

リスク評価による最大被害をもとに、事前準備のレベルと内容を検討。防災品、**燃料**、食料の備蓄、避難施設の準備、宿泊場所の確保、**非常電源の配備**等を**計画的に実施**。

② 緊急連絡網

緊急連絡網の携帯電話等の電話番号リストは**常時最新のもの**を入力。**複数の通信・連絡手段**の確保。

③ 防災マニュアル


マニュアル整備は、社員・職員の役割確認、防災意識向上の意味で有意義。**「詳細化」ではなく、行動規範のような内容の方が実用的**

④ 事業継続計画

防災を経営に必要な事業活動として一体化して考える。事業者全体で自ら策定する過程を大切に。

⑤ タイムライン

「平時の準備」「直前の準備」「直後の応急」「復旧(事業継続)」に分けて、**自然災害対応のタイムラインを設定**、局面毎のリスク評価実施。

 留意すべき点 → 雪の場合の計画的装備

① 雪道への備え

- ➡ 冬用タイヤへの交換
- ➡ チェーン（チェーン規制のため）の携行



- ➡ 冬用ワイパーへの交換
- ➡ こまめな給油
- ➡ 十分な車間距離の確保
- ➡ 時間にゆとりのある運行計画

② スタックした場合の脱出のための備え

- ➡ スコップ、長靴、防寒着、毛布、脱出マット、懐中電灯等



③ 万が一の滞留のための備え

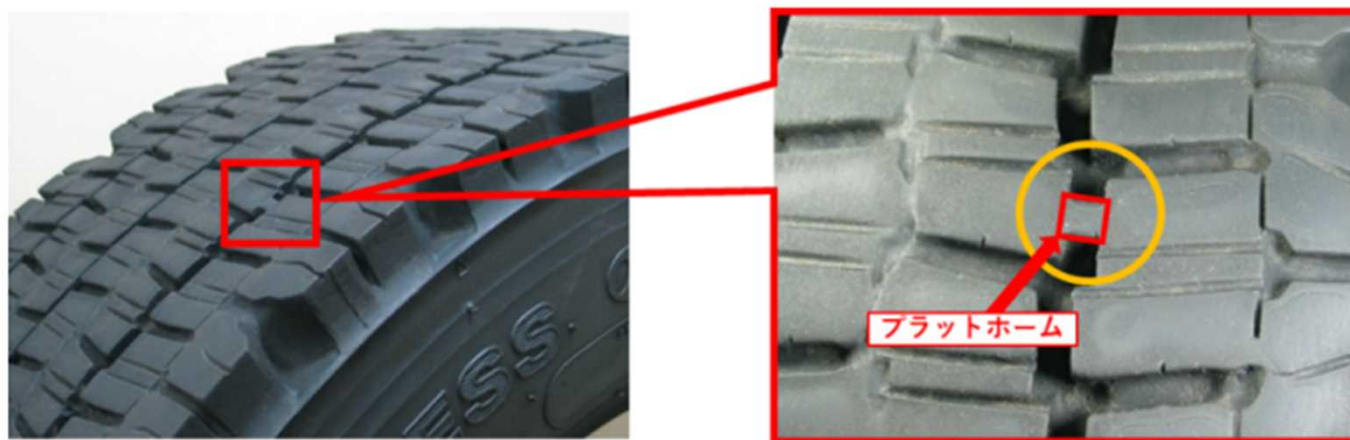
- ➡ ②に加え、非常食、飲料水、携帯トイレ、本社との通信手段、ラジオ等



事前の備えの内容については、マネジメントレビューや内部監査などにより、見直し・改善

令和3年1月26日より、バス・トラック運送事業者は、雪道において適正な冬用タイヤを使用していることを確認することが義務付けられました。

1. **整備管理者**は、雪道を走行する自動車のタイヤについて、溝の深さがタイヤ製作者の推奨する使用限度※よりもすり減っていないことを確認しなければなりません。
2. **運行管理者**は、雪道を走行する自動車について、点呼の際に上記事項が確認されていることを確認しなければなりません。



※国内メーカー等の冬用タイヤでは、使用限度の目安として、溝の深さが新品時の**50%**まですり減った際にプラットホームが溝部分の表面に現れます。

https://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha09_hh_000264.html

(4) 事前の「備え」・タイムライン

タイムライン（防災行動計画）とは、災害の発生を前提に、大規模水災害、雪害等の発生予測時刻から逆算して、防災関係機関が連携して災害時に発生する状況を予め想定し共有した上で、「いつ」、「誰が」、「どのように」、「何をするか」に着目して、防災行動とその実施主体を時系列で整理した計画。



留意すべき点

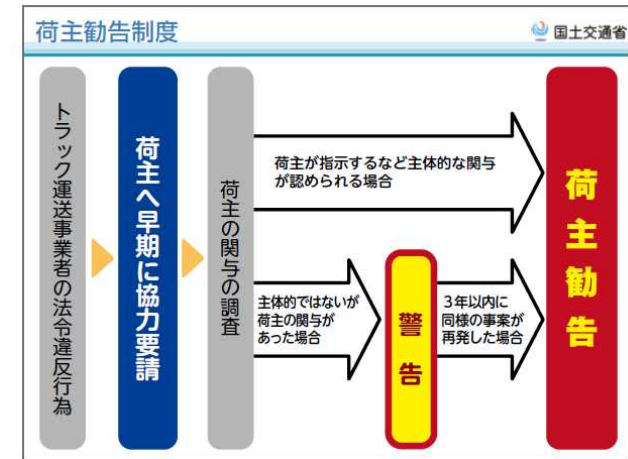
- ① 台風・大雪等は、気象予報等から発生がある程度予測可能。
- ② 例えば、積雪予報に応じて、リスクの高い路線の一時運休、速度制限を行い積雪量予報を踏まえ、計画運休又は、広域迂回経路による運行を実施等。
- ③ タイムラインの目安として大雪特別警報、大雪警報・注意報等の発表に関する情報が活用可能。（例 早期注意情報、気象台からの発表など）
- ④ 一時運休、全面運休、計画運休は、地域の人流（旅客）・物流（荷主等）に大きな影響を与えることから、国、地方公共団体、関係者との情報共有と連携、利用者・荷主等への適時適切な情報提供が重要。

気象予報等からある程度予測可能な大雪・台風等については、国から示された「異常気象時における措置の目安」を基に、**着荷主・発荷主等と連携**を図りつつ、安全が確保されるまでの間、**運行を一時中断（計画運休）する等、予め協議・協定締結**を行うことをご検討ください。

なお、安全な輸送を行うことができないと判断したにもかかわらず、荷主等に輸送を強要された場合、**国土交通省にその旨を通報する手段**が設けられています。

⚠️ 異常気象時における措置の目安 ⚠️

気象状況	雨の強さ等	気象庁が示す車両への影響	輸送の目安*
降雨時 	20~30mm/h	ワイパーを速くしても見づらい	輸送の安全を確保するための措置を講じる必要
	30~50mm/h	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる（ハイドロプレーニング現象）	輸送を中止することも検討するべき
	50mm/h以上	車の運転は危険	輸送することは適切ではない
暴風時 	10~15m/s	道路の吹き流しの角度が水平になり、高速運転中では横風に流される感覚を受ける	輸送の安全を確保するための措置を講じる必要
	15~20m/s	高速運転中では、横風に流される感覚が大きくなる	
	20~30m/s	通常で運転するのが困難になる	輸送を中止することも検討するべき
	30m/s以上	走行中のトラックが横転する	輸送することは適切ではない
降雪時		大雪注意報が発表されているときは必要な措置を講じるべき	
視界不良（濃霧・風雪等）時 		視界が概ね20m以下であるときは輸送を中止することも検討するべき	
警報発表時		輸送の安全を確保するための措置を講じた上、輸送の可否を判断するべき	



無理な輸送を強要されたら、下記へ情報提供を！



* 輸送を中止しないことを理由に直ちに行政処分を行うものではないが、国土交通省が実施する監査において、輸送の安全を確保するための措置を適切に講じずに輸送したことが確認された場合には、「貨物自動車運送事業者に対する行政処分等の基準について（平成21年9月29日付け国自安第73号、国自貨第77号、国自整第67号）」に基づき行政処分を行う。

自動車モード (バス) <新潟交通株式会社>



取組

① 豪雪時の対応体制の構築

豪雪時の対応マニュアルを策定し、対応体制を以下のとおり構築

◆ 対策本部の設置基準：新潟地方気象台16時時点で発表する降雪予報（17時から翌9時までの予想降雪量）において下越海岸部で最大20cmを超えた場合

◆ 対策本部の体制：

対策本部長：乗合バス部長（統括）、対策副本部長：運営センター販売課長（本部長代理）、運営センター運行課長（運行判断・指示、除雪対応）

◆ 早朝の巡回体制の構築：

上記の対策本部設置基準が満たされる場合、以下の表に基づき巡回を実施し、路線毎に運行・運休・迂回運行を判断。始発5:30までに利用者へTwitter、HP等で情報提供→R2年度2班体制での運用状況を踏まえ、R3年度からは3班体制へ見直し・改善

	出勤時間	担当 (2班体制→3班体制)	役割
一次出勤者	4:00	責任者	運休・迂回運行の決定
		コントローラー(責任者補助)	路線状況の集約・営業所への指示
	巡回後 5:30	各路線毎の担当者	社用車で担当路線巡回、 運行可否判断後、本社出勤 運休・迂回の場合、停留所掲示作業
二次出勤者	6:30	・新潟駅周辺	・新潟駅前の旅客案内・除雪
		・バスセンター	・旅客案内

自動車モード (バス) <新潟交通株式会社>

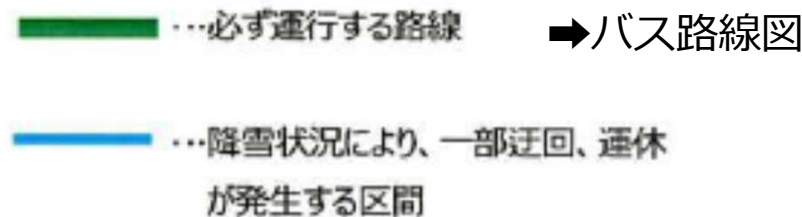


取組 (続き)

- ②雪かき作業 → 各営業所内敷地は、除雪車を配備し、除雪体制を構築。バス停付近は担当部署以外を含め人海戦術による除雪。降車場所と乗車場所の2箇所を除雪
- ③冬タイヤの管理 → 毎年、早め(11月中旬)に新品を購入し冬用タイヤへ履き替え。雪シーズン後もそのまま交換せず履き潰して毎年同じ時期の交換により冬期には**常に良い状態のタイヤを維持**

④豪雪時に優先される路線の明確化と利用者への情報提供

降雪期には道路管理者との連携により非常時運行体制を実施。豪雪時には、自治体の除雪能力の限界を踏まえ、道幅が狭くなることから安全な運行ルートを確認するため近接の幹線道路に迂回するなど、**「必ず運行する路線」と「降雪状況によって、一部迂回、運休区間が発生する路線」**を区別し**優先順位を付け**運行を継続。**利用者へHP、Twitterを通して迅速・的確な運行情報を提供**



取組の効果

- ① 豪雪時の路線の優先順位を踏まえた、安全な運行の維持
- ② 利用者への適時・適切な運行情報の提供

4 本日のまとめ

1. 経営トップの責務

(1) 大規模災害時は経営トップの判断が必要

① 予測可能な雪害 **一部運休 → 全面運休 → 一部再開 → 全面再開の判断**が必要

② 雪害対応に対する経営資源（ヒト・モノ・カネ）の選択と集中

(2) 事前の備えなどへの投資

2. 防災の基本方針

重点推進事項

(1) 防災の基本方針は、経営トップが決裁

(2) 優先順位 **① 人命最優先（避難、救助、救護の原則）** → **② 事業継続**

(3) 防災の基本方針の対象者 → **すべての社員・職員にとって重要**



3. リスク評価

重点推進事項

降雪・積雪の状況・予報等を活用して本社・営業所及び運行（航）エリアの雪害の可能性を把握し、降雪・積雪による事業への影響度を想定

4. 事前の「備え」

(1) 上記3.の結果を踏まえ、**雪シーズン前**に、事前の「備え」を行い、

降雪・積雪情報の入手先を確認

(2) 予測可能な雪害に対しては**タイムラインを策定**し、対応を実施

(3) 荷主等との**事前協議・協定締結**等により安全最優先の運行の実施



ご清聴ありがとうございました。



アンケートにご協力下さい。

※アンケートは、以下のQRコードよりアクセス可能です。





国土交通省 大臣官房
運輸安全監理官室

運輸防災マネジメント指針の解説の策定について(令和3年2月22日)

目的 大臣プロジェクト「総力戦で挑む防災・減災プロジェクト」の一環として、運輸事業者の自然災害対応力の向上のため、令和2年7月6日に策定・公表された「運輸防災マネジメント指針」(以下「指針」という。)を**詳細に分かりやすく解説**することで、**更なる理解**を促し、運輸事業者における**運輸防災マネジメントの構築の一助**とすることを目的としています。

特徴

① 防災指針の項毎に詳しく解説。左ページに防災指針、右ページに解説、**見やすさに配慮**したレイアウト。
2冊を見比べる必要なく、1冊で完結。

② 設定により**冊子印刷**が可能。 ※中綴じホッチキスが必要になります。



見どころ

① 指針を分かりやすく説明

運輸防災マネジメントのポイントとして指針において推奨される取組及びその留意すべき点について分かりやすい詳細な説明を追加しています。

- ◆ 防災の基本方針 ◆ 自然災害リスク評価からその対応の一連の対応
- ◆ 計画的装備、緊急連絡網、防災マニュアル、タイムライン等の事前の備えの内容
- ◆ 代替性の確保(ハード面、ソフト面) ◆ 利用者/荷主への情報提供
- ◆ 関係者(自治体・国・事業者)との連携 ◆ 教育・訓練等



QRコード

② 具体的な事例・例示の提示

防災指針の中で推奨する種々の取組の具体的な事例、例示を関連箇所に提示しています。

③ 関係する参考情報の提供

随所に、指針の参考情報を掲載。情報元のURLとQRコードを提供しています。



運輸防災マネジメントに役立つ情報PPT資料について

災害関連情報(ハザードマップ、気象情報等)、BCP策定等の支援(中小企業庁、DBJ格付融資等)、再建支援、多言語支援(JNTO提供アプリ、コールセンター等)



QRコード

取組事例のHP公開について

33件 (鉄道11件、自動車12件、海事7件、航空3件) 令和5年11月現在

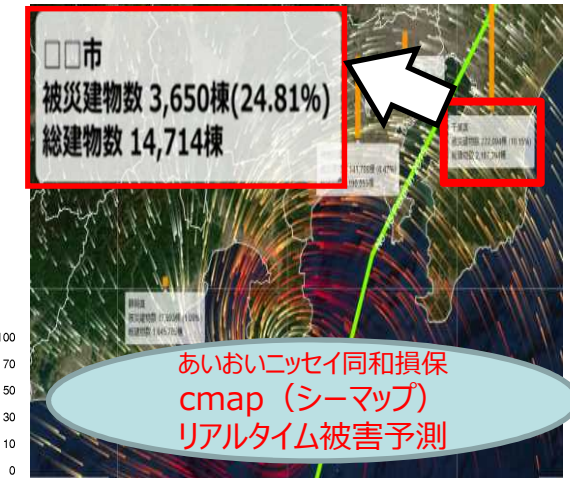
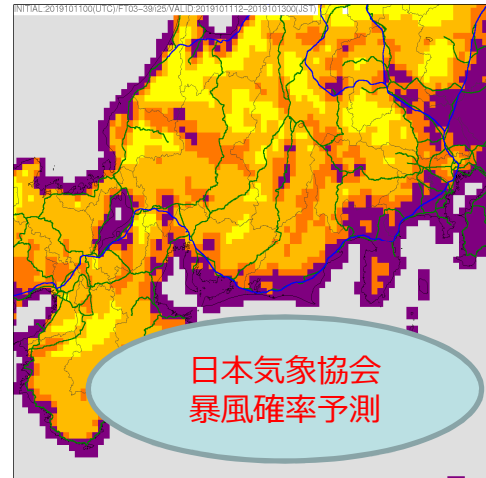


QRコード

営業所高台移転、非常用発電機設置、予備燃料確保、各種訓練実施、荷主との事前協議等

災害関連情報

- 気象庁：各種気象データの提供
- （一財）日本気象協会
：精緻な気象情報の提供
- 国土交通省
：川の防災情報
防災ポータル
重ねるハザードマップ
わがまちハザードマップ
DiMAPS
大規模氾濫減災協議会制度



BCP策定等の支援

- 地方自治体
：運輸事業者の防災力向上に向けた公的支援
- 内閣府防災：事業継続ガイドライン
- 中小企業庁：中小企業BCP策定運用指針
BCP策定・運用についての
専門家派遣
地域と企業の連携支援
- 日本政策投資銀行
：BCM格付融資
- 金融機関等
：BCP作成支援

再 建 支 援

- 日本政策金融公庫等
：災害復旧貸付
- 各都道府県等の
信用保証協会
：セーフティネット保証4号
災害関係保証
- 最寄りの生活衛生同業組合
：生活衛生改善貸付

多言語対応支援

- 日本政府観光局
(JNTO)
：コールセンター
(050-3816-2787)
アプリ
(Safety Assistance)
WEB、SNS



※気象庁ホームページ (<http://www.jma.go.jp/jma/menu/menuflash.html>)

○気象庁にて、気象防災、地震・津波、火山、海洋等の様々な情報の提供が行われている。

気象防災

- 気象警報・注意報
- 大雨危険度
- キキクル
- 雨雲の動き
- 今後の雨
- 気象情報
- 台風情報
- 指定河川洪水予報
- 土砂災害警戒情報
- 竜巻注意情報
- 熱中症警戒アラート
- 今後の雪

等

地震・津波

- 津波警報・予報
- 地震情報
- 推計震度分布図
- 長周期地震動に関する観測情報
- 南海トラフ地震関連情報

等

- 噴火速報・警報・予報
- 降灰予報
- 火山ガス予報

等

火山

- 海上警報・予報
- 海上分布予報
- 波浪実況・予想図
- 潮位観測情報
- 波浪観測情報

等

海洋

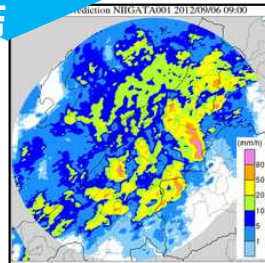


出典：(一財) 日本気象協会ホームページ (<https://www.jwa.or.jp/>)

豪雨・浸水・洪水・高潮対策

● 気象モデルによる降雨予想システム

最大78時間先までの降水量を精度良く予測。



● 土砂災害予想システム

山岳域で広範囲に渡って存在する設備網や線状の設備網（送電線網、パイプライン網、線路網、道路網など）の土砂災害リスクの把握に有効。

● ダムの事前放流判断支援サービス

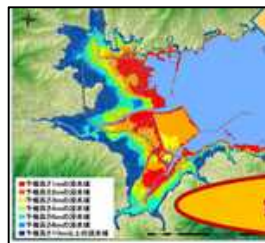
高解像度の雨量予測を基にダムへの流入量を予測し、事前放流判断を支援

● 高潮予測システム

120時間先までシミュレーションによる予測情報を作成。5コースの台風経路を設定し、1時間ごとの各地点の予測潮位を提供します。（東京湾、伊勢湾、大阪湾、瀬戸内海のみ）

● リアルタイム津波浸水予測システム

これまで培ってきた津波数値計算技術を用いて気象庁の震源予測に対応した津波到達時刻、高さ、浸水範囲、浸水深さなどをリアルタイムで予測するシステム



地震・津波対策

危機管理・防災

● GoStopシステム

全国的高速道路を対象に、気象による輸送影響リスクを72時間前から、地図等によりひと目で確認できるWebサービス。各路線のインターチェンジごとに、5つの気象要素（雨、風、雪、吹雪、越波）を1時間ごとに把握可能。

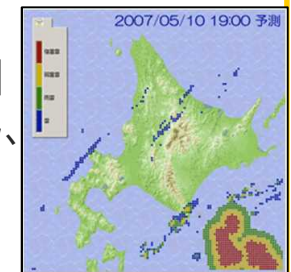
● 気象データ入電情報通知システム (MIEmAS)

警報や地震情報等の発表をいち早く知らせ、災害時における組織の迅速な対応を支援。



● 雷監視・予測サービス

落雷・雲放電の観測データと最新予測技術を活用し「落雷観測情報」「雷ナウキャスト」「雷予測メッシュ」を提供。雷雲の接近を事前に検知し、外作業や発電設備の事前停止など、迅速な初動対策を促す。



● 気象観測・解析

地上での気象観測以外に、係留気球や光放射観測、超音波風向風速計を用いて高層での気象観測や風況観測などを実施

気象
リスク
マネジメント
に関する情報
を提供

その他

○ 国土交通省や各関係機関等の情報提供ツールを一元化して、多言語化やスマートフォン対応等により、国内外の方々が平時から容易に防災情報等入手できるよう、防災ポータルを公開。

〈日頃から知ってほしい情報〉

被害想定

想定される被害やハザードマップを見ることができます

路線情報

バス・鉄道の路線図を見ることができます

私たちの取り組み

国土交通省が取り組む災害対策などを見ることができます

身の守り方

災害時に身を守るための知識を見ることができます

〈災害時、見てほしい情報〉

被害状況

災害時、いち早く被害の状況を見ることができます

気象状況

台風などの気象情報、雨量や河川の水位などを見ることができます

逃げるための情報

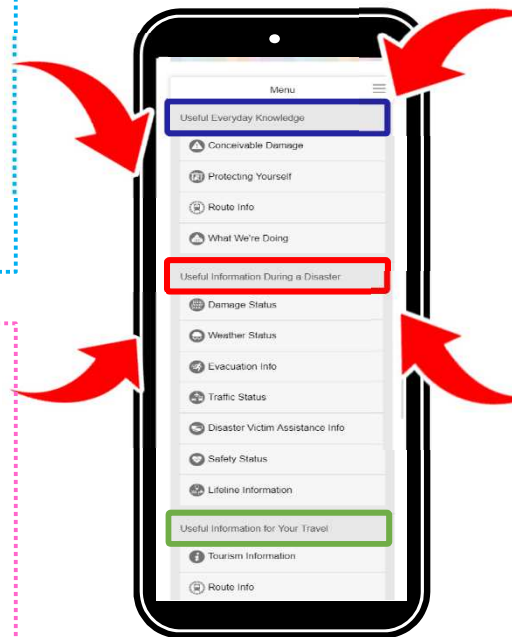
避難所等の防災施設を検索することができます

交通・物流情報

道路交通情報や鉄道・航空各社の運行情報、物流の状況を見ることができます

※その他、ライフライン情報などの情報も掲載されています

関係機関の情報提供ツールが
一元化



ご利用はコチラ

<http://www.mlit.go.jp/river/bousai/olympic/index.html>



出典：国土交通省川の防災情報ホームページ (http://www.river.go.jp/kwabou/html/map/ipTopGaikyoo_ac80_fw0.html)

●ウェブサイト「川の防災情報」 ※英語版あり

- 国または都道府県等が管理している一級河川、二級河川の情報（国、都道府県等が管理している水位観測所、雨量観測所等の情報）が原則対象。
- 無料**で閲覧可能。また、閲覧するために**登録が必要な情報は無し**。ただし、閲覧するためのデータ通信費用については、利用者の負担。

○雨量

10分ごとの雨量や1時間ごとの雨量が確認可能。

○レーダ雨量

全国及び各地域の雨量分布が一目でわかる。
※高精度・高分解能（250mメッシュ）で、ほぼリアルタイム（配信間隔1分）のレーダ雨量情報が確認可能（XRAIN GIS版）。

○水位

全国の水位観測所のリアルタイムの水位を、観測所付近の川の断面図とあわせて確認可能。

○カメラ

全国に設置されている河川カメラにおける静止画を見ることが可能。

○洪水予警報等

各地域の氾濫注意情報、氾濫警戒情報、氾濫危険情報、氾濫発生情報の発表状況について確認可能。

○ダム諸量データ

ダムに関して、10分ごとに観測される「貯水位」、「全流入量」、「全放流量」、「貯水量」、「貯水率（利水容量・有効容量）」などの値が確認可能。
※国土交通省水管理・国土保全局、（独）水資源機構、都道府県が設置したダムや堰で観測された情報が対象。

※ご利用はコチラ

➡：国土交通省川の防災情報ホームページ



(https://www.river.go.jp/kwabou/html/map/ipTopGaikyoo_ac80_fw0.html)

○「重ねるハザードマップ」と「わがまちハザードマップ」の2つのコンテンツから、ハザードマップへの関心を通じて住民等の防災意識向上を図ることを目的に、事前の防災対策や災害時の避難など、防災に役立つ情報を提供しています。

重ねるハザードマップ

様々な防災に役立つ情報を、**全国シームレス**に地図上で閲覧できます。

道路冠水想定箇所
緊急輸送道路
事前通行規制区間

土砂災害警戒区域等

浸水想定区域

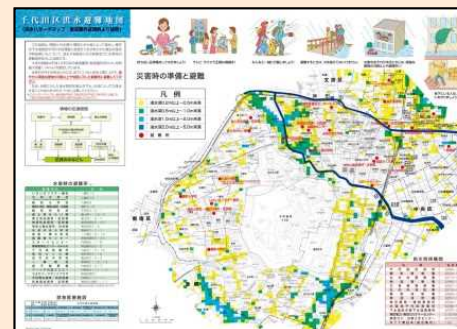
写真

1つの地図に重ね合わせて閲覧



わがまちハザードマップ

全国の市町村のハザードマップを閲覧することができます。



東京都千代田区洪水ハザードマップ



藤沢市津波ハザードマップ

避難計画・防災対策に役立つような、様々な防災に関する情報を提供しています

道路冠水想定箇所等

避難ルート
の検討



浸水想定区域

浸水対策
の検討



土地条件図等

耐震対策
の検討



身のまわりの災害リスクを簡単に調べることができます！

<https://disaportal.gsi.go.jp/>

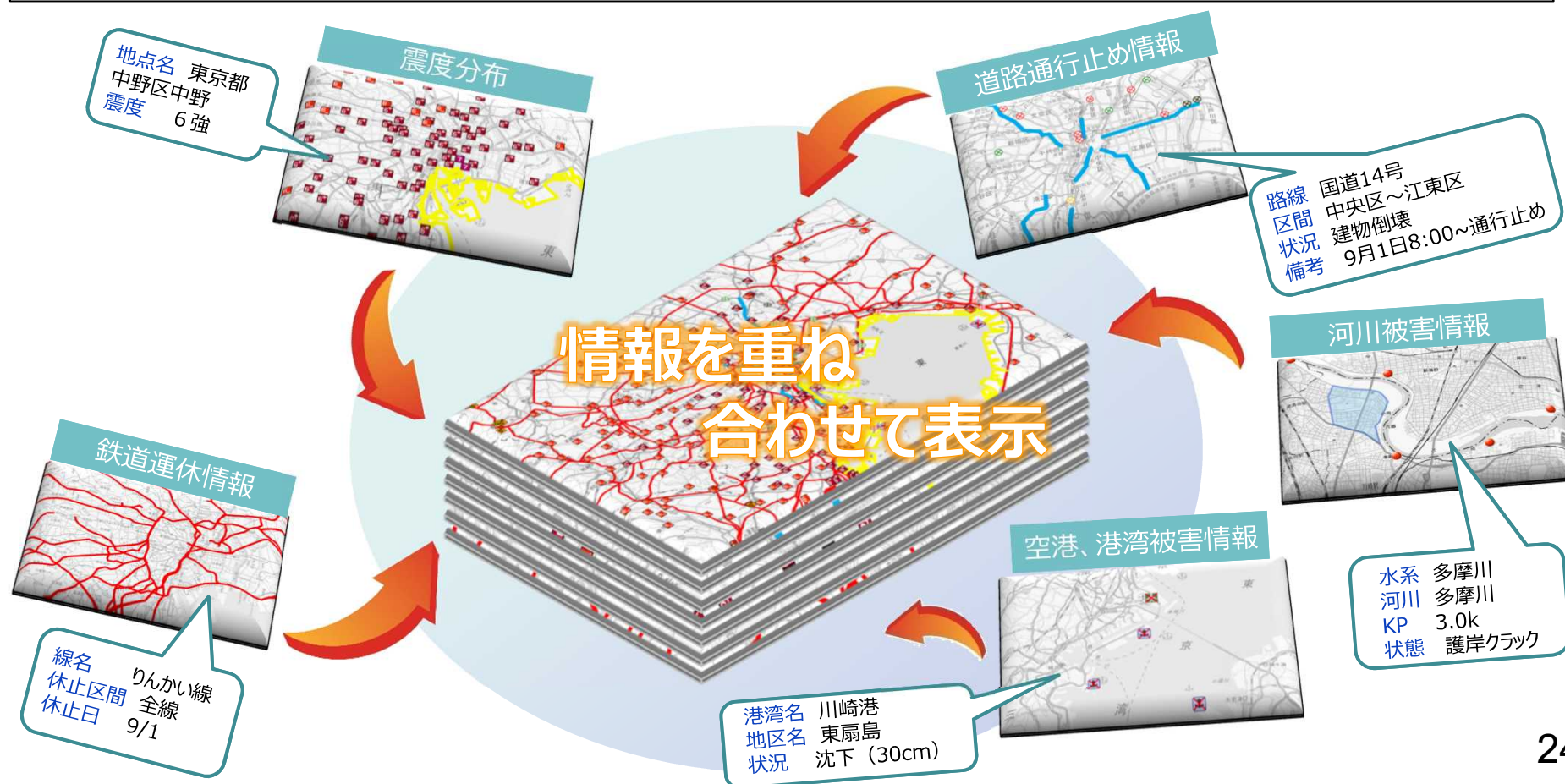
ハザードマップ

検索



※出典：<https://dimaps.mlit.go.jp/dimaps/index.html>

- 統合災害情報システム (DiMAPS) は、地震や風水害等の災害時に、国土交通省の関係部局からの被害報告や他システムの情報等をWeb地図上に集約し、統合表示するシステム。
- 拡大、縮小可能なシームレスなWeb地図上で災害情報の迅速な共有が可能。被害の全体像を含め災害対応に必要な情報を迅速に把握し、オペレーション等に活用。





出典：内閣府ホームページ（http://www.bousai.go.jp/kyoiku/kigyou/keizoku/sk_04.html）

○近年、経済の高度化に伴い、ひとつの企業の製品やサービスの供給停止が、社会経済に与える影響は、ますます大きくなっており、企業は、災害や事故で被害を受けても、取引先等の利害関係者から、重要な業務が中断しないこと、中断しても短い期間で再開することが望まれています。



○**広く事業継続の意義を理解してもらい、事業継続計画（BCP）策定の手がかりとなるよう、内閣府にて事業継続ガイドラインが公表されています。**

＜本ガイドラインの目的＞

※ BCM : Business Continuity Management

事業継続の取組、すなわち事業継続計画（BCP）を含めた事業継続マネジメント（BCM）の概要、必要性、有効性、実施方法、策定方法、留意事項等を示すことで、我が国の企業・組織の自主的な事業継続の取組を促し、ひいては我が国全体の事業継続能力の向上を実現すること。

＜本ガイドラインの対象＞

民間企業を主な対象とした内容が多く記載されていますが、業種・業態・規模を問わず、全ての企業・組織を対象としています。

※事業継続ガイドライン（令和3年4月）

<http://www.bousai.go.jp/kyoiku/kigyou/keizoku/pdf/guideline202104.pdf>

※事業継続ガイドライン 第三版 解説書（平成26年7月）

http://www.bousai.go.jp/kyoiku/kigyou/pdf/guideline03_ex.pdf



- 中小企業BCP策定運用指針は、中小企業へのBCP(緊急時企業存続計画または事業継続計画)の普及を促進することを目的として、中小企業関係者や有識者の意見を踏まえ、中小企業庁が作成したものです。指針には、中小企業の実態や実状に基づいたBCPの策定及び継続的な運用の具体的な方法が、わかりやすく説明されています。
- 本指針は、中小企業の経営者が、従業員と一緒に、自社のBCPを策定し、日常的に、運用するとともに、緊急時に備えてBCPの発動を演習するための指針です。中小企業が投入できる時間と労力に応じて、4通りのコース（入門コース、基本コース、中級コース、上級コース）が用意されています。

コース	説明	BCP策定に要する日数の目安
入門コース	BCPの策定・運用に当たって、最低限必要な要素を抽出したコースです。 経営者の頭の中にある考えをBCP様式類に沿って記入していくことで、BCP必要最低限のBCPを策定・運用します。	経営者1人で1～2時間程度
基本コース	BCPの策定・運用を始めようとする多くの経営者向けのコースです。 経営者の頭の中にある考えをBCPサイクルに沿って、BCP様式類に目標復旧時間や緊急連絡先等の具体的な情報を記入して、BCPを策定・運用します。	経営者1人で1～2日程度
中級コース	BCPサイクルに関する理論を学びつつ、自社のBCPを策定・運用したい経営者向けのコースです。 経営者の頭の中にある考えをBCPサイクルに沿って、BCP様式類に目標復旧時間や緊急連絡先等の具体的な情報を記入して、体系的にBCPを策定・運用します。	<ul style="list-style-type: none"> ・経営者1人で延べ3～5日程度 ・経営者とサブリーダー含め数人で2～3日程度
上級コース	BCPを策定・運用済みの企業が、複数の企業と連携して取り組んだり、より深い分析を行うことで、BCPの策定・運用をステップアップするためのコースです。	経営者とサブリーダー含め数人で延べ1週間程度

注) BCPの策定に限った日数の目安ですが、会社の規模や事業内容、事前対策の選定内容等によって変動します。
また、別途、BCPの運用（教育訓練や計画見直し）にも取り組むための時間が必要となります。

※詳しくはコチラ

➡中小企業庁ホームページ (<https://www.chusho.meti.go.jp/bcp/index.html>)



●日本政府観光局（JNTO）にて、自然災害時等の非常時に役立つ各種情報提供が行われている。

○多言語コールセンター「Japan Visitor Hotline」(050-3816-2787)

- ・病気、災害等、非常時のサポート及び一般観光案内を実施。
- ・365日、24時間、英語・中国語・韓国語で対応。

○公式Twitter／微博（Weibo）「Japan Safe Travel」

自然災害に関する警報・注意報、各交通機関の交通障害、感染症や熱中症の注意喚起など訪日中の旅行者の安心・安全につながる情報を配信。

※URL(Twitter) : <https://twitter.com/JapanSafeTravel>

※URL(微博) : <https://weibo.com/u/7385501623>



○スマートフォン向けアプリ「Japan Official Travel App」

このアプリ内の以下の項目で災害関連の各種情報提供を実施。

「In Case of Trouble」・・・大使館・領事館情報

「Points of Interest」・・・病院情報、避難場所・避難所情報 等

「Safety Assistance」(Other内)・・・災害情報、災害時に役立つ表現等

「Route Search」・・・路線情報、経路案内情報

※アプリダウンロード : <https://www.jnto.go.jp/smartapp/eng/about.html>



○JNTOグローバルウェブサイト

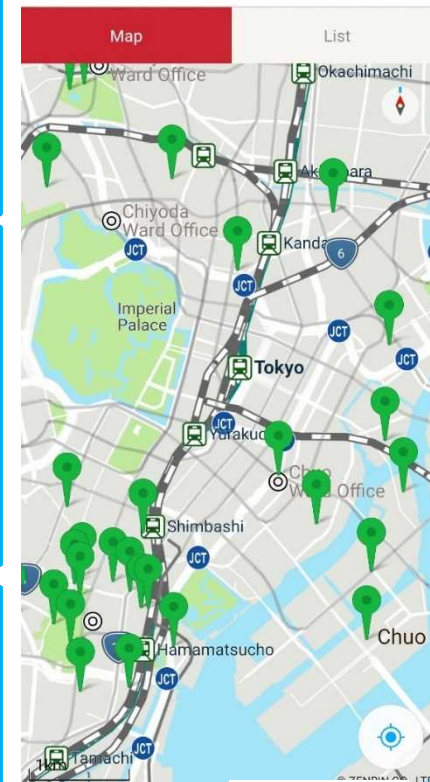
このウェブ内のImportant Notice内の「Japan Safe Travel Information」で、災害情報、主な鉄道・空港・航空の情報、医療関係情報等の参照先を提供。

※URL : <https://www.japan.travel/en/news/JapanSafeTravel/>



※Japan Official Travel Appにおける避難場所・避難所情報表示の例

※地図表示には通信可能な環境が必要です



※詳しくはコチラ➡https://www.jnto.go.jp/jpn/projects/visitor_support/safetravelinfo.html



<p>運輸防災マネジメント指針 報道発表資料</p>	<p>運輸防災マネジメント指針の解説</p>	<p>災害対策基本法</p>
		
<p>防災基本計画 (政府の中央防災会議)</p>	<p>中央防災会議2013 「首都直下地震の被害想定と対策に ついて(最終報告)」</p>	<p>「A2-BCP」ガイドライン ～自然災害に強い空港を目指して～ (国土交通省航空局)</p>
		

令和5年度 運輸防災マネジメントセミナー

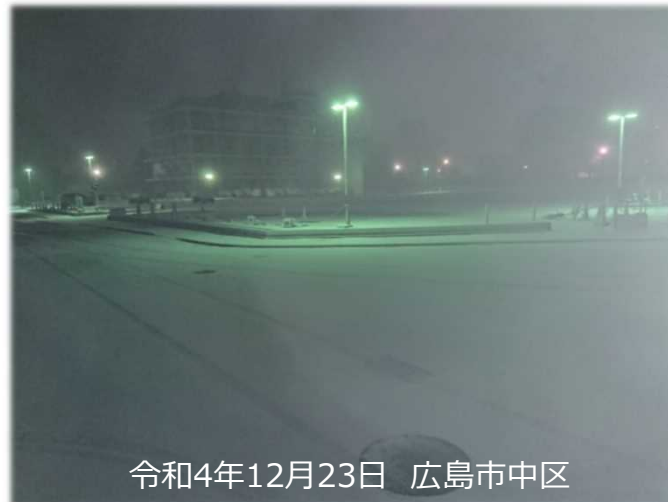
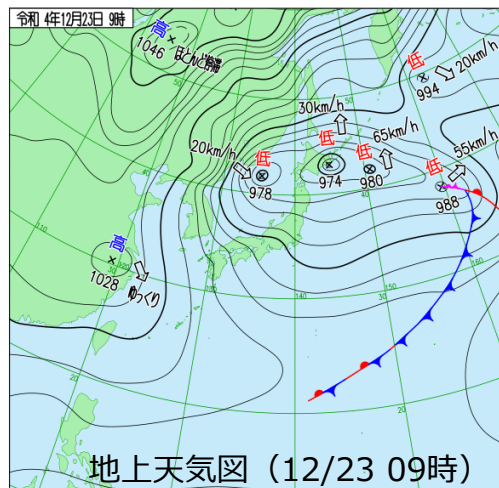
雪による災害及び防災気象情報の活用

- 1 雪に関する災害
- 2 防災気象情報の活用について
- 3 防災気象情報の入手方法

令和5年（2023年）12月1日
広島地方気象台 広域防災管理官 矢崎智也

雪に関する災害

近年の大雪災害を中心に説明します。



令和4年（2022年）12月23日は、冬型の気圧配置が強まり、広島市中区で6cmの積雪を観測しました。



また、翌年の令和5年（2023年）1月25日にも、非常に強い寒気の影響で、広島市中区で6cmの積雪を観測しました。

近年発生した大雪による災害

令和4年12月17日からの大雪による立ち往生等の状況



車両の滞留（国道8号）



支援物資の配布（国道8号）



車両の滞留（国道8号）

新潟県柏崎市の国道8号では、車両の立ち往生が断続的に発生し、12月19日15時40分から22.5kmが通行止めとなり、全面的な通行止めの解除までに約38時間を要しました。



出典：大雪に対する国土交通省緊急発表（R4.12.21）

近年発生した大雪による災害



平成22年12月～1月 鳥取県で発生した車の立ち往生

出典：大雪に対する道路利用者への呼びかけ（H29.1.12 中国地方整備局）



平成30年2月 福井県で発生した車の立ち往生

出典：大雪に関する緊急発表（R3.12.24 近畿地方整備局）



令和3年12月 滋賀県で発生した車の立ち往生

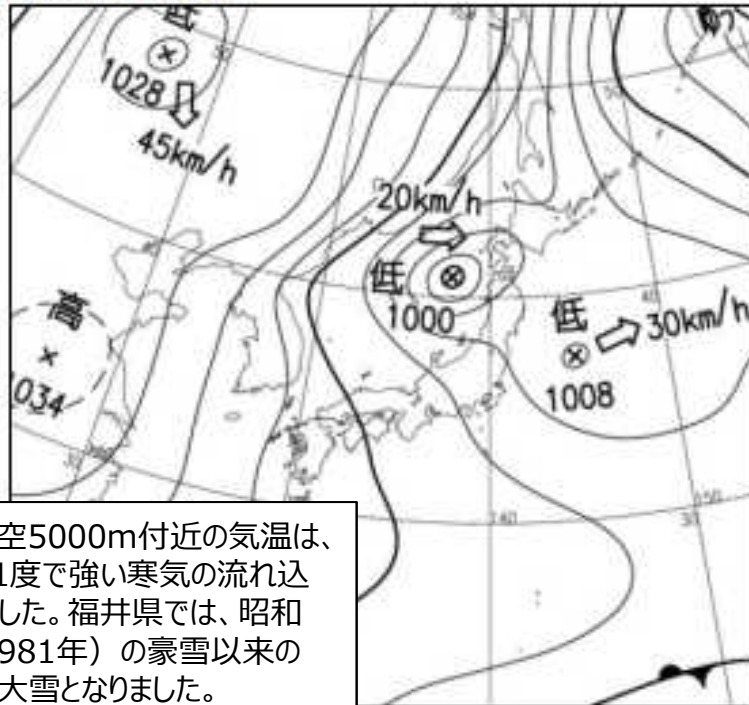
出典：滋賀県渋滞対策協議会（R4.2.22 滋賀国道事務所）



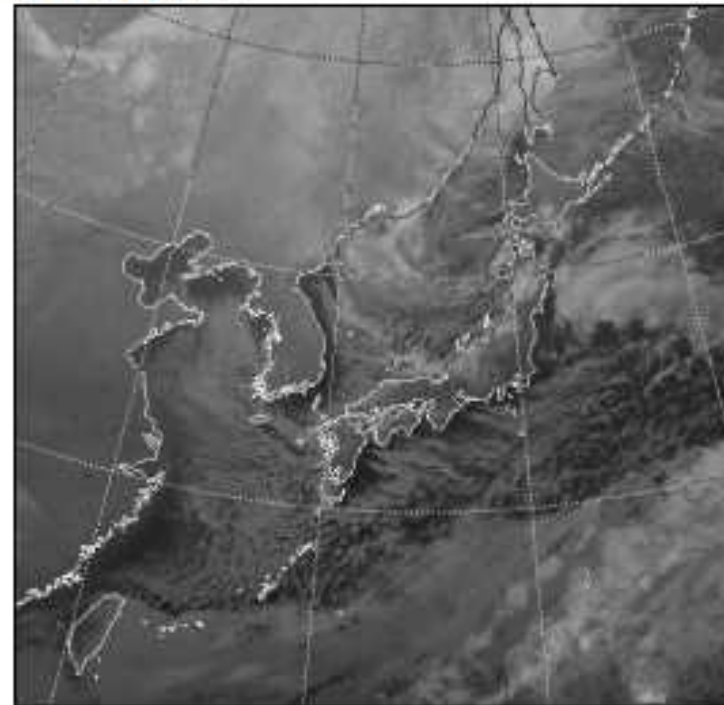
令和2年12月 兵庫県で発生した倒木や停電 出典：新温泉町

平成30年2月の大雪

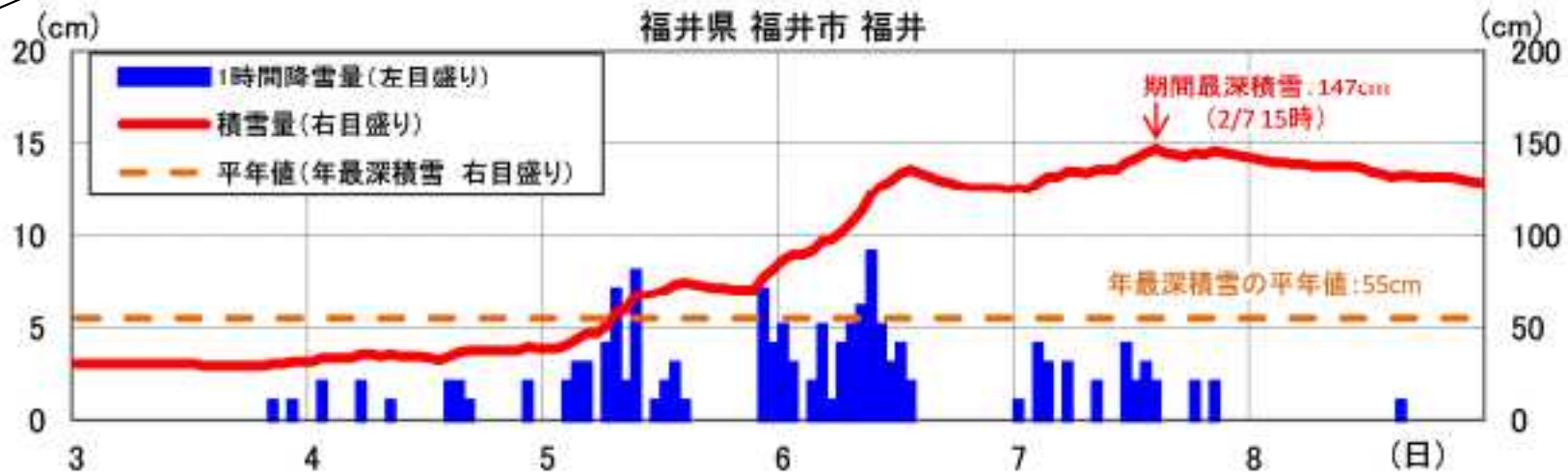
2月6日09時



2月6日09時



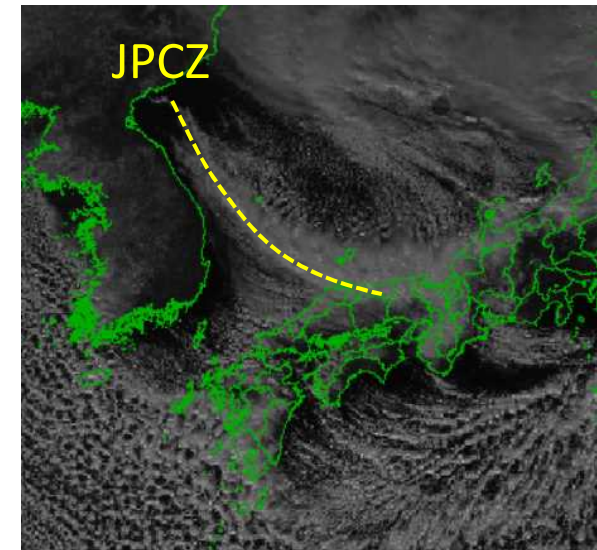
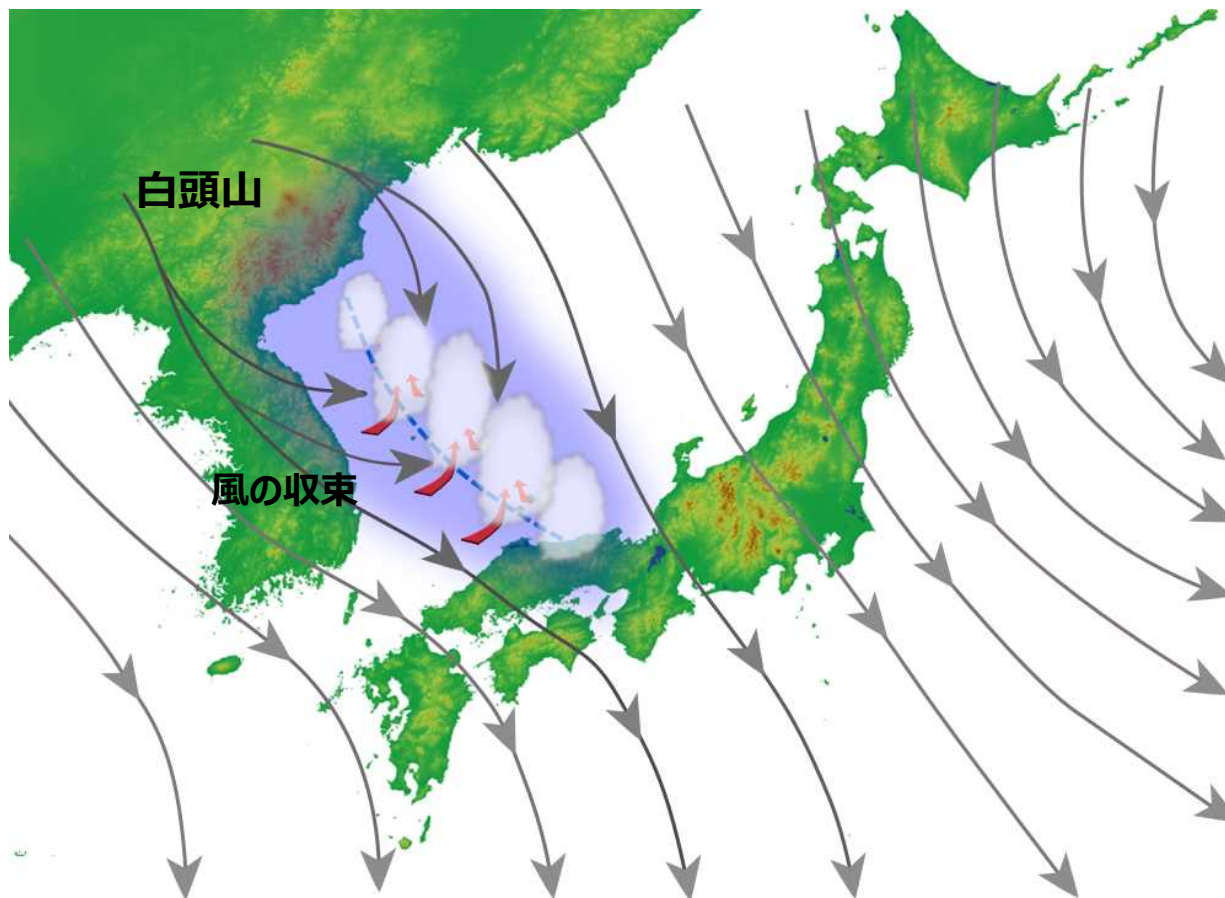
輪島の上空5000m付近の気温は、マイナス41度で強い寒気の流れ込みがありました。福井県では、昭和56年（1981年）の豪雪以来の記録的な大雪となりました。



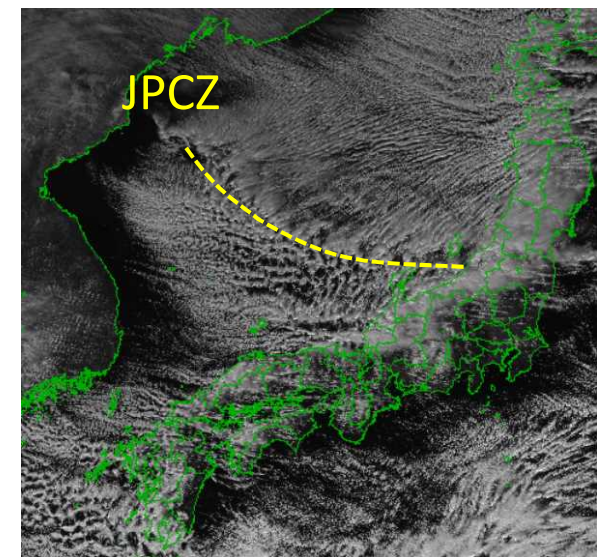
日本海寒帯気団収束帯 (JPCZ)

冬型の気圧配置となったときに、朝鮮半島北部にある白頭山周辺の山脈（2000～2700メートル級）により分流された風が日本海で合流し収束線（JPCZ）ができる。

※Japan sea Polar air mass Convergence Zone



平成22年12月31日13:00 可視画像

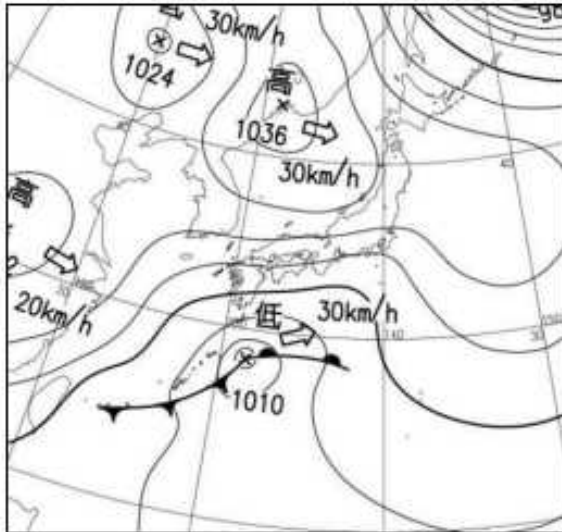


平成30年2月12日12:15 可視画像 6

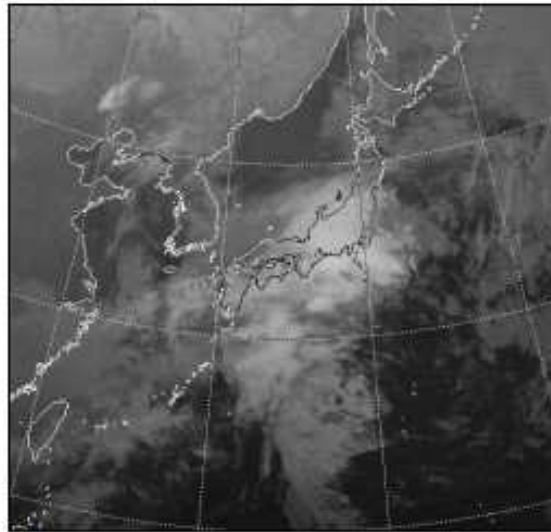
南岸低気圧による大雪

平成26年（2014年）2月14日から16日にかけて、関東甲信地方を中心に過去の最深積雪の記録を大幅に上回る記録的な大雪に見舞われた。

14日 09時

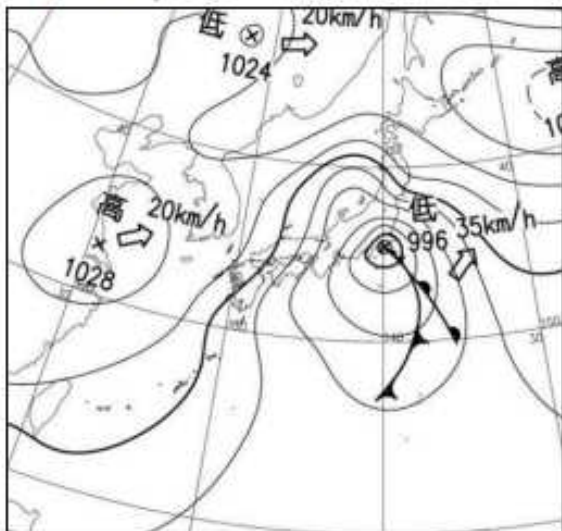


14日 09時

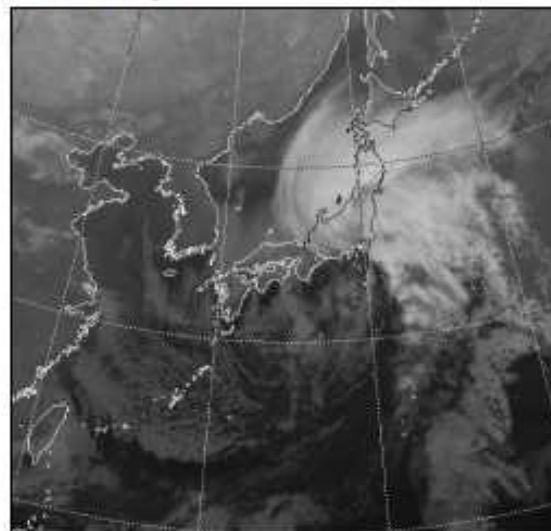


上空から見た被害状況（山梨県上空）

15日 09時



15日 09時



被災した農業ハウス（山梨県甲州市塩山地区）

南岸低気圧による大雪

低気圧が四国沖を通過するとき、低気圧の通過する位置や上空の寒気の強さによっては、瀬戸内側に大雪をもたらすことがあり、交通機関が大きく乱れ社会生活に大きな影響を与えることがある。



【雪の目安】
上空約1500m付近
- 3℃以下の寒気

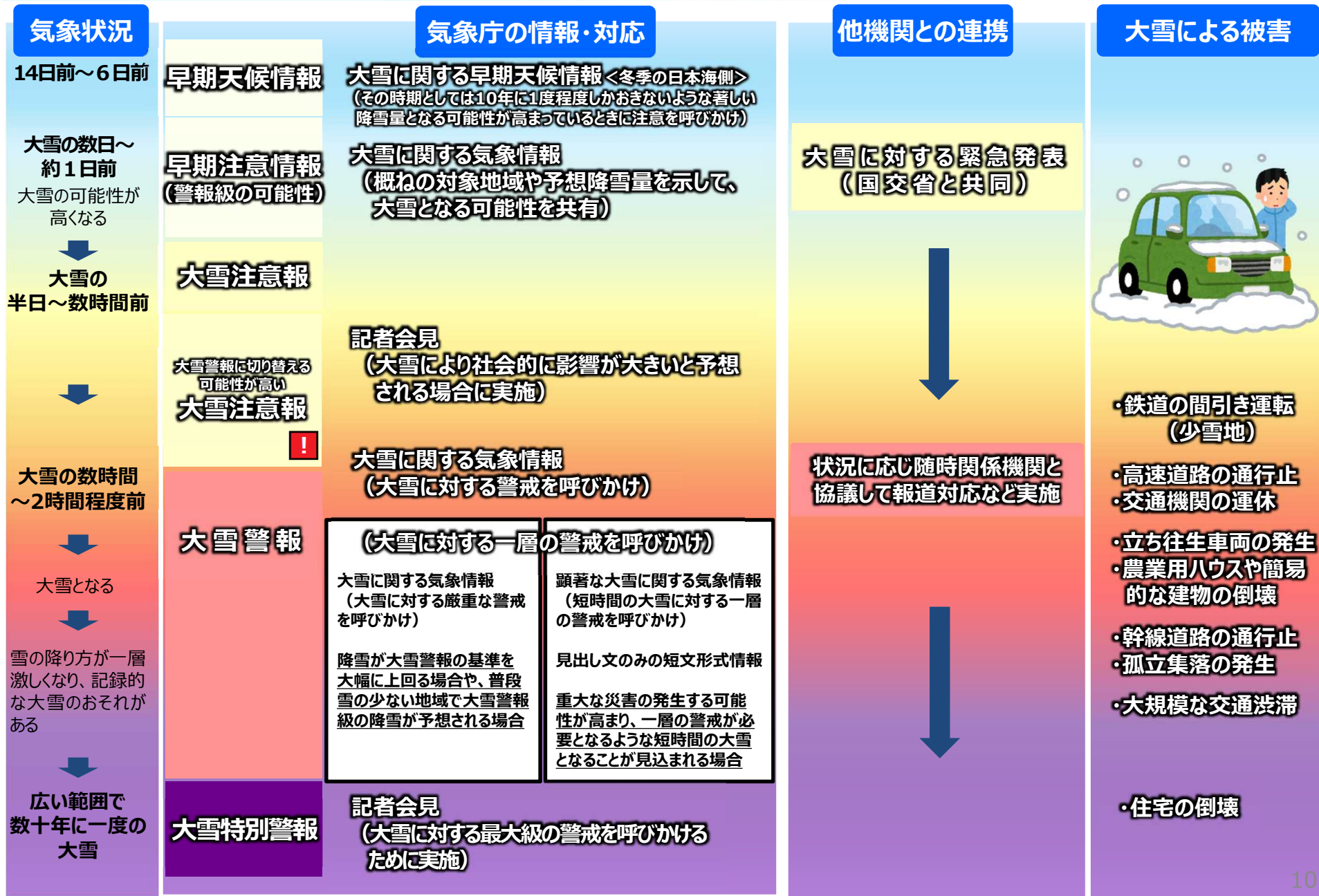


防災気象情報の活用について

雪に関する気象情報の種類や発表タイミング等について説明します。



大雪に対して段階的に発表する気象情報



大雪に関する早期天候情報

- その時期としては**10年に1度程度**しか起きないような著しい降雪量（冬季の日本海側）となる可能性が、いつもより高まっているときに、**6日前までに注意を呼びかける情報**です。
- 6日先から14日先までの期間で、5日間降雪量がかなり多くなる可能性が高まっていると判断した時に発表します。最新の気象情報に留意してください。

【発表例】

低温と大雪に関する早期天候情報（中国地方）

令和5年1月16日14時30分

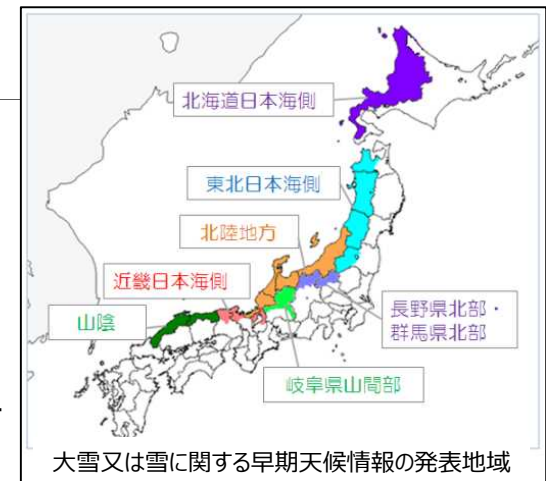
広島地方気象台 発表

中国地方 1月23日頃から かなりの低温

かなりの低温の基準：5日平均地域気温平年差 - 2.2℃以下

中国地方の気温は、22日頃までは平年並か高いですが、その後は寒気の影響を受けやすくなるため平年並か低い日が多く、23日頃からはかなり低くなる可能性があります。また、23日頃からは山陰を中心に降雪量がかなり多くなる可能性があります。

農作物の管理や、水道管の凍結、除雪の対応などに注意してください。また、今後の気象情報等に留意してください。



早期注意情報（警報級の可能性）

- 警報級の現象が5日先までに予想されているときには、その可能性を「早期注意情報（警報級の可能性）」として **[高]**、**[中]** の2段階で発表しています。
- 警報級の現象は、ひとたび発生すると命に危険が及ぶなど社会的影響が大きいいため、可能性が高いことを表す **[高]** だけでなく、可能性が高くはないが一定程度認められることを表す **[中]** も発表しています。
- 府県気象情報の内容と合わせて確認してください。

気象庁ホームページでの表示例

〇〇県の早期注意情報（警報級の可能性）										
〇年12月25日17時 〇地方気象台 発表										
〇部では、26日までの期間内に、大雪警報を発表する可能性が高い。										
△部では、26日までの期間内に、大雪警報を発表する可能性が高い。										
〇県〇部		25日	26日				27日	28日	29日	30日
		18-24	00-06	06-12	12-18	18-24				
大雨	警報級の可能性		—		—			—	—	—
	1時間最大		15以下	15以下	15以下	15以下	15以下			
	3時間最大		25以下	25以下	25以下	25以下	25以下			
	24時間最大			100から150						
大雪	警報級の可能性		[高]		[高]			[中]		
	6時間最大	下記以外	8	10	10	15	15			
		山地	15	20	20	30	25			
	24時間最大			70から100						
暴風 (雪)	警報級の可能性		—		—			—	—	—
	最大風速	陸上	10	12	12	12	12			
		海上	13	15	15	15	15			

【情報詳細】

大雪欄には、今後予想される6時間最大降雪量、及び24時間最大降雪量を記述しています。
原則として、毎日05時、11時、17時に更新します。



- 警報・注意報に先立って大雪への注意や警戒を呼びかけます。早期注意情報（警報級の可能性）と合わせて確認してください。

令和4年12月に鳥取地方気象台が発表した大雪に関する気象情報の例

- 大雪と高波に関する鳥取県気象情報 第1号
令和4年12月16日16時25分 鳥取地方気象台発表
18日を中心に山地で大雪となるおそれがあります。**雪雲が現在の予想以上に発達した場合は、警報級の大雪となる可能性があります。**
- 大雪と高波に関する鳥取県気象情報 第1号
令和4年12月20日16時21分 鳥取地方気象台発表
22日から24日頃にかけて大雪となるおそれがあります。**雪雲が現在の予想以上に発達した場合は、警報級の大雪となる可能性があります。**
- 高波と大雪及び突風に関する鳥取県気象情報 第3号
令和4年12月22日06時13分 鳥取地方気象台発表
22日夕方から25日頃にかけての**長期間、大雪となる見込み**です。特に22日夕方から23日にかけて**短時間に降雪が強まるおそれ**があります。**雪雲が現在の予想以上に発達した場合は、警報級の大雪となる可能性があります。**

大雪警報・注意報

- 警報は、**重大な災害**が発生するような警報級の現象が**おおむね3～6時間先**に予想されるときに発表することとしています。
- 警報級の現象が概ね6時間以上先に予想されているときには、警報の発表に先立って、**警報に切り替える可能性が高い注意報**を発表することとしています。
- 隣接県の大雪警報、着雪やなだれ等の注意報にも留意してください。

2020-12-31-15時31分発表

湯沢町 **[継続]大雪, 雷, なだれ, 着雪注意報**
1日未明までに大雪警報に切り替える可能性が高い

湯沢町 発表中の 警報・注意報等の種別	今後の推移(■警報級 ■注意報級)										備考・ 関連する現象
	31日					1日					
	15-18	18-21	21-24	0-3	3-6	6-9	9-12	12-15	15-18		
大雪				■	■	■	■	■	■	■	12時間最大降雪量70センチ 以後も注意報級 降雪による交通障害
雷											以後も注意報級 竜巻
着雪											以後も注意報級
なだれ											2日にかけて 以後も注意報級

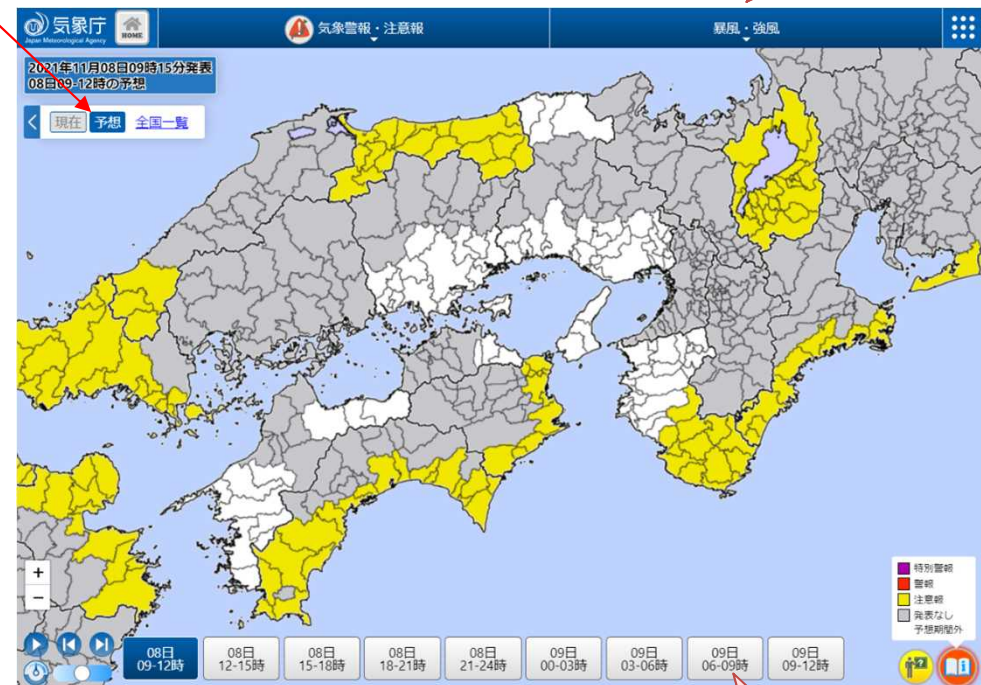
2020-12-31-20時19分発表

湯沢町 **[発表]大雪警報**
[継続]雷, なだれ, 着雪注意報

湯沢町 発表中の 警報・注意報等の種別	今後の推移(■警報級 ■注意報級)										備考・ 関連する現象
	31日		1日								
	18-21	21-24	0-3	3-6	6-9	9-12	12-15	15-18	18-21		
大雪			■	■	■	■	■	■	■	■	12時間最大降雪量70センチ 以後も注意報級 降雪による交通障害
雷											以後も注意報級 竜巻
着雪											以後も注意報級
なだれ											2日にかけて 以後も注意報級

予想を選択

2021-11-08 (「気象警報・注意報」画面表示例)



警報注意報用の
種別選択

気象庁ホームページでの表示例

明日までの予想

○顕著な大雪に関する気象情報（短時間の大雪に対する一層の警戒を呼びかけ）

重大な災害の発生する可能性が高まり、一層の警戒が必要となるような短時間の大雪となることが見込まれる場合に発表する気象情報

- 降雪量（実況値）と今後の見通しを記載した短文形式の気象情報
- 近畿地方（滋賀県、京都府、兵庫県）、中国地方（岡山県、広島県、島根県、鳥取県）で運用^{*1}

地域	対象府県	発表の目安*
近畿地方	滋賀県、京都府、兵庫県	アメダス地点などで6時間降雪量が35cm（兵庫県兔和野高原は40cm）に達し、その後も警報級の降雪が続いて、12時間降雪量が警報基準を超過すると予測するとき
中国地方	広島県、岡山県 島根県、鳥取県	アメダス地点で6時間降雪量が、平地で30cmまたは山地で40cmに達し、その後も警報級の降雪を予測するとき

※ 過去の交通障害などと、そのときの観測値を検証して発表の目安を設定します。目安は情報の効果を検証して適宜、見直します。

*1：全国では他に、北陸地方（新潟県、富山県、石川県、福井県）、東北地方（福島県《会津地方》、山形県）で運用。

○大雪に関する気象情報（大雪に対する厳重な警戒を呼びかけ）

降雪が大雪警報の基準を大幅に上回る場合や、普段雪の少ない地域で大雪警報級の降雪が予想され、重大な災害の発生の可能性が高まり、一層の警戒が必要となる場合に発表する気象情報

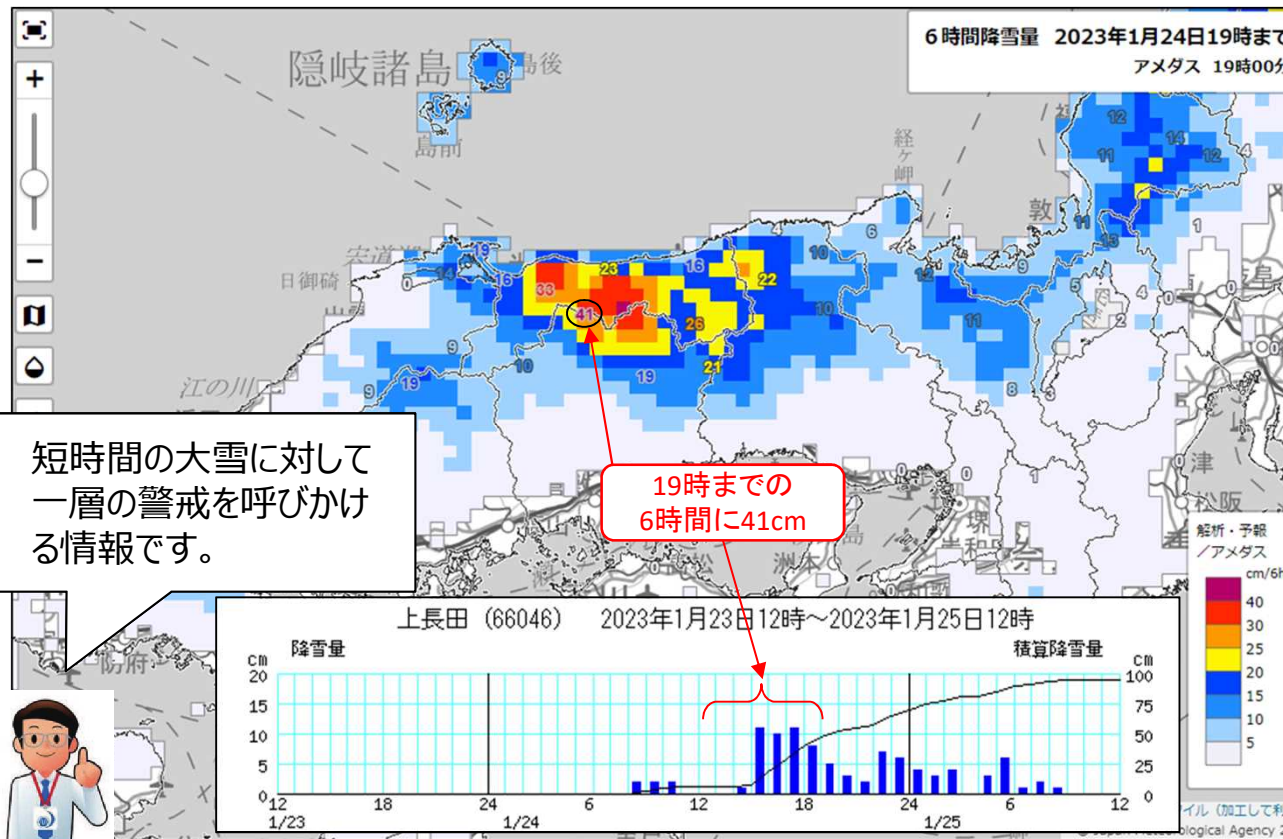
- 厳重な警戒を呼びかける、文章形式または見出し文のみの短文形式の気象情報
- 「見出し文」のキーワード 雪が強く降る見込みです。大雪に厳重に警戒し、不要不急の外出は控えてください。

顕著な大雪に関する気象情報

【発表例】

顕著な大雪に関する岡山県気象情報 第8号
令和5年1月24日19時10分 岡山地方気象台発表
(見出し)

真庭市上長田では、24日19時までの6時間に41センチの顕著な降雪を観測しました。強い雪は25日朝にかけても続く見込みです。真庭地域では、深刻な交通障害の発生するおそれが高まっています。



<雪の実況>

24日19時現在の主な地点の6時間降雪量と積雪の深さ (アメダスによる速報値)

地点	6時間降雪量	積雪の深さ
真庭市上長田	41センチ	45センチ
美作市今岡	21センチ	21センチ
津山	19センチ	19センチ
新見市千屋	10センチ	18センチ

<雪の予想>

24日21時から25日21時までに予想される24時間降雪量は、いずれも多い所で、

北部 山地	60センチ
平地	30センチ
南部	15センチ

令和5年1月24日19時43分に岡山地方気象台が発表した「大雪に関する岡山県気象情報 第9号」による岡山県の「雪の実況」と「雪の予想」

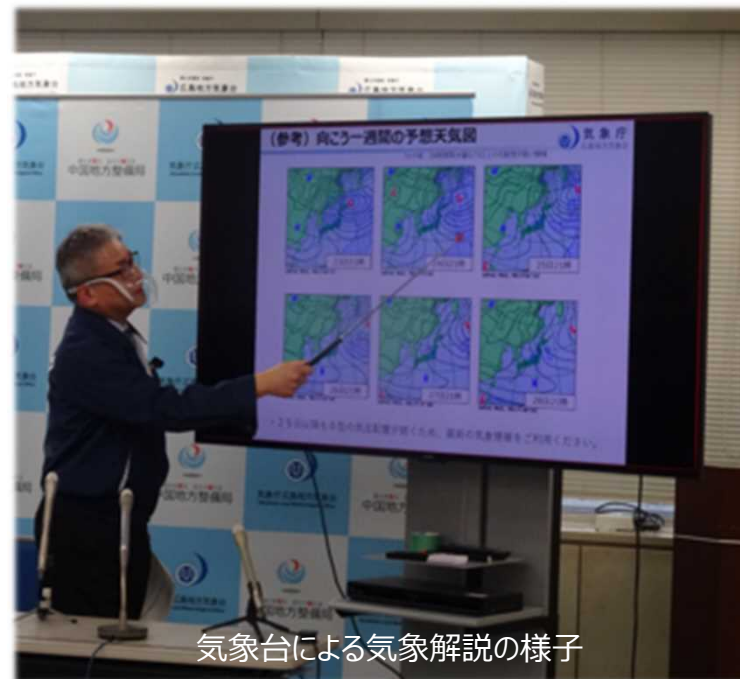
令和5年1月24日19時の解析降雪量 (6時間) 数値はアメダス観測値

大雪に対する緊急発表（合同記者会見の実施）

- 令和4年12月21日15時から合同記者会見を実施



中国地方整備局、NEXCO西日本、気象台の合同記者会見



気象台による気象解説の様子



報道機関による取材の様子

令和4年12月22日から25日頃にかけて、中国地方では**警報級の大雪**による、積雪や路面凍結によって、**交通障害のおそれ**があったため、3機関合同で、注意・警戒を呼びかけました。
また、令和5年1月23日にも1月24日から25日にかけての警報級の大雪による交通障害等のおそれについて同様に注意・警戒を呼びかけました。




※緊急発表を実施した際は広島地方気象台ホームページの **新着情報**にもお知らせを掲載中
<https://www.data.jma.go.jp/hiroshima/>

大雪に関するお知らせ (発表例)

令和4年12月22日 「大雪に関するお知らせ」

中国地方整備局、広島地方気象台ほか 共同発表

お知らせ



人と物の移動を見つめ支えます
国土交通省中国運輸局
国土交通省 中国地方整備局
国土交通省 広島地方気象台
NEXCO 西日本
本四高速
本州四国連絡高速道路株式会社

令和4年12月22日

<同時資料提供先>

【中国地方】 合同庁舎記者クラブ・鳥取県政記者会・島根県政記者会
岡山県政記者クラブ・広島県政記者クラブ・山口県政記者クラブ
山口県政記者会・山口県政滝町記者クラブ・中国地方建設記者クラブ

【近畿地方】 近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ

【九州地方】 国土交通省九州記者会、九州建設専門記者クラブ

大雪に関するお知らせ

～不要不急の外出はお控え下さい～

○日本付近は、冬型の気圧配置が強まり26日頃にかけて続く見込みです。このため、中国地方では、22日から23日は警報級の大雪となり、26日頃にかけても、断続的に大雪となる見込みです。積雪や路面凍結による交通障害に警戒してください。【別紙-1】

○不要不急の外出は避けて頂くとともに、やむを得ず外出される場合は、冬用タイヤやタイヤチェーン早期装着をお願いします。降雪時は冬用タイヤだけでは立ち往生する場合がありますので、早めのチェーン装着をお願いします。

○近畿方面から山陰方面及び九州方面から近畿方面に向かう方は、最新の情報をもとに山陽側への広域迂回をお願いします。【別紙-2】

○公共交通機関においても、長時間にわたる遅延や、運休が発生する恐れがあります。

○最新の気象情報及び交通情報等に注意し、外出が必要な場合には、十分な時間的余裕を持って行動頂くようお願いいたします。

○道路の積雪や凍結により、ノーマルタイヤを装着した車両が立ち往生して、深刻な交通渋滞や通行止めを引き起こしています。

○積雪・凍結道路ですべり止めの措置をとらない運転は法令違反となります。

大雪に伴う積雪・路面凍結にご注意ください 令和4年12月22日 発表

別紙-1

○日本付近は、冬型の気圧配置が強まり、26日頃にかけて続く見込みです。このため、中国地方は22日から23日は警報級の大雪となり、26日頃にかけても、断続的に大雪となる見込みです。

○不要不急の外出は避けて頂くとともに、やむを得ず外出される場合は、冬用タイヤやタイヤチェーン早期装着をお願いします。降雪時は冬用タイヤだけでは立ち往生する場合がありますので、早めのチェーン装着をお願いします。

○近畿方面から山陰方面及び九州方面から近畿方面に向かう方は、最新の情報をもとに山陽側への広域迂回をお願いします。

○公共交通機関においても、長時間にわたる遅延や運休が発生するおそれがあります。

○最新の気象情報及び交通情報等に注意し、外出が必要な場合には、十分な時間的余裕を持って行動頂くようお願いいたします。

【今後の気象の見通し】

【早期注意情報(大雪の警報級の可能性)】 22日11時発表

県名	【早期注意情報(大雪の警報級の可能性)】		
	22日	23日	24日
鳥取	中	中	中
島根	高	高	中
岡山	—	—	—
広島	中	中	中
山口	中	中	中

【気象概況】

○西日本の上空約5000メートルには氷点下30度以下の、この冬一番の強い寒気が流れ込む見込みです。


○22日夕方から23日にかけて、山陰では、警報級の大雪となる見込みです。

○降雪のピークは22日夕方から23日の見込みで、島根県は警報級の大雪になる可能性が高く、その後も24日にかけて、山陰や山陽北部を中心に警報級の大雪になる可能性があります。


○山陽南部の平地でも積雪となる所がある見込みです。

【各市町村の注意警戒時間】
<https://www.jma.go.jp/jp/warn/>

大雪の影響による広域迂回に関するお願い【別紙-2】



大雪が予想される地域



○ 通行止め区間(箇所)

○ 冬用タイヤ等必要区間

※R4.12.22 12:00現在

←→ 想定される広域迂回路

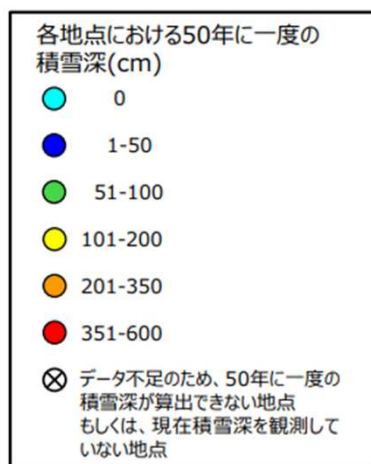
凡例

- 中国地方整備局管理道路
- 近畿地方整備局管理道路
- 有料道路(NEXCO西日本等)

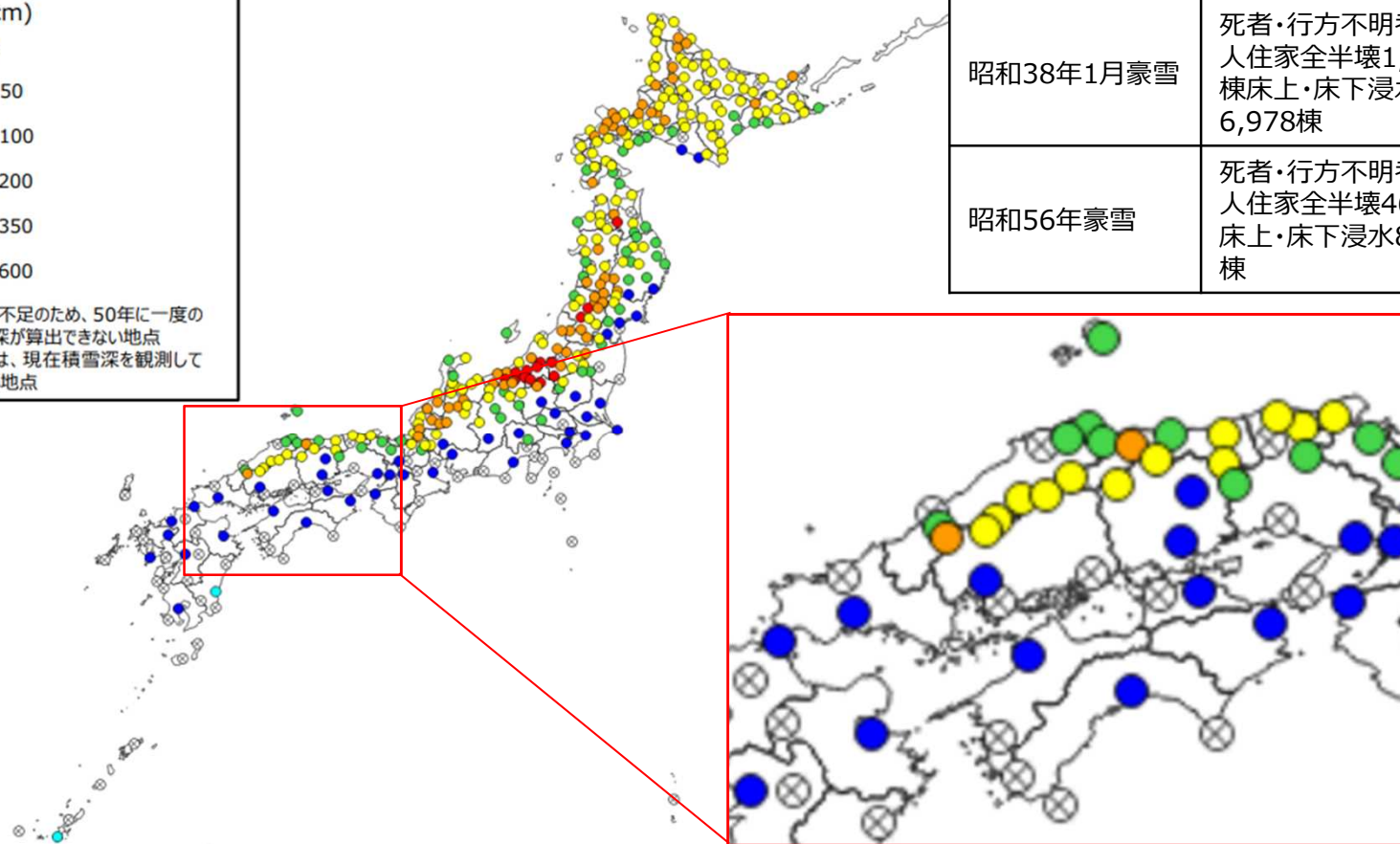
※大雪が予想される地域について、雪の降り方により地域が広がる場合があります。最新の情報をもとに山陽側への広域迂回をお願いします。

大雪特別警報

- 記録的な大雪（府県程度の広がりをもって50年に一度の積雪深）となり、かつ、その後も警報級の降雪が丸一日程度以上続くと予想される場合には、大雪特別警報を発表します。



令和5年11月1日現在



指標(発表条件)を満たす主な事例	
昭和38年1月豪雪	死者・行方不明者231人 住家全半壊1,735棟 床上・床下浸水6,978棟
昭和56年豪雪	死者・行方不明者152人 住家全半壊466棟 床上・床下浸水8,097棟

(注)50年に一度の積雪深の値が小さな地域については、既往最深積雪深の値なども用いて指標(発表条件)を設定する。

防災気象情報の入手方法について

パソコンやスマートフォン等から色々な情報が入手できます。



気象台が発表する防災気象情報の伝達



気象庁・気象台HP



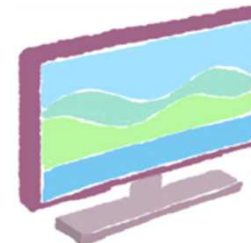
気象庁・気象台が発表する情報を掲載しています。

都道府県・防災関係機関 市町・消防本部など



広報車や防災無線などで放送されるほか、**都道府県や市町村の中にはメールで送ってくれるサービスをしているところもあります。**

テレビ・ラジオ

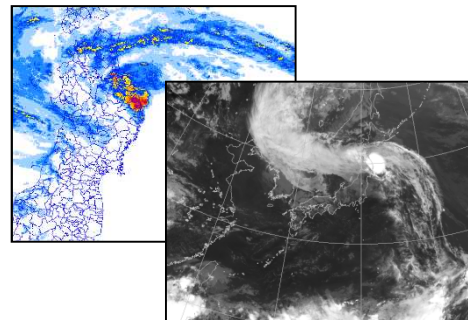


テレビ（データ放送（“dボタン”）でも多くの情報が入手可能）やラジオなどで放送されます。

民間気象会社など



メールで送ってくれるサービスをしているところもあります。



「広島・呉」に大雨注意報を
発表します。

雪の観測情報（気象庁ホームページ）

雪の状況 https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/snc_rct/index_snc.html

【気象庁ホーム】⇒【各種データ・資料】
⇒【最新の気象データ】⇒【雪の状況】
次の分布図や一覧表を表示できます。

- ・積雪の深さ（現在の値）
- ・積雪の深さ（現在の値） 平年比
- ・24時間降雪量（現在の値）
- ・日最深積雪
- ・日最深積雪平年比 など

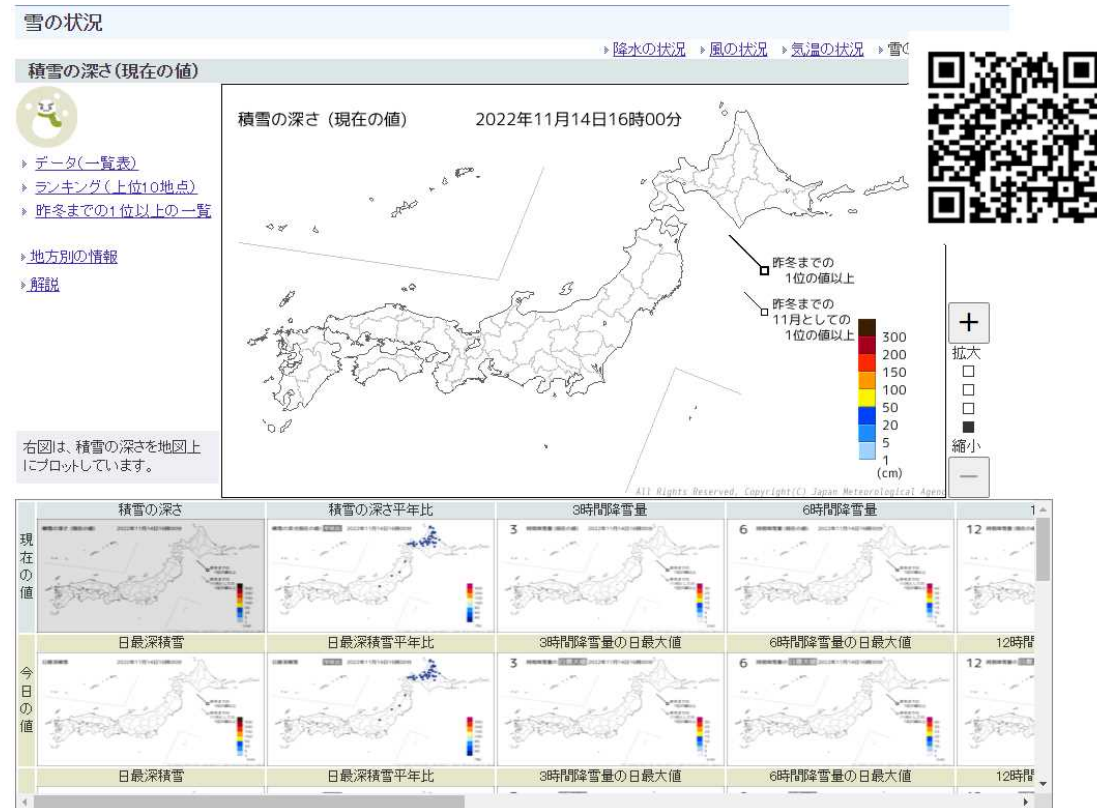
【備考欄表示例】

昨冬までの1位の値以上

昨冬までの10月の1位の値以上

昨冬までの1位の値以上（10年未満）

昨冬までの10月の1位の値以上（10年未満）



日最深積雪へ 3時間へ 6時間へ 12時間へ 24時間へ 48時間へ 72時間へ 昨日の累積降雪量へ ページ先頭へ 解説へ

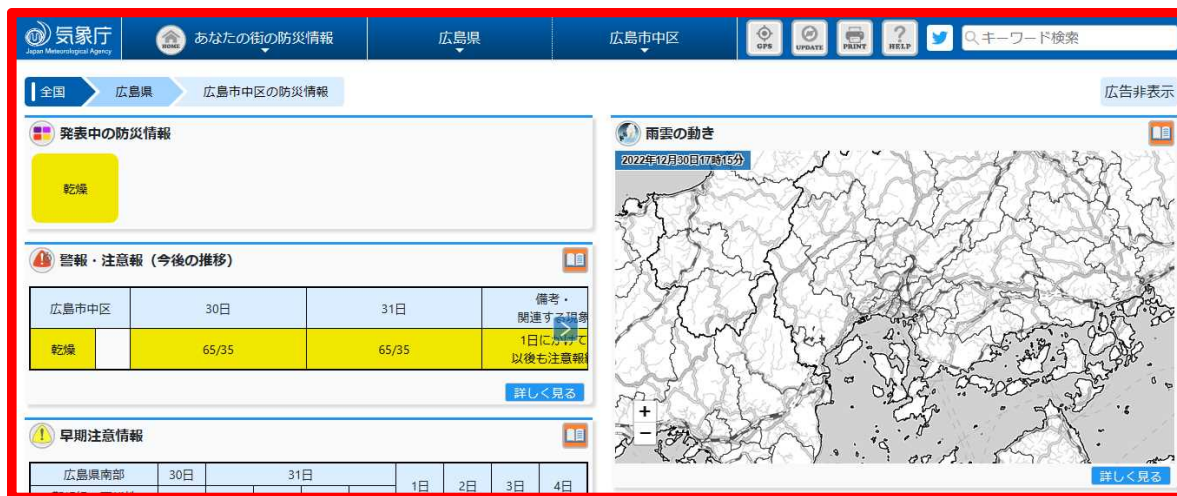
積雪の深さ		16時00分現在									
都道府県	市町村	地点	現在の積雪の深さ		日平年値	備考	昨冬までの観測史上1位の値		昨冬までの11月の1位の値		統計開始年
			(cm)	平年比 (%)			(cm)	年月日	(cm)	年月日	
広島県	庄原市	高野(タカノ)	///	///	0		166	2005/12/24	29	2008/11/19	1990年
広島県	山県郡北広島町	八幡(ヤフタ)	///	///	0		207	2011/02/13	37	2013/11/29	1990年
広島県	山県郡北広島町	大朝(オオアサ)	///	///	0		104	2011/01/17	6	2013/11/29	1990年
広島県	広島市中区	広島(ヒロシマ)*	///	///	--		31	1893/01/05	2	1938/11/12	1883年

防災気象情報の入手方法について

気象庁ホームページ パソコンでの表示



防災情報のページ



[気象庁 Japan Meteorological Agency \(jma.go.jp\)](http://jma.go.jp)

スマートフォンの表示

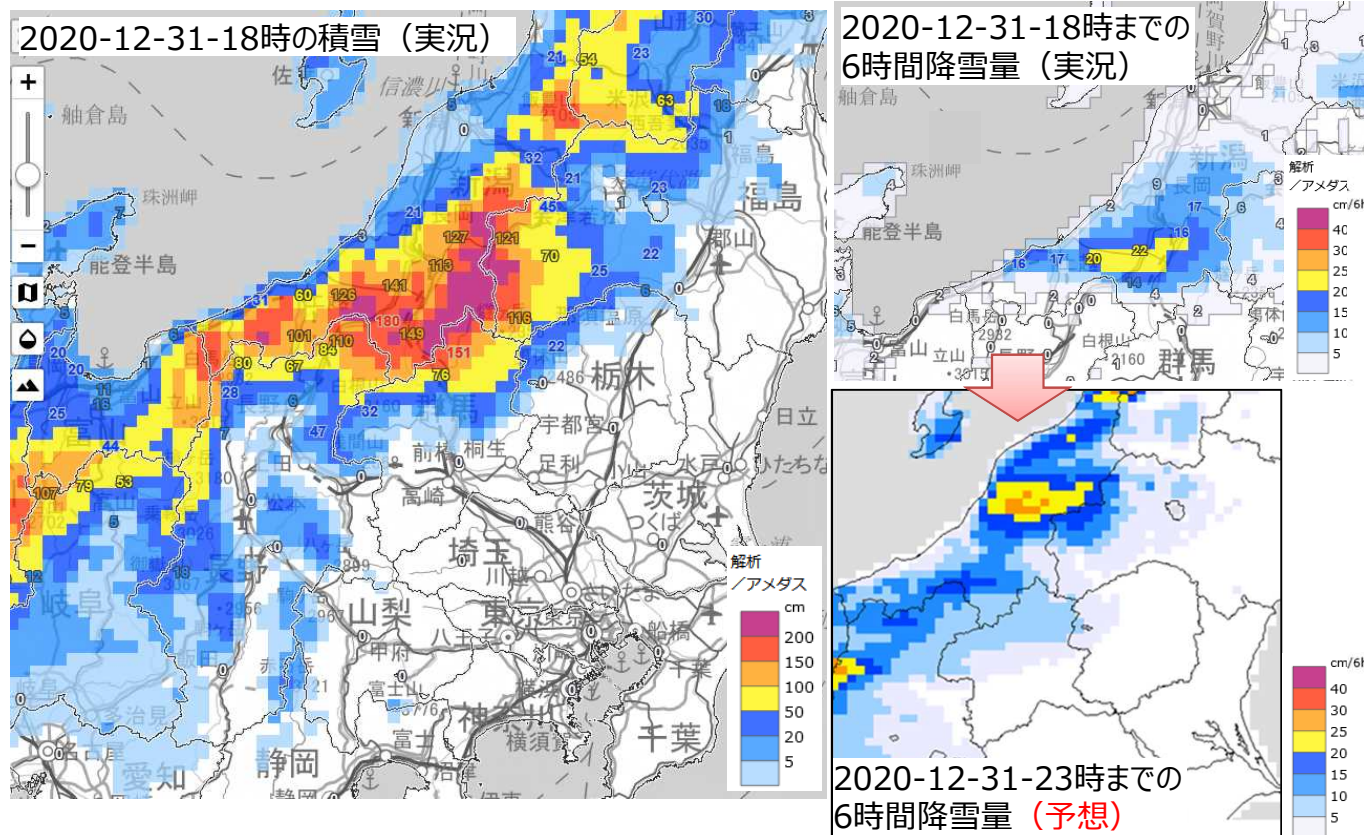


警報・注意報、早期注意情報、気象情報、雨雲の動き、今後の雪などが確認できます。

今後の雪（降雪短時間予報）

令和3年11月10日から配信

- 解析積雪深・解析降雪量と組み合わせて、6時間先までの積雪深や降雪量の予測分布が確認できるようになります。雪による交通への影響等を前もって判断いただくための情報としてご利用ください。
- この情報は1cm単位で活用いただくことを想定していません。今後数時間先までの積雪の深さ・降雪量の予想分布の傾向を把握するための資料としてご利用ください。

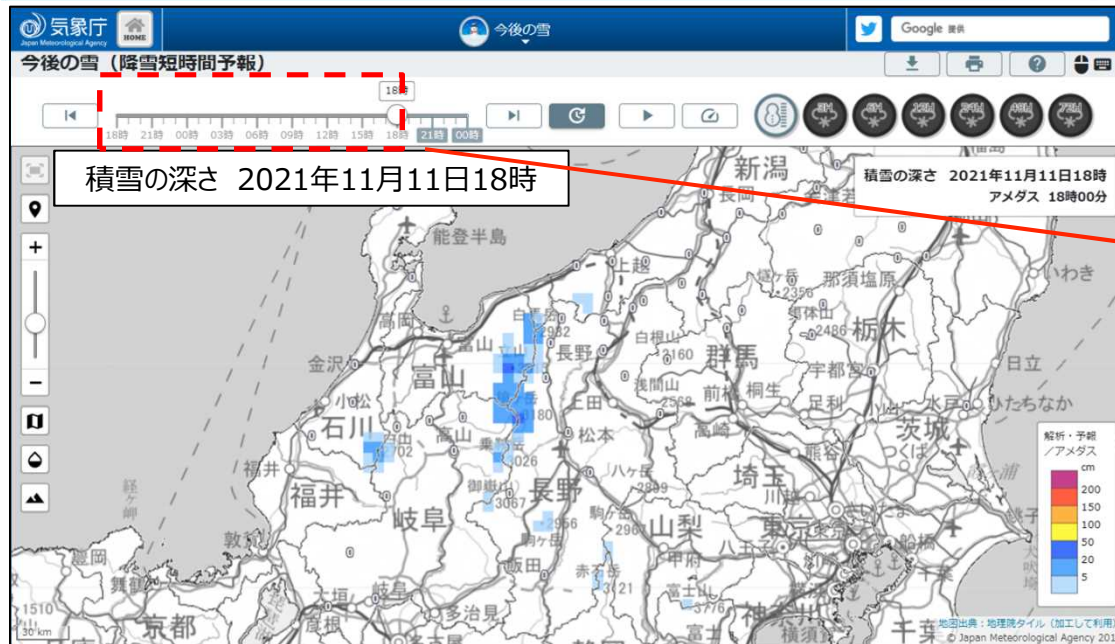


今夜はまだ降りそうだ・・・
通行止めになると困るし、
車はやめておこう。
帰るのは来週にしよう。

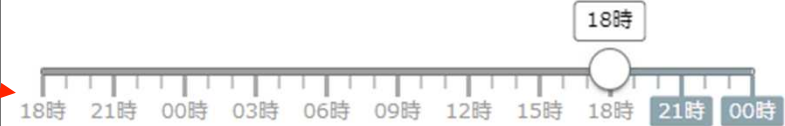


今後の雪（降雪短時間予報）

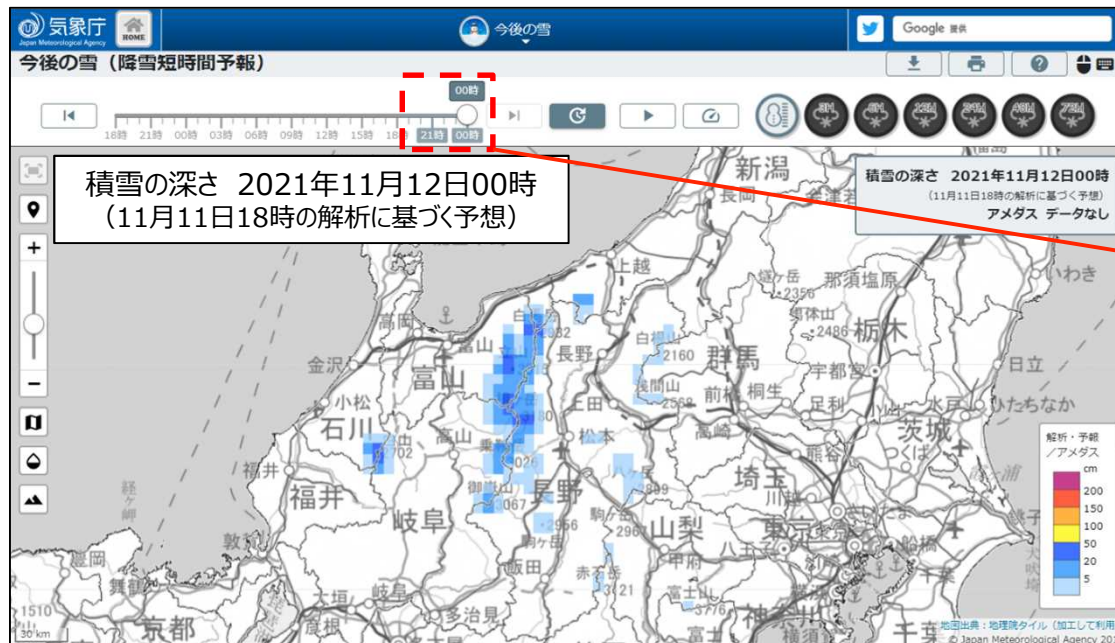
令和3年11月10日から配信



解析積雪深・解析降雪量
(最新時刻が18時の例)



最新及び過去のデータが、1時間
間隔で確認できます。



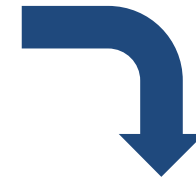
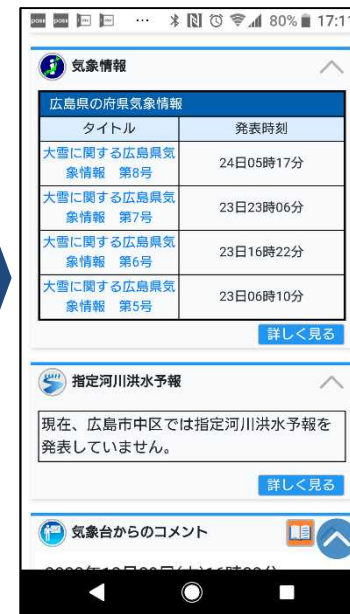
降雪短時間予報
(最新時刻が18時の例)



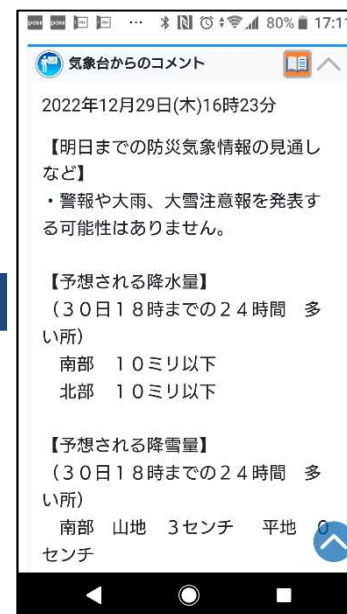
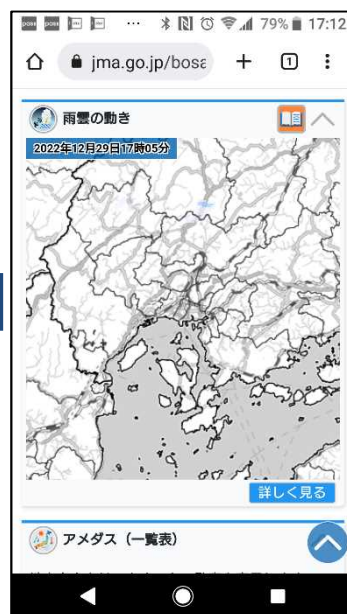
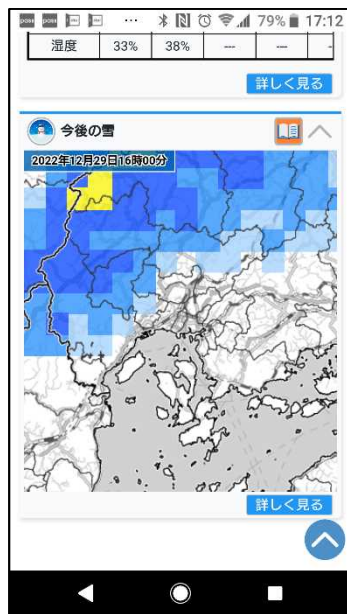
1～6時間先の予報が1時間間隔
で確認できます。
(表示例：19時～00時)

防災気象情報の入手方法（スマートフォン）について

スマートフォンの表示 ※はじめてログインした時は、県と市町の設定が必要です。



「大雨・大雪」から、発表中の防災情報など、スマホ画面を下にスクロールすれば、各種情報を確認することができます。



まとめ

- 1 近年、集中的に降る雪のため、**車の立ち往生などの交通障害**が発生しています。
- 2 気象台では、大雪を予想した場合、段階的に防災気象情報を発表します。
- 3 パソコンやスマホから、今日紹介した**警報・注意報**や「**今後の雪**」などの情報を確認していただき、予定の変更や迂回ルートの検討に、ぜひ活用願います。

【参考】 気象庁ホームページ <https://www.jma.go.jp/jma/index.html>

- ◆ 「早期天候情報（中国地方）」（2週間～6日前）
https://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/souten/?reg_no=26
- ◆ 「早期注意情報（警報級の可能性）」（明後日以降 5 日先まで/明日まで）
<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#7/34.525/135.544/&elem=all&contents=probability>
- ◆ 「気象情報」（3日程度前/1日前）
 - ・中国地方
https://www.jma.go.jp/bosai/information/#format=table&area_type=centers&area_code=010700
 - ・九州北部地方（山口県を含む）
https://www.jma.go.jp/bosai/information/#format=table&area_type=centers&area_code=010900
- ◆ 特別警報、警報、注意報
<https://www.jma.go.jp/jp/warn/>
- ◆ 雪の状況
https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/snc_rct/index_snc.html
- ◆ 今後の雪（降雪短時間予報）
<https://www.jma.go.jp/bosai/snow/#zoom:7/lat:34.325292/lon:135.560303/colordepth:normal/elements:snowd>

<参考>
スマートフォンでの操作等

防災気象情報の入手方法について

- ①発表中の防災情報に、「大雪」のマークがあれば、それをタップすることで、次に3時間ごとの時系列が表示されるので、大雪に関していつ頃まで注意が必要であるのか確認できます。
- ②発表中の防災情報がなければ、早期注意情報の「詳しく見る」をタップすれば、今後の大雪警報の可能性を確認できます。

①



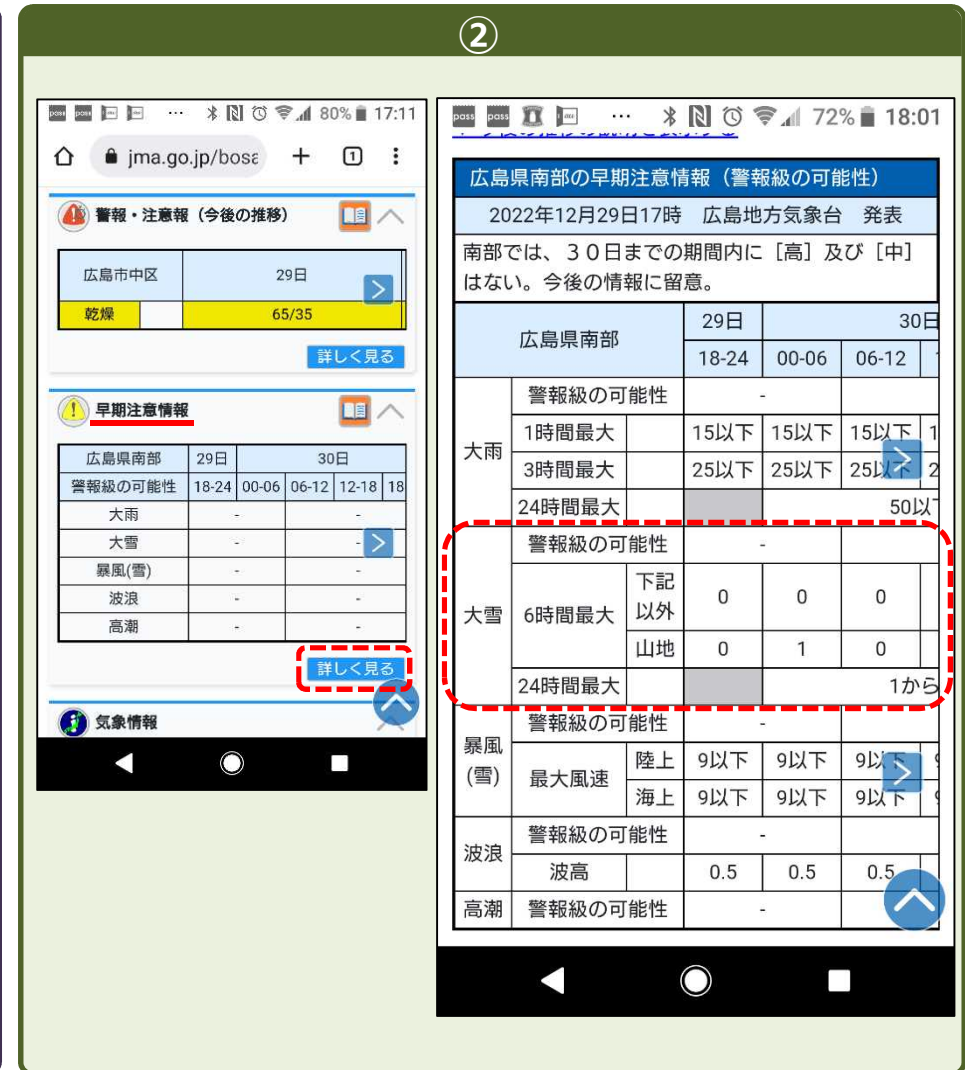
新潟県の警報・注意報 (今後の推移)
2022年12月29日16時03分発表

新潟県下越		29日				
		15-18	18-21	21-24	00-03	03-
強風	海上	15	15	15		
波浪		4	4	4	4	4

新潟県中越		29日				
		15-18	18-21	21-24	00-03	03-
強風	海上	15	15	15		
大雪						
波浪		3	3	3	3	3
雷						
なだれ						
着雪						

新潟県上越		29日				
		15-18	18-21	21-24	00-03	03-
大雨 (土砂災害)						

②



警報・注意報 (今後の推移)

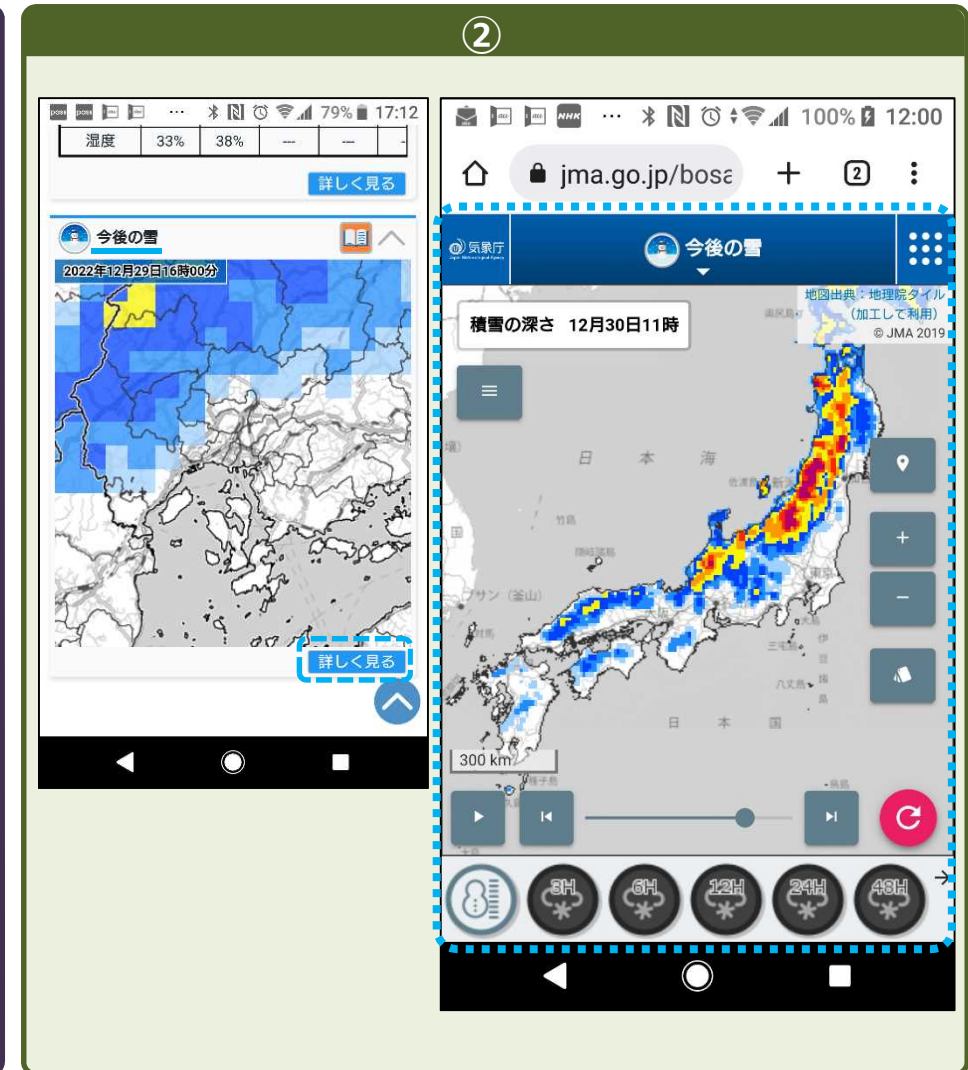
広島市中区		29日	
乾燥		65/35	

早期注意情報

広島県南部		29日		30日	
警報級の可能性		18-24	00-06	06-12	12-18
大雨	1時間最大	15以下	15以下	15以下	15以下
	3時間最大	25以下	25以下	25以下	25以下
	24時間最大				50以下
大雪	6時間最大	下記以外	0	0	0
	山地	0	1	0	
	24時間最大				1から

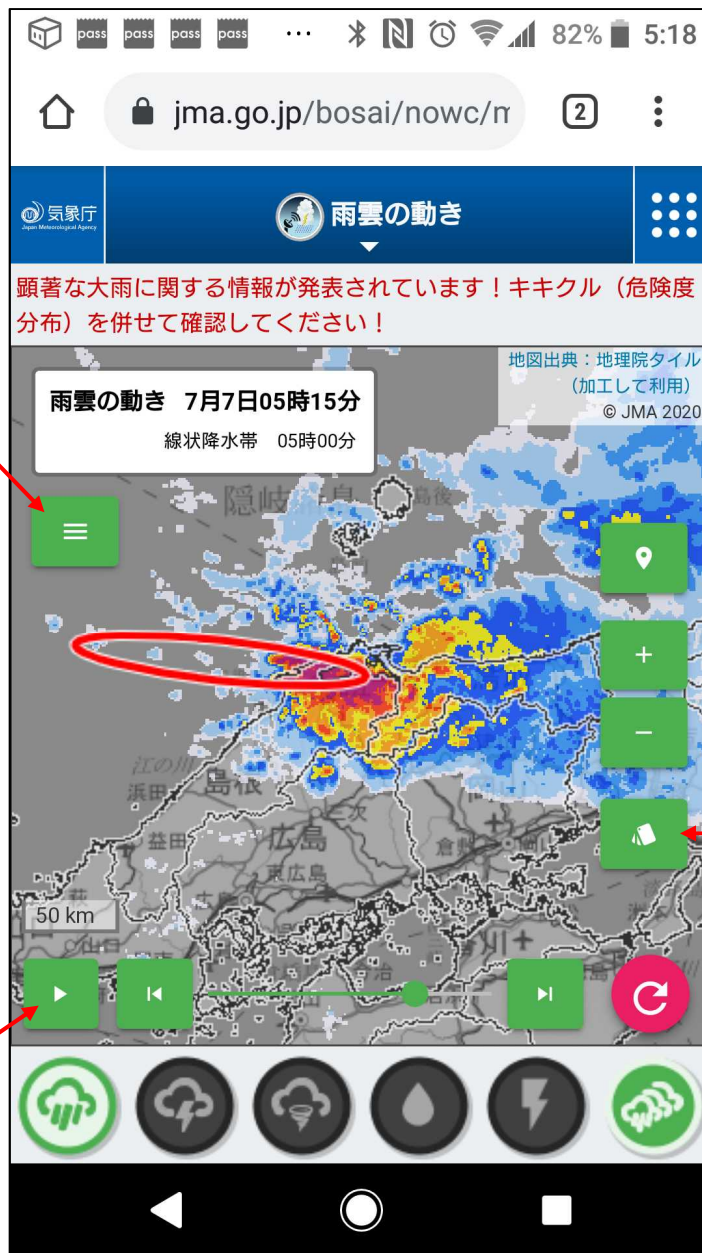
防災気象情報の入手方法について

- ① 雨雲の動きについて、「詳しく見る」をタップすれば、右の画面に切り替わり、「+」「-」で地図を拡大・縮小できます。
 - ② 今後の雪について、「詳しく見る」をタップすれば、右の画面に切り替わり、「+」「-」で地図を拡大・縮小できます。
- ①、②ともに詳細については、次のスライドで説明します。



「雨雲の動き」の活用について

- 説明
- 地形
- 地名あり
- 通常
- 地形



左下の三角印をタップすれば、60分先までの雨雲の動きを5分間隔で見ることができます。



<表示切替>
画面下の丸い表示をタップすれば、ここに示す凡例のとおりに表示内容を切替えることができます。

竜巻発生確度	
2	1
対地放電（落雷）	
雲放電	

雷活動度	
4	3
2	1

竜巻発生確度		10分間雨量 mm/10min	
2	1	15	10
		5	1

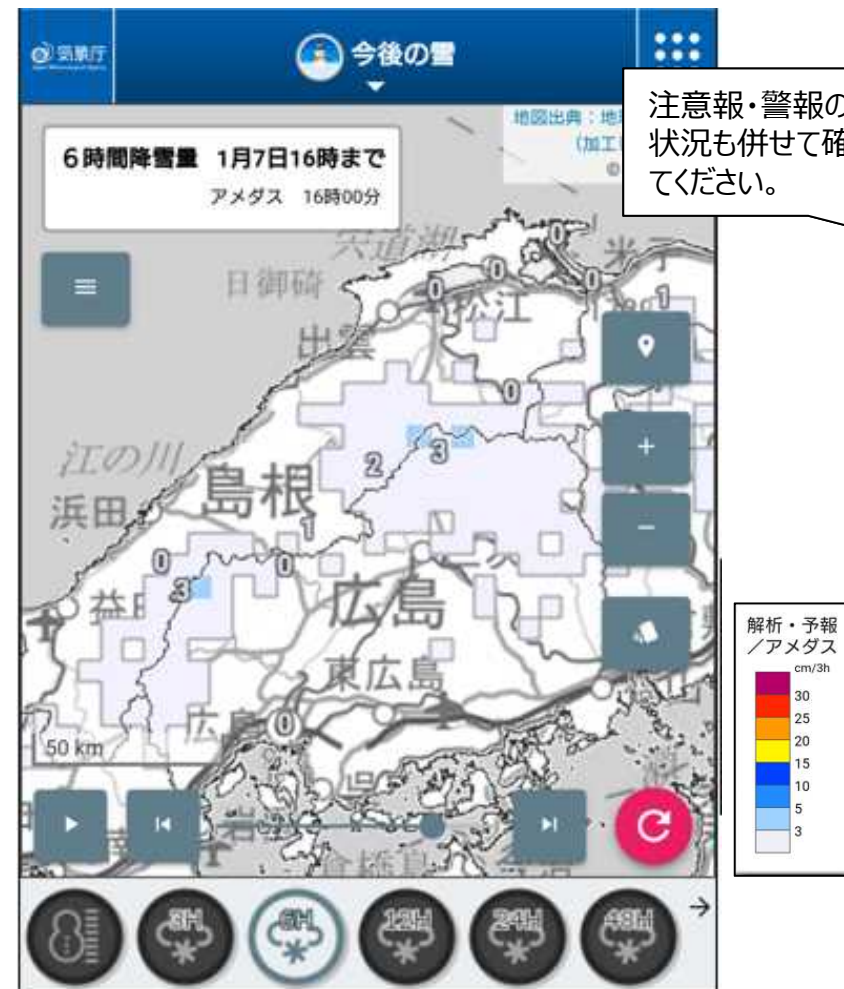
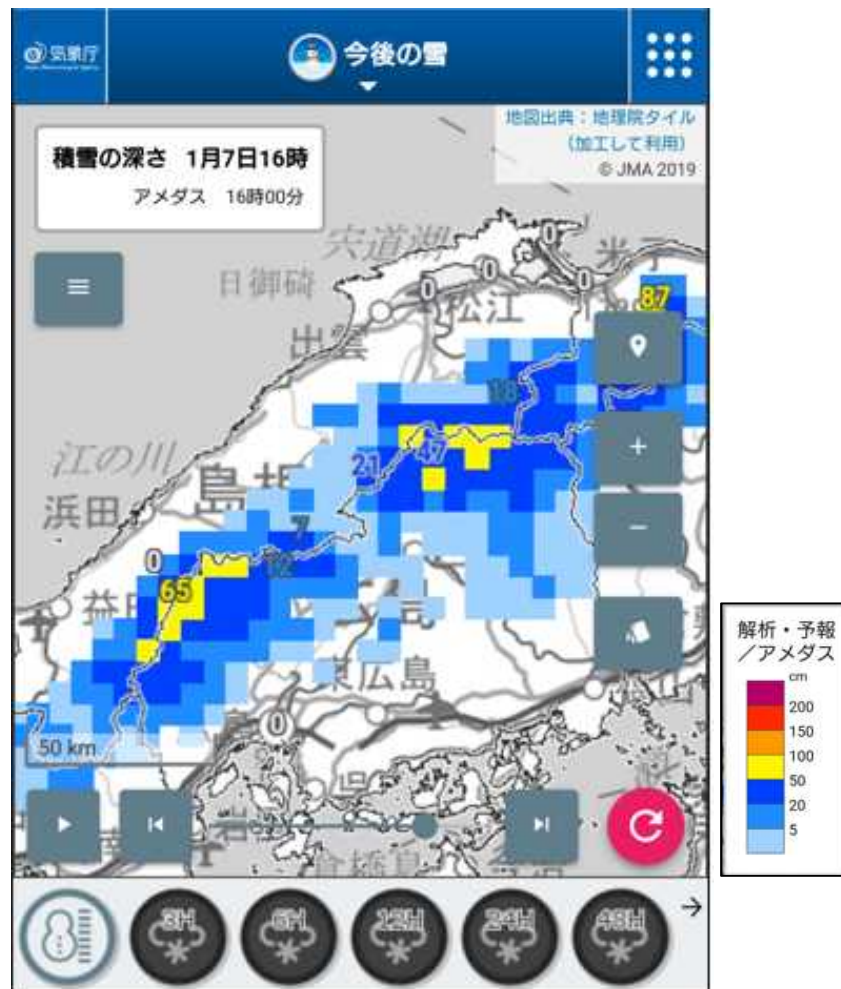


「今後の雪」の活用について

- 積雪の深さは、7日16時の解析値を示しており、数字はアメダスによる観測値を表しています。
- 6時間降雪量は、積雪の深さが、7日10時～16時までの1時間ごとに増加した量を表しています。数字はアメダスによる観測値を表しています。他の時間降雪量についても見方は同じです。

【利用上の注意点】

- 格子の値そのものを直接利用せず、積雪の深さや降雪量の大まかな分布状況・予報を把握するために利用してください。

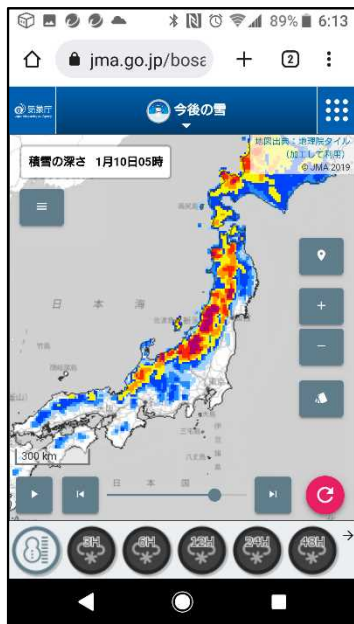


注意報・警報の発表
状況も併せて確認し
てください。

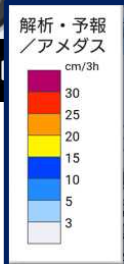
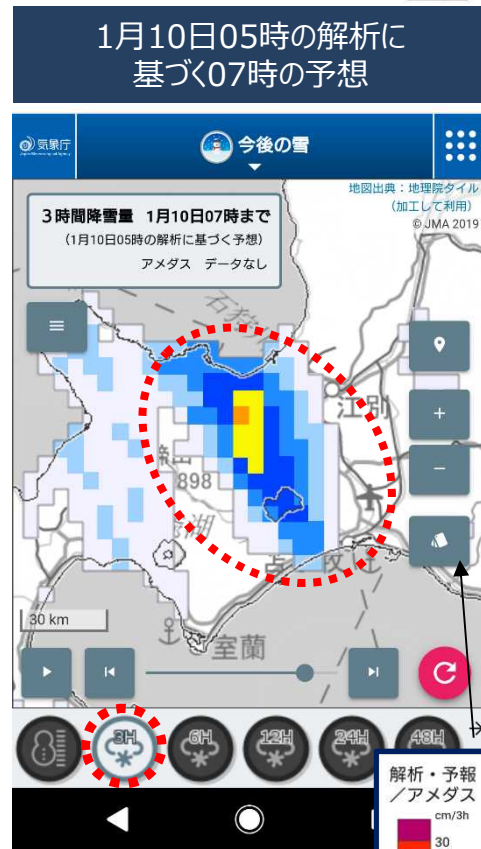
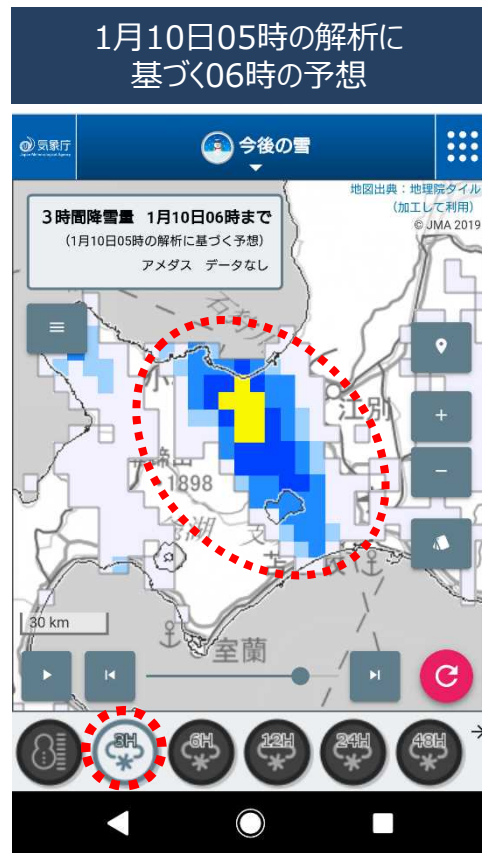
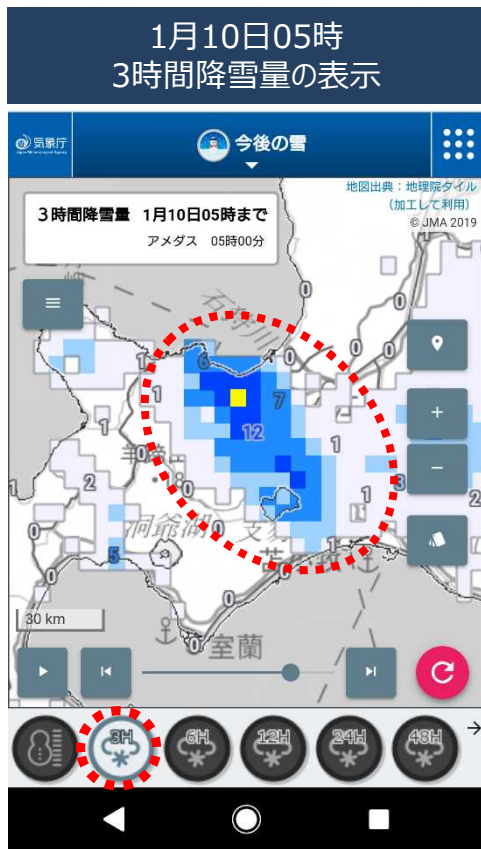


「今後の雪」の活用について

円の地域では、時間の経過とともに、**15cm以上の降雪分布の広がり**が予想されています。



1月10日05時
積雪の深さ



丸い表示をタップすれば、表示画面を切替えることができます。三角は動画に、それ以外は、1時間ごとに表示を切替える時に使います。





国土を**整**え、全力で**備**える

国土交通省
中国地方整備局

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Chugoku Regional Development Bureau

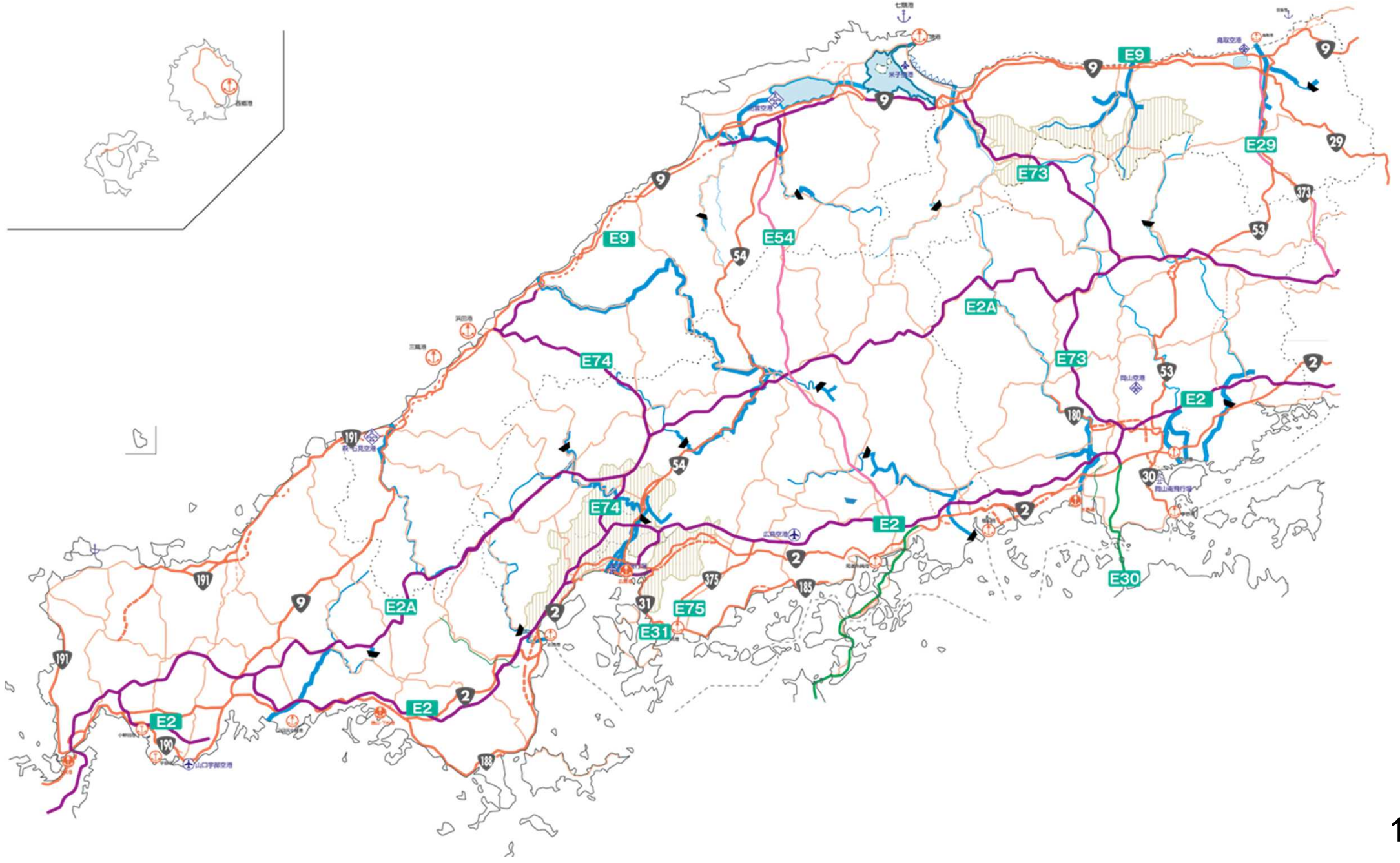
積雪期の道路対策

令和5年12月1日

中国地方整備局
道路部道路管理課長

1. 中国管内図(中国地方整備局業務の紹介)

高規格道路(鳥取道、松江道 等)、一般国道(2号、54号 等)の整備、管理



2. 除雪作業の概要(車道除雪)



▲凍結防止剤散布車



▲除雪グレーダー



▲除雪トラック

2. 除雪作業の概要(情報収集・発信)



▲気象センサー



▲モニターカメラ



▲道路情報板

2. 除雪作業の概要(AIカメラ)

- ◆ 主に高規格幹線道路にAIカメラによる車両検知システムを導入。
- ◆ 冬期におけるスタック等の早期発見が可能。



AI車両検知システム



AI技術
を活用



検知する事象は、

- ① 車両停止
- ② 混雑 (渋滞)
- ③ 低速車両
- ④ 人物 (人の侵入)

2. 除雪作業の概要(タイヤチェック、電光表示)

- ◆ タイヤ自動判別機によるタイヤチェックを導入することにより、作業効率の向上
- ◆ 電光表示で峠の道路状況を案内することでドライバーに注意喚起を実施



▲タイヤ自動判別機によるタイヤチェック



▲電光表示による案内

2. 除雪作業の概要(WR除雪車による雪堆除去)

- ◆ ワイヤロープ用除雪車(保守業者開発)を利用。
- ◆ 以前は人力除雪していたため、大幅な時間短縮・省力化が期待出来る。
100mあたり除雪作業 【従来(人力)】 6人 約30分 ⇒ 【今回】 1名(オペ) 約1分



▲保守業者所有のWR用除雪車



3-1. R4年度の大雪対応(12月)

- ◆ E2山陽道の事故を起因とした通行止により並行するR2において交通渋滞が発生したため、並行するR2の通行止を実施
- ◆ 記者発表やX(旧ツイッター)でE75、R31への広域迂回を案内

中国地方整備局 広島国道事務所 記者発表	日時 令和4年12月23日 7:00
----------------------------	--------------------------

件名	大雪関連 一般国道2号の通行止めについて 【第1報】
----	---

一般国道2号において、大雪の影響のため、『東広島市西条町上三永(仁賀口交差点)～広島市安芸区上瀬野一丁目(上瀬野一丁目交差点)』間について、**通行止めを開始します。**

※詳細が別紙を参照願います。
 ※通行止めの解除については、別途お知らせします。
 ※迂回する場合は、周辺の通行状況を確認して走行してください。

通行止め開始時間： 令和4年12月23日(金) 7:00～

発表先	広島県政記者クラブ、中国地方建設記者クラブ 合同庁会記者クラブ
-----	------------------------------------

問い合わせ先	国土交通省中国地方整備局 広島国道事務所 副所長 福永 孝敏 計画課長 二宮 智大 電話：082-281-4131 (代表・平日) 082-281-4147 (休日・夜間)
--------	--

広島国道事務所HP : <https://www.cgr.mlit.go.jp/hirokoku/>

広島国道事務所【国土交通省】 @mlit_hirokoku

【迂回先はスムーズです！】広島国道事務所 10:30時点

#国道31号 天応付近の交通状況です。雪のため一般国道2号を通行止めしています。※国道31号,185号への更なる広域迂回へのご協力をお願いします。



午前10:36 - 2022年12月23日

【迂回への協力をお願い】広島国道事務所 10:30時点

#国道2号 西小寺トンネル付近の状況です。車両多数の状況で渋滞が発生しています。※国道432号,185号,31号への更なる広域迂回のご協力をお願いします。



午前10:30 - 2022年12月23日

← ツイート

iHighway交通情報(中国) @iHighwayChugoku

「山陽道をご利用のお客さまへご協力をお願いします」
 広島東IC～高屋JCT間通行止めに伴い広域迂回をお願いします。【(大阪方面⇄山陽道(高屋JCT)⇄東広島呉道路⇄広島呉道路⇄西広島バイパス⇄山陽道(廿日市IC)⇄九州方面)】 #高速道路 #中国地方 #道路情報 #除雪



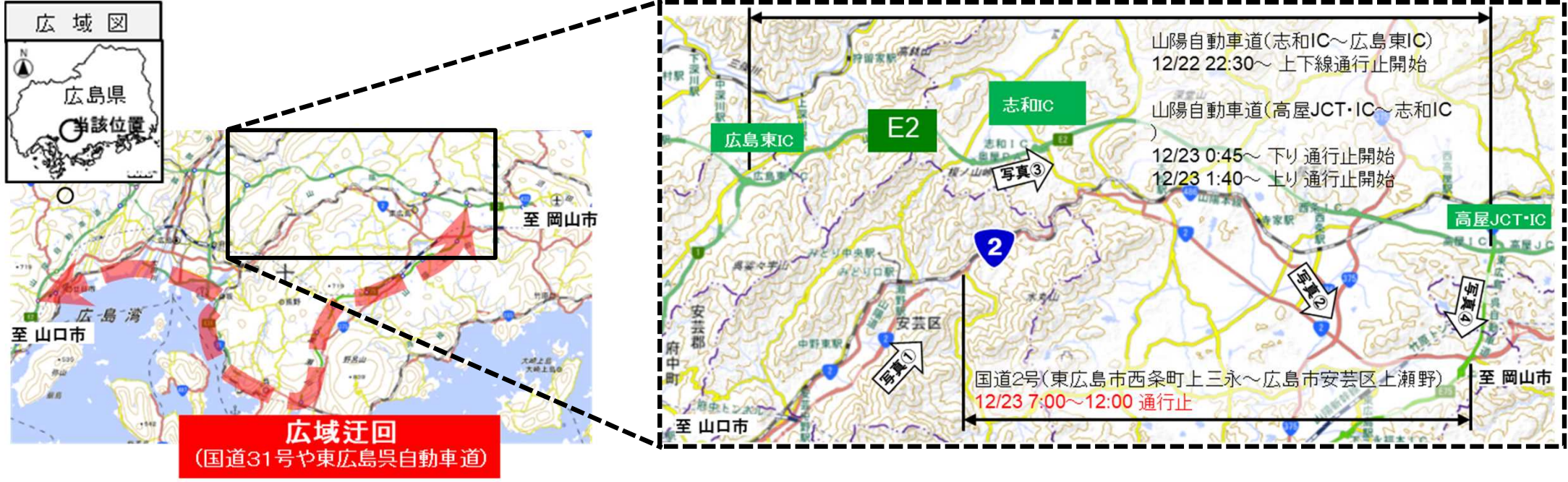
iHighway交通情報(中国) @iHighwayChugoku

現在、中国エリアの各所において雪通行止めを行っている区間があります。早期の通行止め解除に向けて、除雪作業を行っております。大変ご不便をおかけしますが、ご理解の程よろしくお願い致します。下記URLより最新の交通状況をご確認ください。
 URL:ihighway.jp/pcsite/
 #高速道路 #中国地方



3-1. R4年度の大雪対応(12月)

◆ 通行止めした5時間(7:00~12:00)大きな事故等のトラブルは発生しなかった。



3-2. R4年度の大雪対応(1月)

- ◆ 大雪が想定されたため、気象台・中国地整・NEXCO西日本による合同記者会見、記者発表、道路情報板、デジタルサイネージを活用し出控え・広域迂回の呼びかけ
- ◆ R2の通行止めについても記者発表を実施し迂回の呼びかけを行った。



▲ 合同記者会見

令和5年1月24日

お知らせ

＜同時資料提供先＞
 【中国地方】 合同庁舎記者クラブ・鳥取県政記者会・島根県政記者会
 岡山県政記者クラブ・広島県政記者クラブ・山口県政記者クラブ
 山口県政記者会・山口県政海町記者クラブ・中国地方建設記者クラブ
 【近畿地方】 近畿建設記者クラブ、大牟前記者クラブ
 【九州地方】 国土交通省九州記者会、九州建設専門記者クラブ

大雪に関するお知らせ
 ～不要不急の外出はお控え下さい～

現在、鳥取県の全域、島根県の一部で大雪警報が発表されています。

山陰地方では、本日の午後以降も降雪が続く状況であり、明日の午前中にかけて短時間に降雪が強まり、大雪になることが予想されるため、**不要不急の外出は控えてください。**やむを得ず外出される場合には、**冬用タイヤの装着をお願いします。**また、**冬用タイヤでも走行できない恐れがありますので、タイヤチェーンを必ず携行してください。**ご理解とご協力をお願いします。

＜（参考）鳥取県からのお願い＞

- ・大雪による視界不良時は不要不急の外出、車の運転を控えるよう強くお願いします。
- ・ノーマルタイヤでの雪みち走行は立ち往生の原因となります。必ず冬用タイヤやチェーンを装着してください。
- ・大雪により大型車両の立ち往生が多発していますので来県は控えてください。

▲ 出控え記者発表

Press release

国土交通省
近畿地方整備局
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism, Kinki Regional Development Bureau

いのちとくらしをまもる
防 災 減 災

令和5年 1月24日 21時00分
近畿地方整備局
姫路河川国道事務所

あこうしひがしう お ひげんしみつしふななか
 国道2号 兵庫県赤穂市 東有年から岡山県備前市三石船坂の
 通行止めについて

通行止めのお知らせ（第1報）

国道2号兵庫県赤穂市東有年から岡山県備前市三石船坂で、安全な交通を確保するために集中的な除雪作業を行い、以下のとおり通行止めを実施しています。車両は迂回して頂くをお願いします。

○区 間：国道2号 兵庫県赤穂市東有年から岡山県備前市三石船坂

○時 間：令和5年1月24日（火）19時00分

○解除予定：あらためてお知らせします。

不要不急のお出かけはお控えいただき、やむを得ず外出される場合は、冬用タイヤの装着とタイヤチェーンの携行、広域迂回ルートのご利用をお願いします。

また、一台でも自力走行不能な車両が発生すると、長時間の渋滞や通行止めにつながる恐れがあります。お出かけ前に、最新の気象予測や道路交通情報をご確認いただくとともに、早めのタイヤチェーン装着をお願いします。

道路をご利用の皆様には大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

＜取扱い＞—

＜配布場所＞ 兵庫県政記者クラブ 中播磨県民局庁舎内記者室 西播磨県民局庁舎内記者室

＜問合せ先＞
 国土交通省 近畿地方整備局 姫路河川国道事務所
 副所長 竹田 佳宏（たけた よしひろ）
 道路管理第二課長 田尻 尚登（たじり ひさと）
 電話：079-282-8211

▲ 通行止め記者発表

3-2. R4年度の大雪対応(1月)

- ◆ 国道2号(兵庫県)でスタックが発生し通行止めを実施
- ◆ 国道2号とE2山陽道の同時通行止めにより大規模な渋滞(車両滞留)が発生



▲R2渋滞状況



▲R2渋滞状況



▲R2渋滞状況

4. R5冬期に向けた広報(R5.10.31記者発表)

お知らせ



令和5年10月31日

<同時資料提供先>

合同庁舎記者クラブ、鳥取県政記者会、島根県政記者会、岡山県政記者クラブ
広島県政記者クラブ、山口県政記者会、山口県政記者クラブ、山口県政滝町記者クラブ
中国地方建設記者クラブ

降雪時の準備はお早めに

～冬用タイヤ装着・タイヤチェーンの携行を～

- 近年は、早ければ11月中旬頃から雪が積もり始めています。
- 近年は、地図で示す場所でスタックが多く発生しています。
- 令和4年度のスタック発生日・発生件数・発生状況については、スタック発生日は、特に12月から1月までで延べ9日で41件と集中(約9割)していました。
降雪日の内、ノーマルタイヤ車でのスタック発生割合は、12月：約7割でした。
- 早めに、冬用タイヤ装着・タイヤチェーンの携行をお願いします。
- 令和5年11月上旬より、中国地整備局管内の道路管理を行っている事務所で、除雪機械出発式や冬期啓発活動を実施します。実施場所等の詳細は、各道路管理を実施している事務所の記者発表資料をご確認ください。

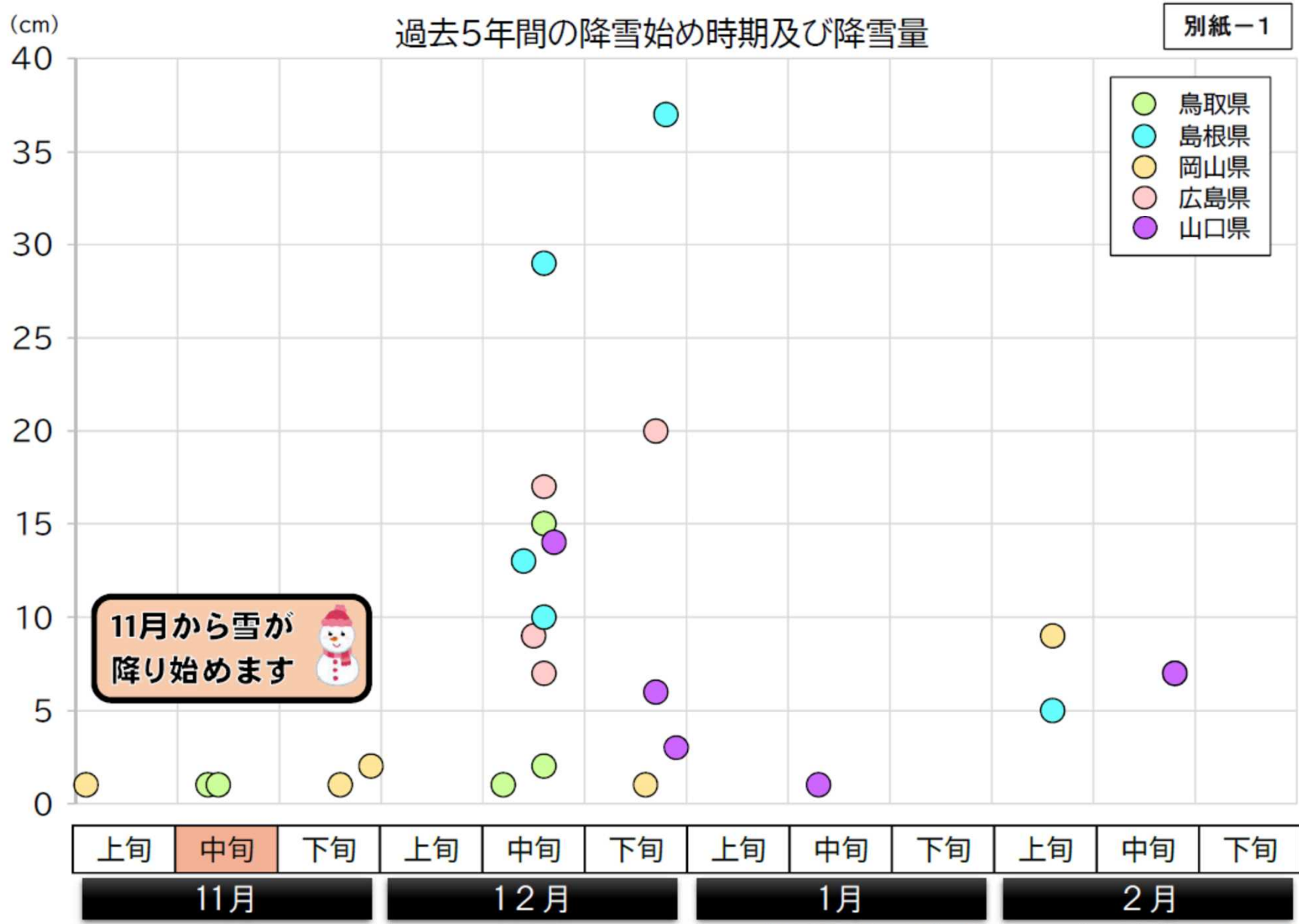
○問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局 TEL 082-221-9231 (代表)
082-511-6332 (ダイヤルイン)
(担当) 道路部 道路管理課長 守山 和彦 (内線4411)
建設専門官 前田 孝弘 (内線4412)



中国地方整備局
ホームページ

4. R5冬期に向けた広報(R5.10.31記者発表)

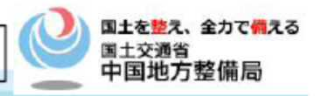


※中国地方整備局で観測しているデータを使用しています。

4. R5冬期に向けた広報(R5.10.31記者発表)

令和4年度 中国地方整備局管内 スタック発生状況

別紙-2



■ 過去3年に発生した降雪に伴う主なスタックは、中国山地を横断する場所で発生している。

凡例

- 中国地方整備局管理道路
- 近畿地方整備局管理道路
- 有料道路(NEXCO西日本等)
- ◎ スタック発生箇所
(発生年月を横に記載)
- スタック要注意箇所



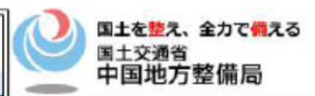
①	E29岡山県西粟倉村～鳥取県智頭町	⑩	R9島根県大田市
②	R53 岡山県奈義町～鳥取県智頭町	⑪	R9島根県津和野町
③	E29鳥取県智頭町	⑫	R2岡山県備前市
④	E9鳥取県湯梨浜町	⑬	R53岡山県津山市
⑤	E9鳥取県湯梨浜町	⑭	E54広島県庄原市
⑥	R9鳥取県米子市	⑮	R54広島県広島市
⑦	R9島根県安来市	⑯	R9山口県山口市
⑧	R54島根県雲南市	⑰	R9山口県山口市
⑨	R54島根県飯南町	⑱	R2山口県宇部市

4. R5冬期に向けた広報(R5.10.31記者発表)

令和4年度 中国地方整備局管内 スタック発生状況

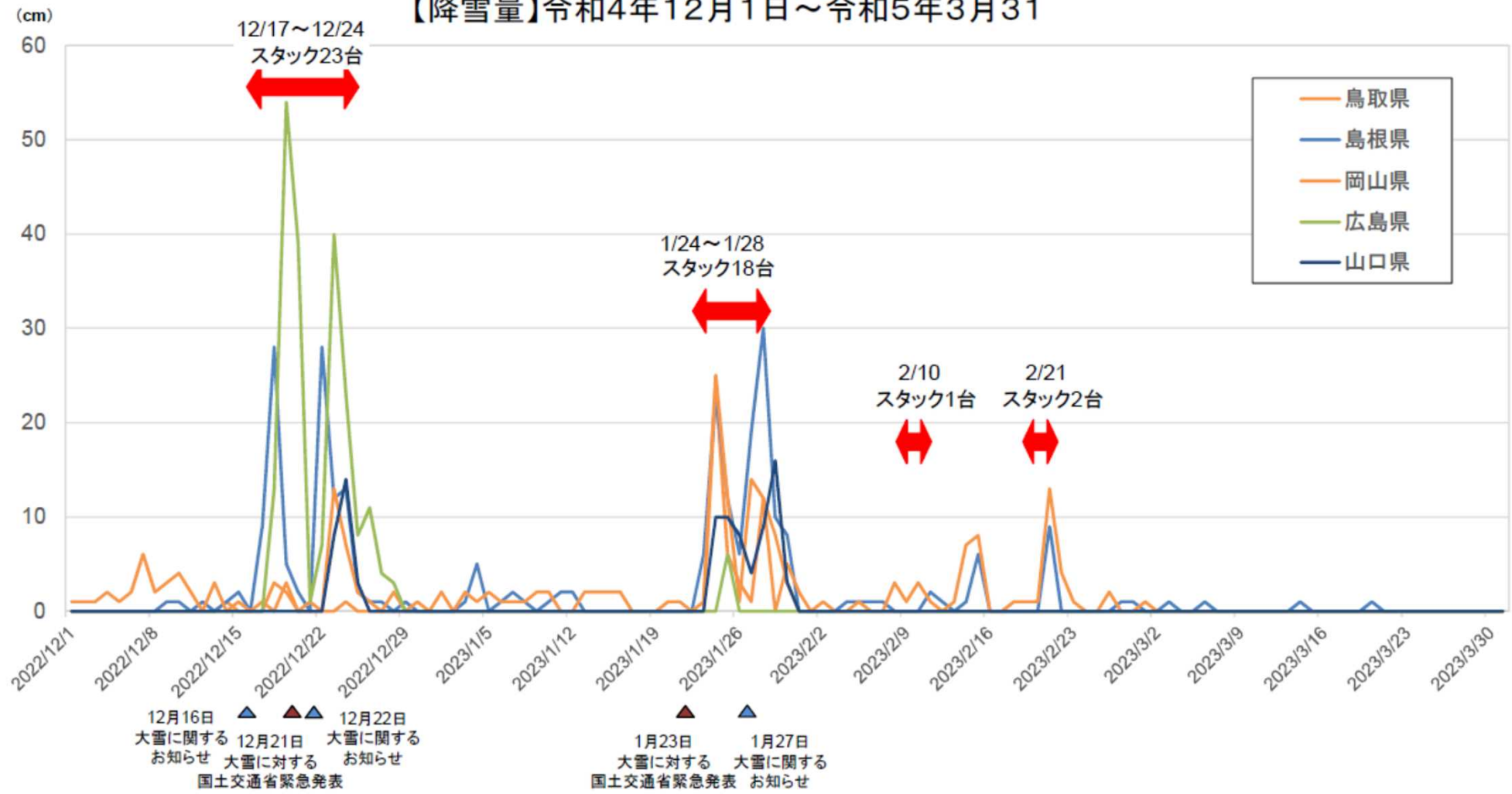
別紙-3

令和5年4月28日
記者発表資料の再掲



■ 令和4年度の降雪状況について（令和4年12月1日～令和5年3月31日）
 ・ 気象庁等から大雪に関する情報提供が出された場合、情報提供後、降雪を観測し、スタックが発生している。

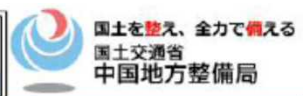
【降雪量】令和4年12月1日～令和5年3月31



4. R5冬期に向けた広報(R5.10.31記者発表)

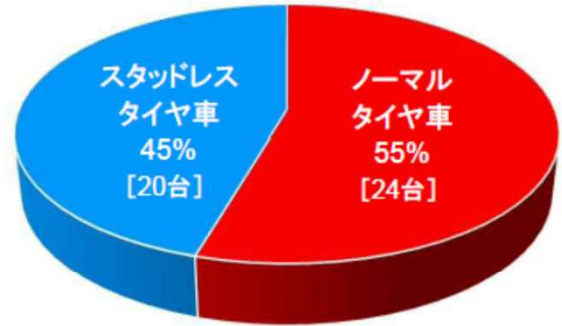
令和4年度 中国地方整備局管内 スタック発生状況

令和5年4月28日
記者発表資料の再掲

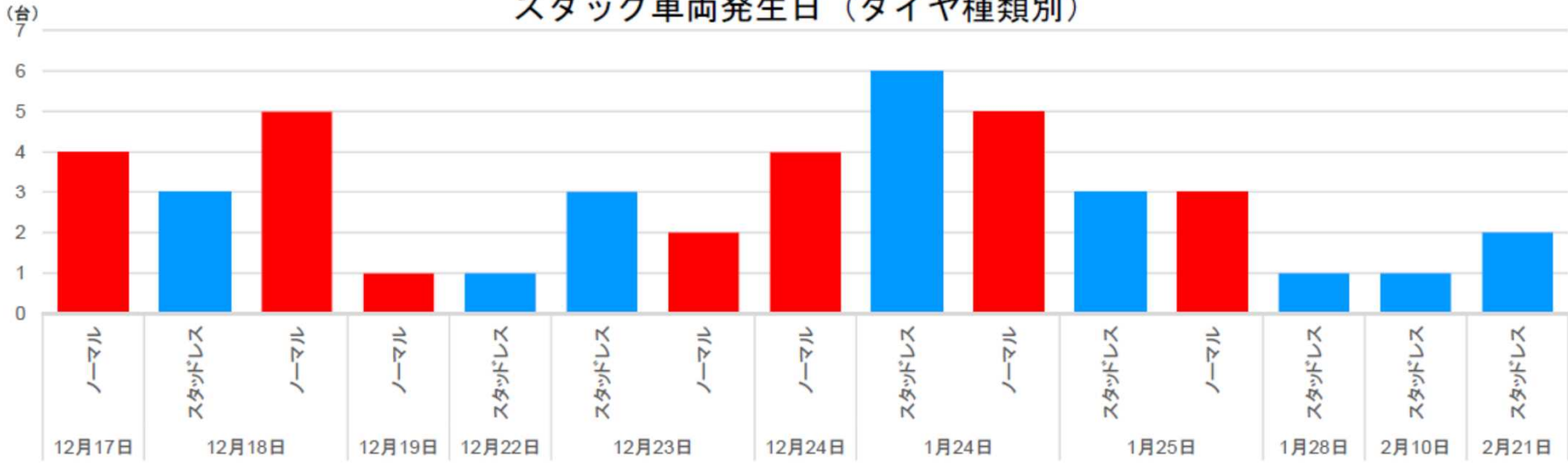


■ スタック車両の発生について
 ・ 令和4年度の**スタック車両は44台**。スタック車両のタイヤ種類の内訳は、
 ノーマルタイヤ車24台、スタッドレスタイヤ車20台であった。

スタック車両のタイヤ種類



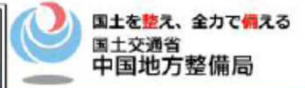
スタック車両発生日 (タイヤ種類別)



4. R5冬期に向けた広報(R5.10.31記者発表)

令和4年度 中国地方整備局管内 スタック発生状況

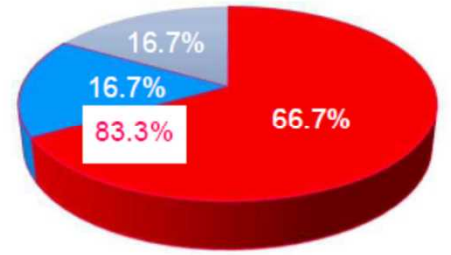
令和5年4月28日
記者発表資料の再掲



- ノーマルタイヤ車のスタック発生について
 - ・ 降雪日でスタック車両発生日の割合は、12月は約8割、1月は約7割である。
 - ・ ノーマルタイヤ車におけるスタック発生日割合は、12月は約7割、1月は約3割となります。
 - ・ スタットレスタイヤ車におけるスタック発生日割合は、12月は約2割、1月は約3割となります。
- ※降雪が予想される時は不要不急の外出をお控え願います。

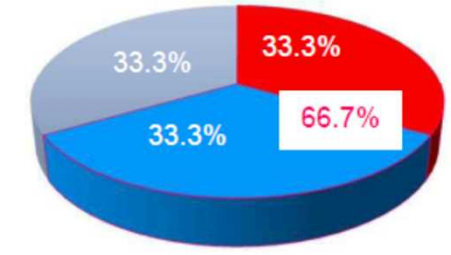
-	降雪日	スタック車両発生日	スタック発生日	
			ノーマルタイヤスタック発生日	スタットレスタイヤスタック発生日
鳥取県	0日	0日	0日	0日
島根県	2日	2日	1日	1日
岡山県	0日	0日	0日	0日
広島県	6日	4日	3日	1日
山口県	0日	0日	0日	0日
計	6日	5日 (83.3%)	4日 (66.7%)	1日 (16.7%)

-	降雪日	スタック車両台数	スタック台数	
			ノーマルタイヤスタック台数	スタットレスタイヤスタック台数
鳥取県	0日	0台	0台	0台
島根県	2日	2台	1台	1台
岡山県	0日	0台	0台	0台
広島県	6日	10台	7台	3台
山口県	0日	0台	0台	0台
計	6日	12台	8台 (66.7%)	4台 (33.3%)



-	降雪日	スタック車両発生日	スタック発生日	
			ノーマルタイヤスタック発生日	スタットレスタイヤスタック発生日
鳥取県	2日	1日	0日	1日
島根県	2日	1日	1日	0日
岡山県	1日	1日	1日	0日
広島県	0日	0日	0日	0日
山口県	2日	0日	0日	0日
計	3日	2日 (66.7%)	1日 (33.3%)	1日 (33.3%)

-	降雪日	スタック車両台数	スタック台数	
			ノーマルタイヤスタック台数	スタットレスタイヤスタック台数
鳥取県	2日	1台	0台	1台
島根県	2日	2台	1台	1台
岡山県	1日	8台	3台	5台
広島県	0日	0台	0台	0台
山口県	2日	0台	0台	0台
計	3日	11台	4台 (36.3%)	7台 (63.7%)

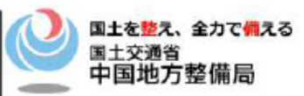


※降雪日: 時間積雪5cm以上を観測した日。
※降雪は、スタックが発生した直近のデータを使用している。

4. R5冬期に向けた広報(R5.10.31記者発表)

令和4年度 中国地方整備局管内 スタック発生状況

令和5年4月28日
記者発表資料の再掲



国道54号 島根県飯石郡 飯南町(令和4年12月17日)



E54 松江道 広島県庄原市(令和4年12月18日)



国道54号 広島県広島市安佐北区(令和4年12月19日)



E9 山陰道 鳥取県東伯郡湯梨浜町(令和4年12月18日)

4. R5冬期の広報(R5.11.22記者発表)

お知らせ



令和5年11月22日

<同時資料提供先>
 【中国地方】 合同庁舎記者クラブ・鳥取県政記者会・島根県政記者会
 岡山県政記者クラブ・広島県政記者クラブ・山口県政記者クラブ
 山口県政記者会・山口県政滝町記者クラブ・中国地方建設記者クラブ

冬用タイヤの早期装着について（注意喚起）

～11月18日の降雪によりノーマルタイヤ車両が立ち往生～

- 中国地方の山間部では、令和5年11月18日の降雪により 5箇所計5台の立ち往生車両が発生。そのうち、少なくとも4台が 冬用タイヤ未装着のノーマルタイヤでした。
- また1箇所では ノーマルタイヤ車両での交通事故も発生しています。
- 冬の道路では積雪や凍結により、ノーマルタイヤ車両が立ち往生して、深刻な交通渋滞や通行止めを引き起こすことがあります。
- 積雪・凍結道路ですべり止めの措置をとらない運転は 法令違反となります。
- 外出される場合は 必ず冬用タイヤ装着やタイヤチェーン携行をお願いするとともに、最新の気象情報及び交通情報等に注意したうえで、十分な時間的余裕を持って行動いただくようお願いします。

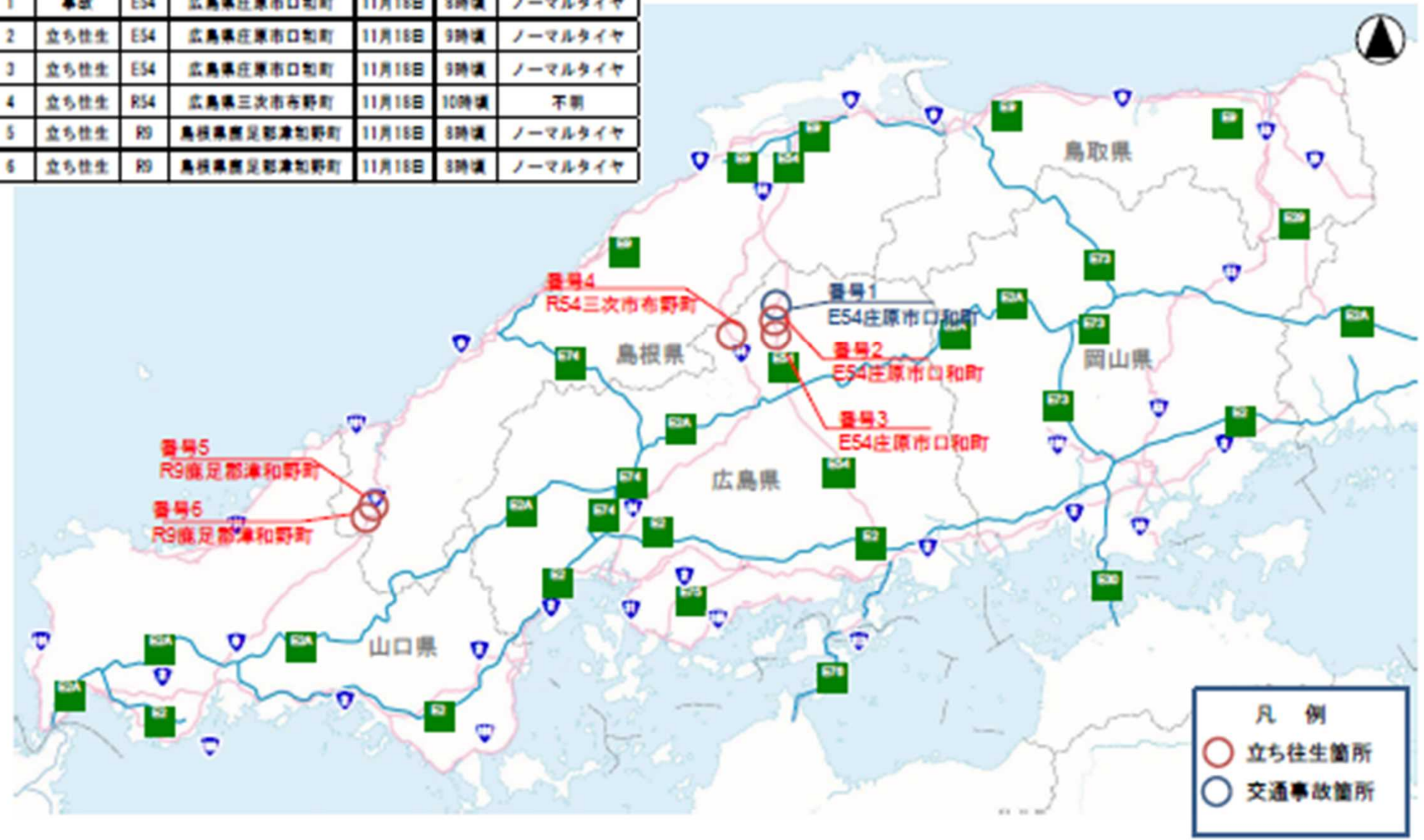
【管内における交通事故及び立ち往生状況】

番号	事象	路線	場所	日	時間	タイヤ種類
1	事故	E54	広島県庄原市口和町	11月18日	8時頃	ノーマルタイヤ
2	立ち往生	E54	広島県庄原市口和町	11月18日	9時頃	ノーマルタイヤ
3	立ち往生	E54	広島県庄原市口和町	11月18日	9時頃	ノーマルタイヤ
4	立ち往生	R54	広島県三次市布野町	11月18日	10時頃	不明
5	立ち往生	R9	島根県鹿足郡津和野町	11月18日	8時頃	ノーマルタイヤ
6	立ち往生	R9	島根県鹿足郡津和野町	11月18日	8時頃	ノーマルタイヤ

4. R5冬期の広報(R5.11.22記者発表)

11月18日の管内状況

番号	事象	路線	場所	日	時間	タイヤ種類
1	事故	E54	広島県庄原市口和町	11月18日	8時頃	ノーマルタイヤ
2	立ち往生	E54	広島県庄原市口和町	11月18日	9時頃	ノーマルタイヤ
3	立ち往生	E54	広島県庄原市口和町	11月18日	9時頃	ノーマルタイヤ
4	立ち往生	R54	広島県三次市布野町	11月18日	10時頃	不明
5	立ち往生	R9	鳥取県鹿足郡津和野町	11月18日	8時頃	ノーマルタイヤ
6	立ち往生	R9	鳥取県鹿足郡津和野町	11月18日	8時頃	ノーマルタイヤ



4. R5冬期の広報(R5.11.22記者発表)

11月18日の管内状況

交通事故状況



番号1
E54 松江自動車道
広島県庄原市口和町

立ち往生状況



番号4
R54 国道54号
広島県三次市布野町



番号6
R9 国道9号
島根県鹿足郡津和野町

5. チラシ「大雪予想時不要不急の外出は控えて！」

冬用タイヤ交換しよう。

交換しよう。

冬用 タイヤ

11月
は、タイヤ装着運動月間です。



大規模車両滞留の発生時期 (H25~R4)

11月	12月	1月	2月	3月
発生ゼロ	7回	6回	4回	3回

ここまでに装着 → 12月~1月にほとんど発生

12月中旬~要注意! 大規模な車両滞留が何度も発生しています!

- 冬用タイヤへの早めの交換、タイヤチェーンの横行・早めの装着を。
- 冬用タイヤの溝深さが新品時の50%以上あることを確認。
- 大型車は常にチェーン横行を。



プラットホームとは、新品時の溝深さから50%の位置にあるゴムの盛り上がり部分を指します。



溝り溝深さが「プラットホーム」に達しているときを「プラットホーム」として使用できません。

最も早い初積雪日

関東	中部
平成29年 11月21日 (長野市)	令和3年 11月27日 (高山市)

ノーマルタイヤでの冬道走行は罰則対象!

反則金	大型	普通	二輪	原付
	7千円	6千円	6千円	5千円

国土交通省

公益社団法人 雪センター

大雪 予想時



不要不急の 外出は控えて!



令和4年12月19日 国道8号(豊成平橋)による交通障害の発生状況

大規模な車両滞留を発生させないためにご協力をお願いいたします。

雪みち情報・ライブカメラ・ツイッター

外出前にチェック!

全国の雪みち情報「おしえて!雪ナビ」



ノーマルタイヤでの冬道走行は罰則対象!

反則金	大型	普通	二輪	原付
	7千円	6千円	6千円	5千円

都道府県道路交通法施行細則または道路交通規則にて積雪または凍結した路面での冬用タイヤの装着等いわゆる防凍措置の義務が規定されています。(沖縄県を除く)違反金は、反則金の適用となります。

※タイヤチェーン半装着での通行を禁止する都道府県は、冬用タイヤであっても、タイヤチェーンの装着が必要です。



国土交通省

公益社団法人 雪センター

6. 冬期における道路の最新情報

■最新の道路情報

最新の道路情報を以下のホームページ等にてご確認ください。

◆中国地方整備局 道路情報提供システム

<http://www.road.cgr.mlit.go.jp/road/frame.htm>



◆とっとり行きみちNavi(鳥取県内)

<http://yukinavi.net/index.html>



◆島根県 道路規制情報(島根県内)

<https://info.bousai-shimane.jp/RoadShimane/>



◆岡山県 道路規制情報(岡山県内)

<http://dosei.pref.okayama.jp/dourokisei/>



◆ひろしま道路ナビ(広島県内)

<https://www.roadnavi.pref.hiroshima.lg.jp/>



6. 冬期における道路の最新情報

◆山口県道路情報 道路見えるナビ(山口県内)

<http://road.pref.yamaguchi.jp/>



◆NEXCO西日本

◎NEXCO西日本WEBサイト

<https://www.w-nexco.co.jp/>

◎ハイウェイ交通情報 アイハイウェイ

<https://ihighway.jp/pcsite/>

NEXCO西日本

アイハイウェイ



◆本四高速

https://www.jb-honshi.co.jp/customer_index/



◆日本道路交通情報センター(JARTIC)

<https://www.jartic.or.jp/>

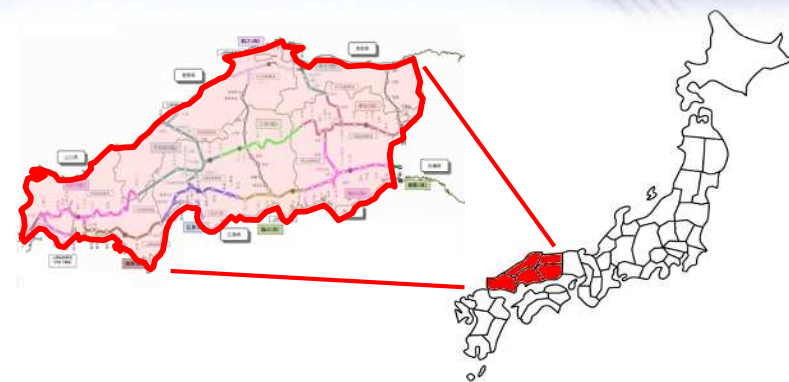


2023 (R5) 年 12月 1日
運輸防災マネジメントセミナー
NEXCO西日本 資料

高速道路における大雪時の道路交通確保対策 及び運輸事業者様へのお願い

NEXCO西日本 中国支社

みち、ひと…未来へ。



1. NEXCO西日本 中国支社 について
2. 中国地方の高速道路の冬期対策作業について
3. 令和4年度の大雪事例について
4. 大雪時の道路交通確保の対策について
5. 運輸事業者様へのお願い

1. NEXCO西日本 中国支社 について

【営業延長】

高速自動車国道

営業中 8道路 988.5km

中国自動車道	佐用IC～下関IC	420.7km
山陽自動車道	備前IC～山口JCT、宇部JCT～下関JCT	339.1km
岡山自動車道	岡山JCT～北房JCT	43.9km
米子自動車道	落合JCT～米子IC	66.5km
広島自動車道	広島北JCT～広島JCT	17.2km
浜田自動車道	千代田JCT～浜田IC	56.6km
松江自動車道	三刀屋木次IC～宍道JCT	10.6km
山陰自動車道	松江玉造IC～出雲IC	33.9km

一般有料道路

営業中 4道路 65.7km

広島岩国道路	16.2km
山陰自動車道(安来道路)	19.1km
山陰自動車道(江津道路)	14.5km
広島呉道路	15.9km

【各路線の位置図】



管内合計

営業中

1,054km

合計値は四捨五入等により一致しない場合がある

2. 中国地方の高速道路の冬期対策作業について

中国支社の冬期対策期間について

■冬期対策期間:令和 5年11月16日～令和 6年4月16日

営業延長 約1,054km(10事務所)

⇒上記の期間において、気象状況等に応じて冬期対策作業を行います。

※営業延長は令和5年7月1日現在

(参考:各現場事務所の詳細対策期間)

【山口(高)】

・令和5年11月16日～令和6年3月31日

【津山(高)・三次(高)・千代田(高)】

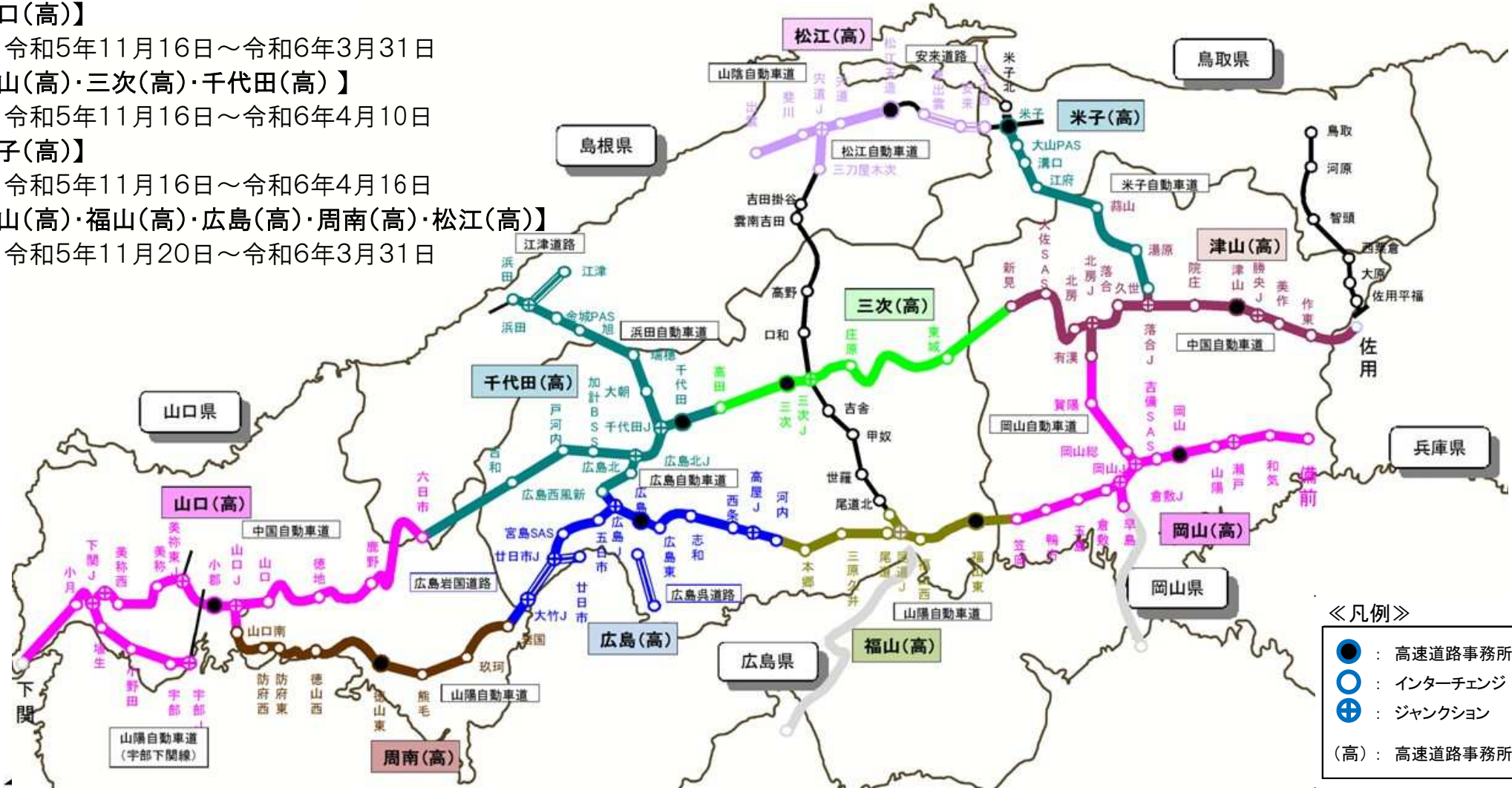
・令和5年11月16日～令和6年4月10日

【米子(高)】

・令和5年11月16日～令和6年4月16日

【岡山(高)・福山(高)・広島(高)・周南(高)・松江(高)】

・令和5年11月20日～令和6年3月31日



- 《凡例》
- : 高速道路事務所
 - : インターチェンジ
 - ⊕ : ジャンクション
 - (高) : 高速道路事務所

【降雪量が多い区間の主な冬期対策作業】



大型除雪車による梯団除雪



ロータリー車による排雪

【降雪量が少ない区間の 主な冬期対策作業】



凍結防止剤散布作業

主な冬期対策作業について（冬用タイヤ装着チェック）



冬用タイヤ装着のチェック状況（米子IC）



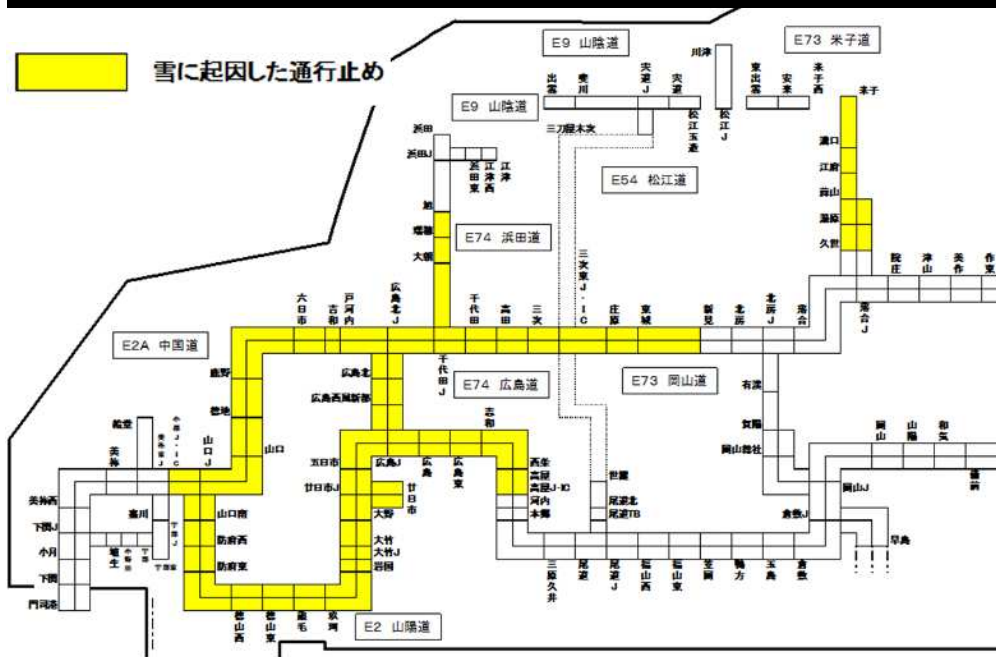
参考：自動判別装置

3. 令和4年度の大雪山事例について

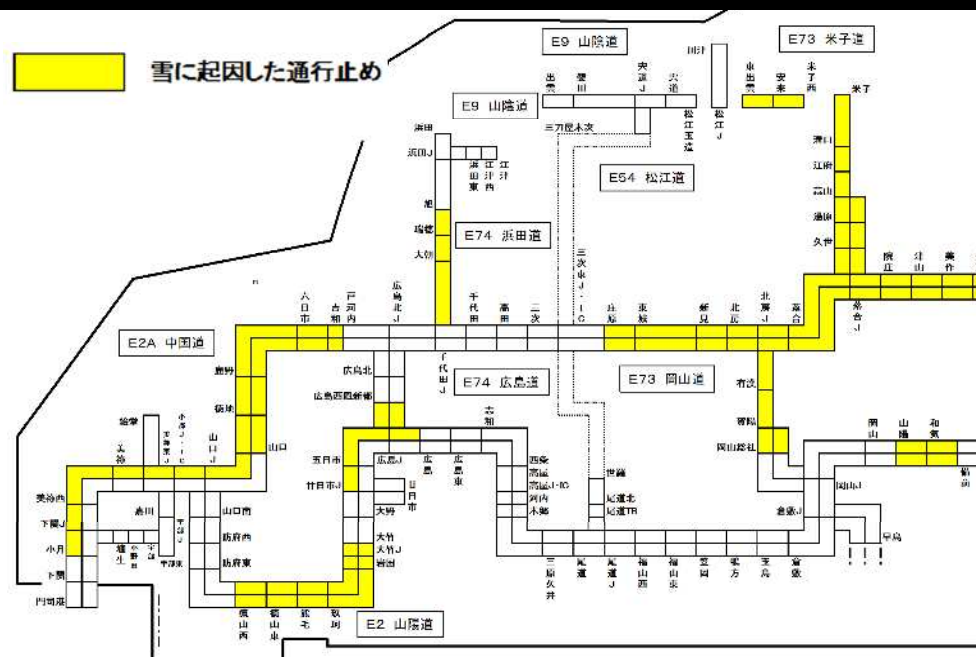
令和4年度 冬期 顕著な大雪による通行止め事例

- 2022年12月22日～25日にかけての大雪により、支社管内1,054kmのうち、560km（約53%）で通行止め
- 2023年 1月24日～28日にかけての大雪により、支社管内1,054kmのうち、605km（約57%）で通行止め

1. 12月下旬の通行止め区間、降雪・積雪状況



2. 1月下旬の通行止め区間、降雪・積雪状況



道路名	最大時間降雪量 (cm/h)	最大積雪深 (cm)
中国自動車道	5(23日4時)	56(24日6時)
山陽自動車道	3(23日5時)	10(23日9時)
米子自動車道	11(23日2時)	69(24日9時)
浜田自動車道	7(22日17時)	51(24日15時)
松江自動自動車道	1(23日3時)	4(23日23時)
山陰自動車道	3(23日23時)	5(23日23時)

道路名	最大時間降雪量 (cm/h)	最大積雪深 (cm)
中国自動車道	6(24日13時)	48(28日7時)
山陽自動車道	4(25日0時)	14(25日2時)
米子自動車道	10(24日20時)	93(25日8時)
浜田自動車道	6(28日1時)	43(28日2時)
山陰自動車道	5(25日1時)	21(25日4時)

※自動積雪深計より算出 時間例：4時=3時～4時

※同左

■ 大型貨物車のスタックの事例

日時 : 2022年12月23日 19:30頃

場所 : 山陽自動車道の宮島SAの約5km東側の高速道路上

- 概要 :
- **故障により走行車線に大型貨物車が停止し、停止車両を避けるための渋滞が発生した。**（当該区間は直前に雪通行止めとなる降雪状況）
 - **渋滞中の車列にノーマルタイヤ装着を含む大型貨物車7台のスタックが発生した。**
 - チェーンの装着や凍結防止液の散布により自走可にまで回復。



大型貨物車のスタック状況

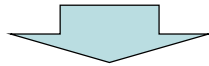


チェーン装着や凍結防止液の散布で自走回復

4. 大雪時の道路交通確保の対策について

基本的な考え方

- ① 最大限の凍結防止剤の散布や除雪作業等を行い、高速道路の交通確保に努める
- ② 人命を最優先に幹線道路上の大規模な車両滞留を徹底的に回避する



代表的な取組み

- ① 最大限の凍結防止剤の散布や除雪作業等を行い、高速道路の交通確保に努める

- ⇒ 気象予測に基づく体制構築、除雪車両等による最大限の冬期対策作業
- ⇒ 道路巡回の強化、冬用タイヤ装着チェック

- ② 人命を最優先に幹線道路上の大規模な車両滞留を徹底的に回避する

- ⇒ 気象予測 及び 現地状況等 を踏まえた、事故や滞留車が発生する前の“**予防的通行止め**”の実施
(通行止め後は集中除雪を実施し早期に交通を確保)
- ⇒ 上下線同時通行止めによる滞留車両の早期流出

■ 【適時の広報】大雪時における各種広報を幅広い媒体で実施

- ⇒ 3日前頃から出控えや広域迂回、通行止め予測マップ等を、合同記者会見や記者発表等にて広報する
(通行止め予測マップは今年度から2日前より掲出予定)

予防的通行止めについて

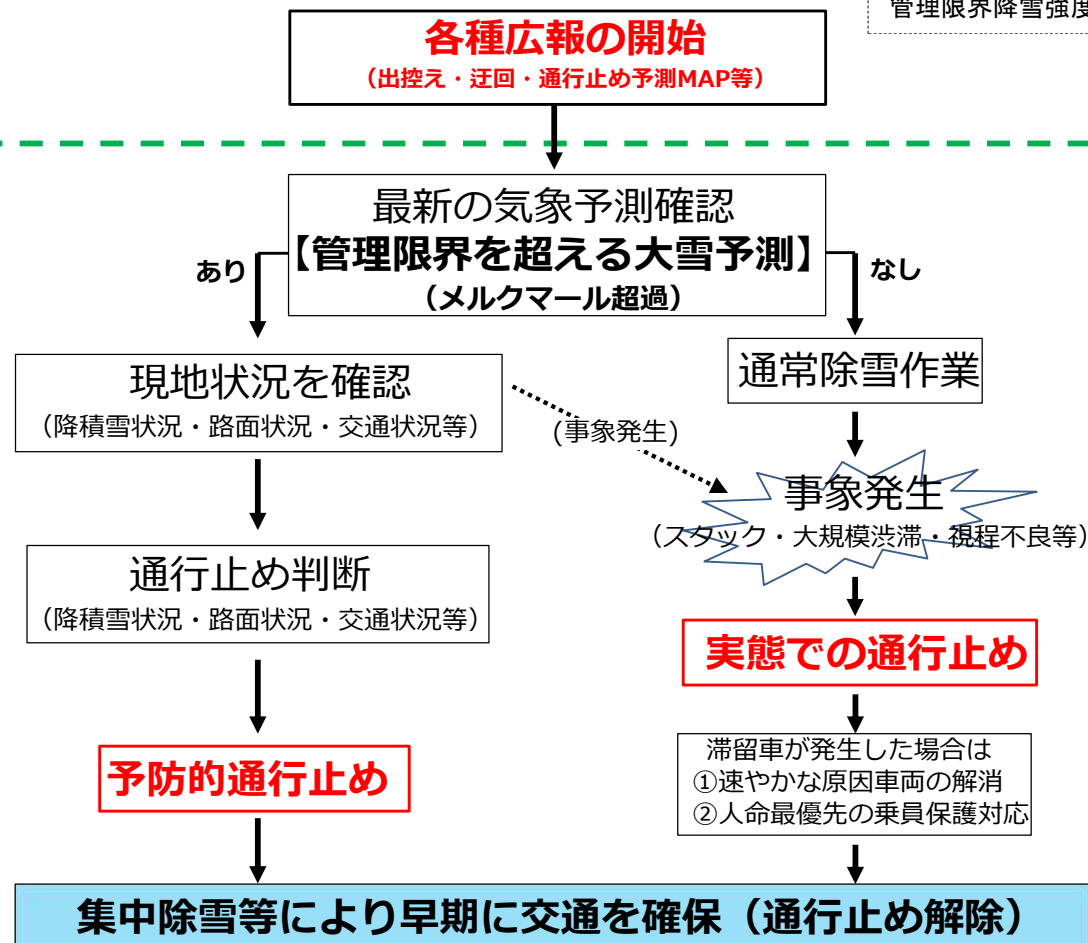
予防的通行止め・・・ 通行止め目安値(メルクマール)を超過する予測が発表されている場合において、現地状況などを踏まえ、**予め関係機関と通行止めの範囲・タイミング等**について調整し、**事故や滞留車が発生する前に通行止めを行うもの。**

■ 通行止めの実施フロー

大雪開始
3日前頃

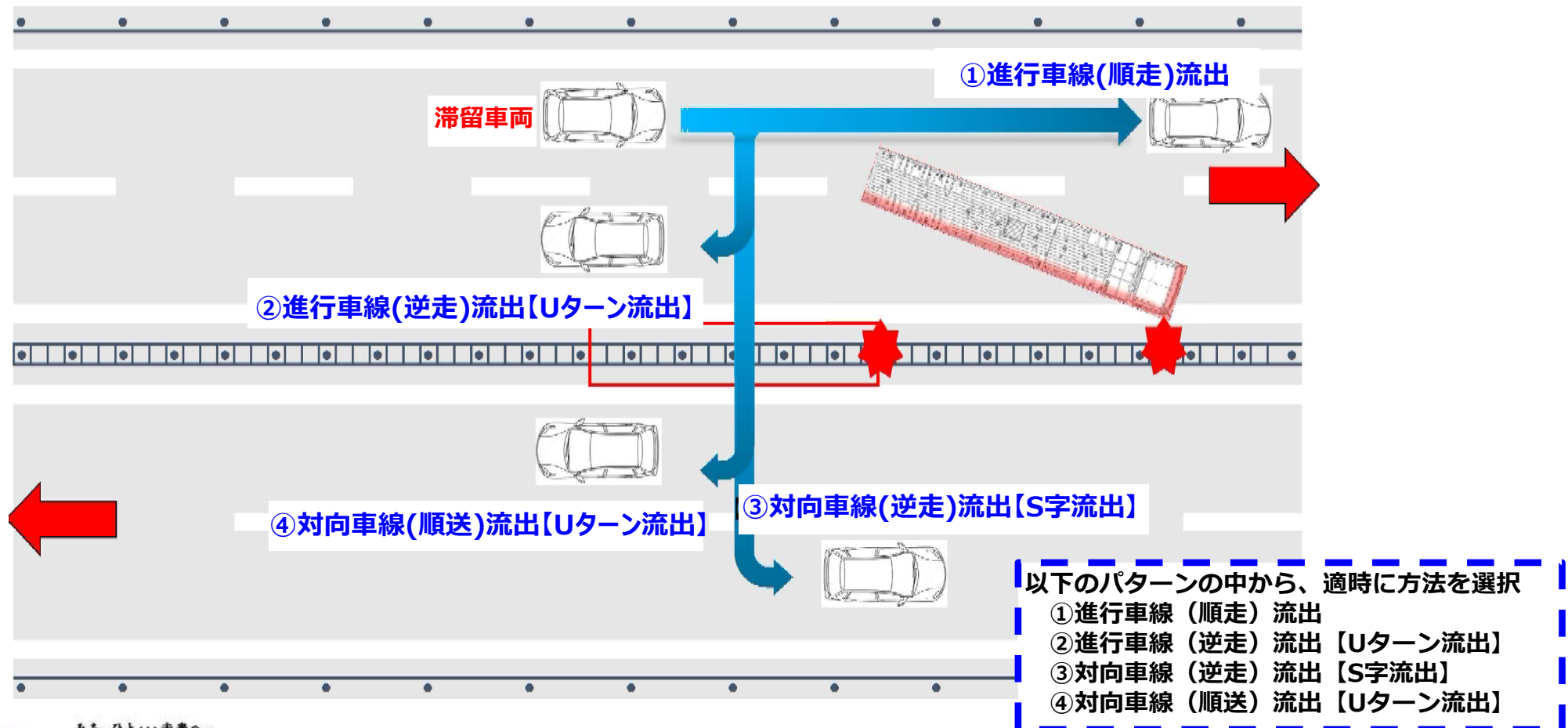
大雪開始
当日

メルクマールとは“指標”であり、設定値は、「保有雪氷機械のフル稼働及び応援増車などを踏まえた、交通確保のための想定管理限界降雪強度で設定。



滞留車両の早期流出を目的とした、上下線同時通行止め

・事故やスタックにより、滞留車両が発生した場合は、中央分離帯を開口し、反対車線に流出させることで滞留車両を早期に解消することを想定し「上下線同時通行止め」と致します。



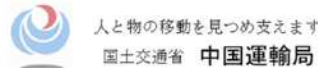
事前の『冬期の高速道路での走行に対する安全啓発』はもとより、
「大雪特別警報」や「大雪に関する緊急発表」が行われるような大
雪が予想される場合は、3日前頃から順次『出控え』や『広域
迂回』に関する情報を各種媒体で広報致します。

- ▶ 通行止めの可能性がある区間の発表
- ▶ 地方整備局との合同記者会見の実施
- ▶ テレビCM、ラジオCM
- ▶ 休憩施設のデジタルサイネージ、ポスター掲示
- ▶ ホームページ
- ▶ iHighway
- ▶ X（旧：Twitter）
- ▶ 道路情報版

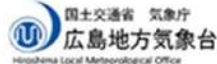
幅広い媒体での広報の実施 ②

媒体	発信内容（一例）
テレビ・ラジオ	<ul style="list-style-type: none"> 最新の気象情報 道路交通情報（通行止め開始・解除） 大雪前の出控え等の情報
ホームページ	<ul style="list-style-type: none"> 大雪に関する記者発表内容、 合同記者発表（会見）等の情報 雪通行止めの可能性情報
デジタルサイネージ （S A ・ P A に設置）	<ul style="list-style-type: none"> 大雪に関する記者発表内容 合同記者発表（会見）等の情報 雪通行止めの可能性情報 通行止め解除に向けた作業状況
アイハイウェイ	<ul style="list-style-type: none"> 最新の道路情報（冬タイヤ等必要区間、通行止め区間） 「高速道路の大切なお知らせ」に、ホームページ掲載の雪に関する発信情報
X（旧：twitter） 〔文字情報 + 映像〕	<ul style="list-style-type: none"> 最新の道路情報（適時） 広域迂回情報、作業情報等 種々の情報を発信
道路情報板	<ul style="list-style-type: none"> 冬用タイヤ装着必要区間 通行止め区間 広域迂回情報

■ 合同記者会見実施事例（R4.12.21、R5.1.23） （広島地方気象台、国交省 中国地方整備局、NEXCO中国支社）



お知らせ



令和5年1月23日
中国地方整備局
広島地方気象台

緊急発表に伴う合同記者会見の開催について

～24日から25日頃にかけての
大雪への備えについて～

気象台から今後の天候の見通し及び大雪に伴う道路管理者からのお願いに関する合同記者会見を開催します。急な連絡で申し訳ございませんが、ご参加いただきますようよろしくお願いいたします。

1. 開催日時

令和5年1月23日（月）15時00分～（30分程度）

2. 開催場所

広島市中区上八丁堀6-30

広島合同庁舎4号館14階 気象台防災連絡室

※合同庁舎入館時の注意事項

合同庁舎へ入館する際、警備室から身分証明書の提示を求められることがあります。

開催場所及びトイレ等の共用部分以外への立ち入りは禁止です。

3. 会見者

広島地方気象台 気象防災情報調整官 前川 和宏（まえがわ かずひろ）

中国地方整備局 道路情報管理官 山田 明（やまだ あきら）

西日本高速道路株式会社中国支社

保全サービス統括課長 岡田 寿（おかだ ひさし）



幅広い媒体での広報の実施 ④



■ 国交省（中国地方整備局）等と連携した広域迂回広報



【広域迂回図での広報（合同発表資料）】

道路利用者へのお願い

- 大雪に伴う影響が予想されることから、**不要不急の外出を控えて**いただきますようお願いいたします。
- 外出される場合は、**雪に関する情報収集を行い、冬用タイヤ、タイヤチェーンの装着し、広域迂回も検討**してください。
- 大雪や暴風雪の影響による車両の立ち往生が発生する可能性があります。降雪状況によっては**通行止めやチェーン規制を実施する**場合があります。
- 冬タイヤの未装着等により立ち往生した事業用自動車に対し、悪質な事例については**安全管理義務違反として、事業者への行政処分**を行うことがあります。
- 積雪・凍結道路で**すべり止めの措置をとらない運転は法令違反**となります。

【中国地整等との合同発表】



【高速道路上の情報板での広報（実施例）】

■ 通行止め予測マップ^o（通行止めの可能性がある区間） … R4年度の広報事例



西日本

令和5年1月23日
13時00分
西日本高速道路株式会社

お知らせ

大雪予報による交通への影響及び通行止めの可能性について(第1報)
～不要不急のご利用は控えください～
【1月23日 13時00分現在】

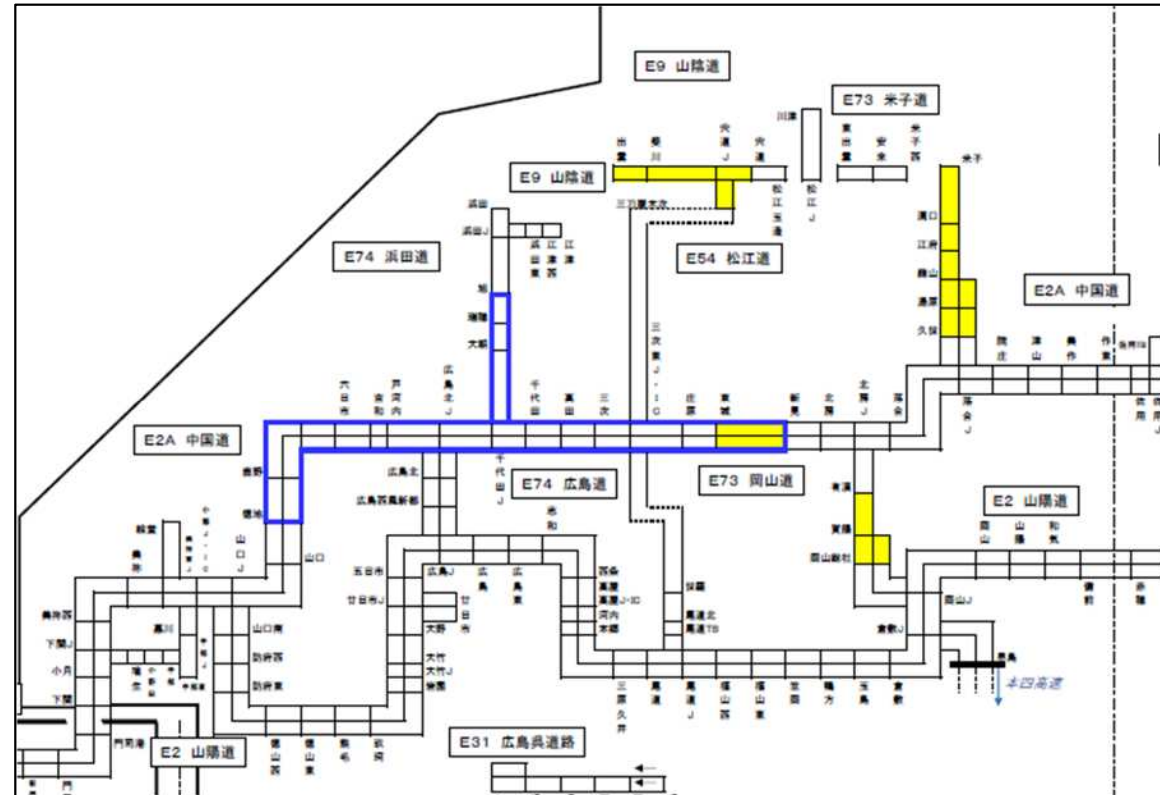
1月24日(火)から1月26日(木)にかけて日本の上空にこの冬最大級の寒気が流れ込み、強い冬型の気圧配置となる影響で、日本海側を中心に西日本の広い範囲で大雪が予測されています。

この影響によりNEXCO西日本管内の高速道路において、交通への影響及び通行止めの可能性があります。

23日(月)13時00分現在の『交通への影響が生じる可能性がある区間』はこちら↓
(別添資料)【1月23日 13時00分現在】交通への影響が生じる可能性がある区間

23日(月)13時00分現在の『通行止めの可能性がある区間』はこちら↓
(別添資料)【1月23日 13時00分現在】通行止めの可能性がある区間

高速道路で、一台でも自力走行不能車両が発生すると、長時間の渋滞や通行止めにつながる可能性があります。



通行止め及び通行止めの可能性がある区間(大雪予測)

※1/23 13時現在

- 1/23 13時現在 雪による通行止め実施中区間
- 1/24 0時まで通行止め開始の可能性がある区間
- 1/25 0時まで通行止め開始の可能性がある区間
- 冬用タイヤ等装着区間(12時現在)

※大雪に伴う“通行止め可能性情報”は、2日前から情報発信します。

幅広い媒体での広報の実施 ⑥

■ デジタルサイネージ (SA・PAに設置)



■ 道路情報板



幅広い媒体での広報の実施 ⑦

■アイハイウェイによる情報提供例 (令和5年 1月23日 未明から早朝の情報)

中国エリア

雪道のトラブル・アドバイス

最大級の寒気により西日本の広い範囲で大雪が予測されています

04時50分現在

凡例

- : 通行止
- : ランプ閉鎖
- : チェーン規制
- : 冬用タイヤ等装着 (10件)
- : 除雪作業 (8件)
- : 凍結防止剤散布 (20件)
- : 調整中

ライブカメラ画像

山陽道(西条～志和間)
↑ 広島方面

2023/01/23 03:25

↓ 岡山方面

ライブカメラ画像

山陽道(奥屋PA下り)

2023/01/23 06:15

【高速道路の大切なお知らせ】

大切なお知らせ

中国エリア

【重要】最大級の寒気により西日本の広い範囲で大雪が予測されます～不要不急の外出はお控えください～ (1月24日(火)～1月26日(木))

■ X (旧: twitter) による情報発信 …… R4年度の広報事例

iHighway 交通情報 (中国) @iHighwayChugoku

「山陽道をご利用のお客さまへご協力
のお願い」
岩国IC～高屋JCT間通行止めに伴い広
域う回をお願いします。【(大阪方面
⇄山陽道(高屋JCT)⇄東広島呉道
路⇄広島呉道路⇄国道2号⇄山陽道
(岩国IC)⇄九州方面)】なお、東広島
呉道路は冬用タイヤの装着が必要で
す。 #高速道路 #中国地方 #道路情報

19:45 · 2022/12/23

5万回表示 101件のいいね

116件のリツイート 11件の引用ツイート

R 4.12.23 (19:45) 広域迂回のお願

iHighway 交通情報 (中国) @iHighwayChugoku

【高速道路の様子】通行止め継続中の
山陽道広島IC～岩国ICの高速道路の状
況です。広島市内は晴れ間ものぞいて
おりますが、路面が凍結している箇所
も残っており、鋭意除雪作業を行って
おります。引き続き通行止め解除に向
け頑張ってください。 #高速道路 #
中国地方 #道路情報

14:17 · 2022/12/24 · 5万回表示 · iHighway 交通情報
(中国)

188件のいいね 87件のリツイート 12件の引用

R 4.12.24 (14:17) 路面凍結状況

令和5年度のX(旧:twitter)による広報の事例



- 令和5年度の冬期においても、X（旧ツイッター）にて以下のとおり情報発信しております。
 - ✓ 11月13日の初積雪時に積雪状況の動画を投稿し、冬タイヤの早期装着を啓発。
 - ✓ 11月18日の積雪時に梯団除雪や積雪の状況を動画で投稿し、冬タイヤの装着を啓発。

iHighway交通情報 (中国) @iHighwayChugoku

【冬の到来・高速道路の様子】11月13日に中国地方の高速道路で初の積雪があり、その時の中国道の様子です。今年も雪のシーズンが到来しました、降雪・積雪時には冬用タイヤなどすべり止めが必要です。早めに冬用タイヤへの交換をお願い致します。#高速道路 #中国地方 #道路情報

中国自動車道 初積雪の様子

午前10:34 · 2023年11月14日 · 6.3万 件の表示

表示:6.3万回

11月13日の投稿

iHighway交通情報 (中国) @iHighwayChugoku

#除雪作業中 動画は現在の米子道の様子です。現在、米子道・中国道の一部と浜田道の全線で冬タイヤ規制を実施しております。降雪・積雪時は“ノーマルタイヤでの通行は危険”です！お出かけ前には、最新の天気予報や交通情報をご確認ください。#高速道路 #中国地方 #道路情報

動画は現在の中国道の様子です。中国道でも雪が降り続いており、“ノーマルタイヤでの通行は大変危険”です！お出かけ前には、最新の天気予報や交通情報をご確認ください。#高速道路 #中国地方 #道路情報

午前6:37 · 2023年11月18日 · 54万 件の表示

午前10:28 · 2023年11月18日 · 72.1万 件の表示

表示:54万回

表示:72万回

11月18日の投稿

5. 運輸事業者様へのお願い

◆NEXCO西日本は、冬期の高速道路を安全にご利用頂けるよう、道路交通の確保に全力で努めます。

◆加えて、情報発信を積極的に行います。

☞運輸事業者様におかれましては、NEXCO西日本からの各種の情報にご注視をお願いします。

☞また、特に大雪予測がある際は、NEXCO等から発信される情報に基づき、広域迂回 や 運行日時の調整等 へのご協力をお願いします。

- ◆ **安全確保のため、速度規制や冬用タイヤ規制 や 通行止め**を行う場合があります。
- ◆ **1台でも事故や自力走行不能車両が発生すると、長時間の通行止めや、長時間の滞留に繋がる可能性**があります。
- ◆ **冬の高速道路は冬用タイヤを装着してご走行をお**願い致します。
- ◆ **タイヤチェーンの常時携行・必要に応じた装着をお**願い致します。

■NEXCO西日本のホームページ
[<https://www.w-nexco.co.jp/>]

■最新の交通状況・作業状況等
⇒ アイハイウェイ
[<https://ihighway.jp/>]



⇒ Twitter: 中国支社アカウント
[@iHighwayChugoku]



運行管理制度の強化の具体的内容

運行管理制度の強化の趣旨

車両運行中に、乗務員の突発的な体調悪化や大規模渋滞等の予期せぬ走行環境の変化等のトラブルが発生した場合に、運転者任せの判断となれば、運転者は運行計画に沿った運行を優先しかねないなど、輸送の安全に支障が生じかねない状況。

- **旅客自動車運送事業者は、トラブル発生時に乗務員に対して輸送の安全のために適切な措置を講ずるとともに、当該措置を適正かつ確実に実行できるよう以下の体制の整備を義務付け**

運行管理制度の強化の具体的内容

- ① 平成26年5月1日施行
- ② 平成27年5月1日施行

- ① 旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の運行中は、**電話等を用いて乗務員に対し必要な指示等を行える連絡体制を整備しなければならない**こととする。
- ② 乗合バス・貸切バス事業においては、運行の形態上、長距離・大量旅客輸送が想定され、運行管理者はトラブル発生時に運行の中止等の判断・指示等に伴う調整が必要となることから、①に加えて、**事業用自動車の運行中少なくとも一人の運行管理者は、乗合バス・貸切バス事業の事業用自動車の運転業務に従事せずに、トラブルが発生した場合速やかに運行の中止等の判断・指示等を行える体制を整備しなければならない**こととする。



令和3年12月1日

自動車局
安全政策課
貨物課
審査・リコール課
整備課

- 気象庁HPの「今後の雪」も活用うえで、事前に天気予報をご確認ください。
<https://www.jma.go.jp/bosai/snow/>

【添付資料】

- ・【別紙1】『雪道での立ち往生に注意!』(パンフレット)
- ・【別紙2】『冬用タイヤの溝深さに注意!』(チラシ)

自動車局での大雪時の大型車立ち往生防止対策について

～今冬の立ち往生の発生を抑止するために～

自動車局では、本年も、①車両対策(冬用タイヤの装着やチェーンの携行・装着の徹底)、②運送事業者対策(道路管理者が撮影した写真も踏まえた運輸局による指導・監査)、③荷主対策(荷主への周知体制の確立)を3つの柱とする大雪時の立ち往生防止対策を実施しています。

運送事業者や自動車使用者の皆様におかれましては、改めて下記注意点をご確認の上で、冬期の走行に万全を期して頂きますようお願いいたします。

① 自動車ユーザーの皆様へ

- 積雪・凍結路では、必ず適切な冬用タイヤの装着をお願いします。
- また、運行前に冬用タイヤの溝深さが新品時の50%以上残っていることを、「プラットホーム」で確認をお願いします。
- チェーンの携行、立ち往生する前の早めの装着をお願いします。

② トラック・バス運送事業者の皆様へ

- 年末年始の輸送等に関する安全総点検[※]の実施項目「6. 大雪に対する輸送の安全確保の実施状況」について、重点的に確認をお願いします。
 - 雪道において、悪質な立ち往生事例が発生した場合は、監査で事実関係を確認した上で、講じた措置が不十分と判断されれば行政処分の対象となります。
- ※ https://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha_tk2_000003.html

③ 荷主の皆様へ

- 大雪などの異常気象による突発的な事象により、運送経路の変更や運送の中止などの必要が生じ、その原因となった事象がやむを得ないと認められる場合には、運送経路の変更等を認めるよう、ご協力をお願いします。
- 大雪などの異常気象により、運送に支障を来すことが予め予想される場合には、配送拠点に留置する在庫の積み増しや、予定されていた配送時間の前倒し、運送可能域内での物資の融通を行うことにより、トラック事業者への不要不急の運送依頼を控えていただきますよう、ご協力をお願いします。

運送事業者及び使用者の皆様へ



雪道での立ち往生に注意!

-大型車の冬用タイヤとチェーンについて-



❖ 道路で大型車が立ち往生すると、**深刻な交通渋滞や通行止め**を引き起こします。

❖ 積雪・凍結路では、**必ず適切な冬用タイヤを装着**するとともに、**チェーンの携行・早めの装着**を心掛けてください。

❖ 交通渋滞等を引き起こした運送事業者等には監査を行い、**講じた措置が不十分と判断されれば処分の対象**となります。

運送事業者の皆様へ



冬用タイヤの溝深さに注意!

-大型車の冬用タイヤに関する使用上の注意点-

➤ 道路で大型車が立ち往生すると、深刻な交通渋滞や通行止めを引き起こします。積雪・凍結道路においては、**必ず適切な冬用タイヤを装着**するなど適切な措置を講じてください。

➤ 交通渋滞等を引き起こした運送事業者等には監査を行い、**講じた措置が不十分と判断されれば処分の対象**となります。

❖ 積雪・凍結道路では、**冬用タイヤを全車輪に装着**

⇒ 冬用タイヤは全車輪に装着しないと**挙動が安定しません**。

❖ 冬用タイヤの**溝深さが新品時の50%以上**あることを確認

⇒ 溝深さ**50%**を示す「**プラットホーム**」で、**運行前に必ず確認**してください。(一部海外メーカー品は除く)

❖ 積雪・凍結道路での運行前に、**運転上の注意点を把握**

⇒ 積雪・凍結道路においては、
・**低速ギアでゆっくり発進**
・**坂道を登り終わるまでギアチェンジしない**
など、運転操作の注意が必要です。

一般社団法人
日本自動車タイヤ協会→



全日本トラック協会 雪道対策→



令和4年11月29日再周知

事務連絡
令和3年1月28日

荷主関係団体等 へ

農林水産省食料産業局食品流通課
経済産業省商務・サービスグループ物流企画室
国土交通省自動車局貨物課

大雪等異常気象時における輸送の安全の確保に向けたご理解とご協力をお願い

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

貨物運送に当たっては、荷主からの運送時間や運行経路等の指示に基づき運送する必要があり、大雪などの異常気象による突発的な道路状況の変化が生じた場合であっても、運行の中止や運送経路の変更等を行う場合には、荷主の承諾を得る必要があるなど、荷主のご理解とご協力が必要不可欠です。

こうした状況の中、昨今の大雪時において、高速道路や主要国道で大規模な車両の立ち往生が発生し、大型トラックが滞留の原因となったことが確認されており、トラック事業者に対する指導にとどまらず、荷主のご理解とご協力を得ながら大雪時における物流のあり方について、関係省庁とも連携し取り組んでいく必要があります。

つきましては、物流機能の維持とトラック事業者や運転者の生命・身体を守るため、今般の趣旨についてご理解いただき、下記の事項について、傘下会員への周知等にご協力を賜りたくお願い申し上げます。

【要請事項】

- 大雪などの異常気象による突発的な事象により、運送経路の変更や運送の中止などの必要が生じ、その原因となった事象がやむを得ないと認められる場合には、運送経路の変更等を認めるよう、ご協力をお願いします。
- 大雪などの異常気象により、運送に支障を来すことが予め予想される場合には、配送拠点に留置する在庫の積み増しや、予定されていた配送時間の前倒し、運送可能域内での物資の融通を行うことにより、トラック事業者への不要不急の運送依頼を控えていただきますよう、ご協力をお願いします。